

文教委員会資料

1 所管事務の報告

(1) 「令和6年度川崎市子ども・若者調査」の結果について

資料1 令和6年度川崎市子ども・若者調査報告書（概要版）

資料2 令和6年度川崎市子ども・若者調査報告書

こども未来局

（令和7年4月24日）

令和6年度川崎市子ども・若者調査報告書（概要版）

1 調査概要

（1）今回調査の内容

①目的

本市の子ども・若者や子育て家庭を対象に、生活状況や生活意識、行政に対する意識等についての調査を多面的に行うことにより、次期「川崎市子ども・若者の未来応援プラン」策定（令和7年度予定）の際の基礎資料とすることを目的として実施。

②対象者等

区分	調査対象	対象者数	配布／回答方法
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000人	郵送／インターネット
調査Ⅱ	小学校2年生の子を持つ親	3,000人	郵送／郵送またはインターネット
	小学校5年生の子ども	3,000人	郵送／郵送またはインターネット
	小学校5年生の子を持つ親	3,000人	郵送／郵送またはインターネット
	中学校2年生の子ども	3,000人	郵送／郵送またはインターネット
	中学校2年生の子を持つ親	3,000人	郵送／郵送またはインターネット
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000人	郵送／インターネット

※対象者については、令和6年9月15日時点の川崎市住民基本台帳から無作為抽出した。

※調査Ⅱの対象者については、依頼状と調査票を郵送し、郵送での回答とインターネットでの回答の2つの回答手段から選択してもらった。

※調査Ⅱのうち、小学校5年生と中学校2年生に係る調査については、親と子は同一世帯を対象とした。

③アンケート実施時期

令和6年11月22日～令和7年1月7日

④有効回答数・回答率

区分	調査対象	配布数	有効回答数 (回答率)	親子マッチング組数 (マッチング率)
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000人	1,993人(66.4%)	—
調査Ⅱ	小学校2年生の子を持つ親	3,000人	2,051人(68.4%)	—
	小学校5年生の子ども	3,000人	1,547人(51.6%)	1,472組(49.1%)
	小学校5年生の子を持つ親	3,000人	1,805人(60.2%)	
	中学校2年生の子ども	3,000人	1,384人(46.1%)	1,284組(42.8%)
	中学校2年生の子を持つ親	3,000人	1,706人(56.9%)	
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000人	1,079人(36.0%)	—

(2) 前回調査の内容

①目的

区分	調査対象	対象者数	配布／回答方法
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000人	郵送／郵送
調査Ⅱ	小学校2年生の子を持つ親	3,295人	学校配布／学校回収
	小学校5年生の子ども	3,105人	学校配布／学校回収
	小学校5年生の子を持つ親	3,105人	学校配布／学校回収
	中学校2年生の子ども	3,482人	学校配布／学校回収
	中学校2年生の子を持つ親	3,482人	学校配布／学校回収
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000人	郵送／インターネット

②アンケート実施時期

令和2年11月16日～令和2年12月7日

③有効回答数・回答率

区分	調査対象	配布数	有効回答数 (回答率)	親子マッチング組数 (マッチング率)
調査Ⅰ	0～6歳の子を持つ親	3,000人	2,223人(74.1%)	—
調査Ⅱ	小学校2年生の子を持つ親	3,295人	2,839人(86.2%)	—
	小学校5年生の子ども	3,105人	2,638人(85.0%)	2,615組(84.2%)
	小学校5年生の子を持つ親	3,105人	2,633人(84.8%)	
	中学校2年生の子ども	3,482人	2,811人(80.7%)	2,800組(80.4%)
	中学校2年生の子を持つ親	3,482人	2,825人(81.1%)	
調査Ⅲ	16～30歳の子ども・若者	3,000人	1,184人(39.5%)	—

※調査Ⅰ及び調査Ⅲの対象者については、令和2年10月15日時点の川崎市住民基本台帳から無作為抽出した。

※調査Ⅱの対象者については、区ごとに在籍数等を勘案し、無作為抽出した学校の対象学年(小学2年生、小学5年生及び中学2年生)の全学級に配布した。

※調査Ⅱのうち、小学校5年生と中学校2年生に係る調査については、親と子は同一世帯を対象とした。

(3) 調査結果の見方・留意点

- ① 図表中の「n」(number of case の略) は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。
- ② 図表中の「SA」(Single Answer の略) は最もあてはまる選択肢一つ選んで○をつける設問である。
- ③ 図表中の「NA」(Numerical Answer の略) は年齢や人数など、数値を直接回答してもらう設問である。
- ④ 図表中の「MA」(Multiple Answer の略) はあてはまる選択肢すべてに○をつける設問である。
- ⑤ 図表中の「LA」(Limited Answer の略) は回答数に制限をつける設問である（「3LA」の場合は3つまで選択してもらう）。
- ⑥ 集計は百分率とし、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても 100.0% にならない場合がある。
- ⑦ 回答の比率(%) は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- ⑧ クロス集計について、分析の軸となる設問の回答の「無回答」は表示していない。また、全体は単純集計の結果から無回答を除いたものを母数としているので、分析軸に表記した回答者数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- ⑨ 調査Ⅱは、前回調査と今回調査で対象者の抽出方法が違い、母集団が異なっているため、単純な比較はできない。（前回調査結果及び経年比較に関するコメントは参考として掲載）

(4) 標本誤差

標本誤差は回答者数と得られた結果の比率によって異なるが、無作為抽出法による場合の誤差（信頼度 95%）は次の式によって得られる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差（無作為抽出法の場合） N = 母集団全体
n = 比率算出の基数（サンプル数） P = 回答の比率

※（注）Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算している。

今回の調査結果の場合、誤差及び信頼の範囲は右表のとおりであり、「ある設問の回答者数が 2,000 人で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±2.19 である」ということとなる。基数（n）が小さい数字になる場合は誤差が大きいのので注意が必要である。

回答比率 (P) n (回答者数)	90%又は 10%前後	80%又は 20%前後	70%又は 30%前後	60%又は 40%前後	50%前後
50	±8.49	±11.31	±12.96	±13.86	±14.14
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00
200	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
800	±2.12	±2.83	±3.24	±3.46	±3.54
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
1,200	±1.73	±2.31	±2.65	±2.83	±2.89
1,500	±1.55	±2.07	±2.37	±2.53	±2.58
2,000	±1.34	±1.79	±2.05	±2.19	±2.24

5 調査結果

(1) 子育て世帯の概況

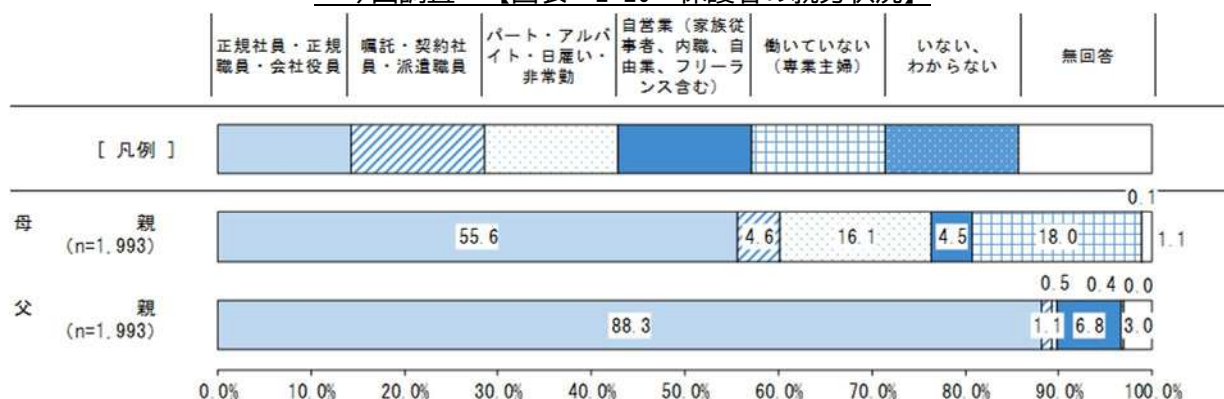
①保護者の就労状況

0～6歳の保護者（問30）

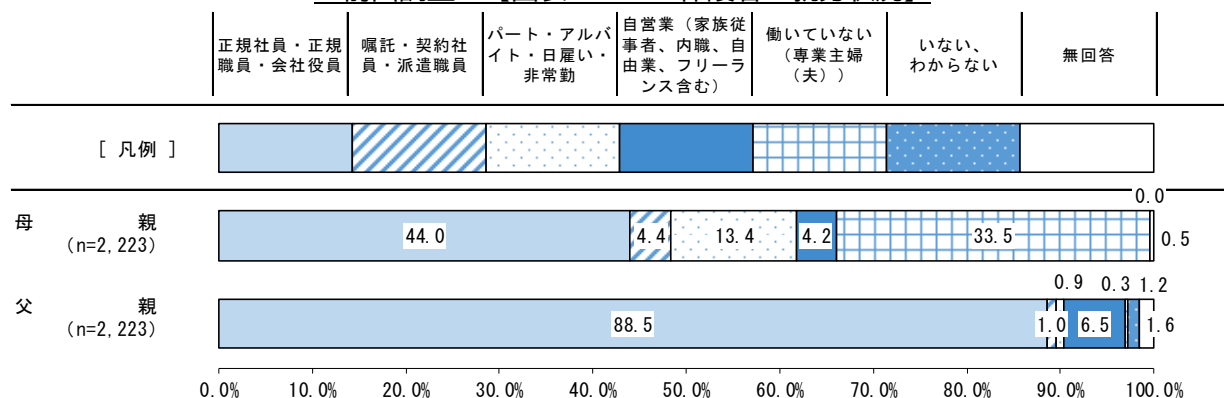
『母親』『父親』ともに「正規社員・正規職員・会社役員」（母親：55.6%、父親：88.3%）が最も高くなっている。また、『母親』については、「働いていない（専業主婦）」が18.0%と2番目に高く、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」が16.1%と3番目に高くなっている。

経年で見ると、『母親』では「正規社員・正規職員・会社役員」が前回調査に比べて高く、「働いていない（専業主婦）」が前回調査に比べて低くなっている。

<今回調査>【図表 2-26 保護者の就労状況】



<前回調査>【図表 2-27 保護者の就労状況】

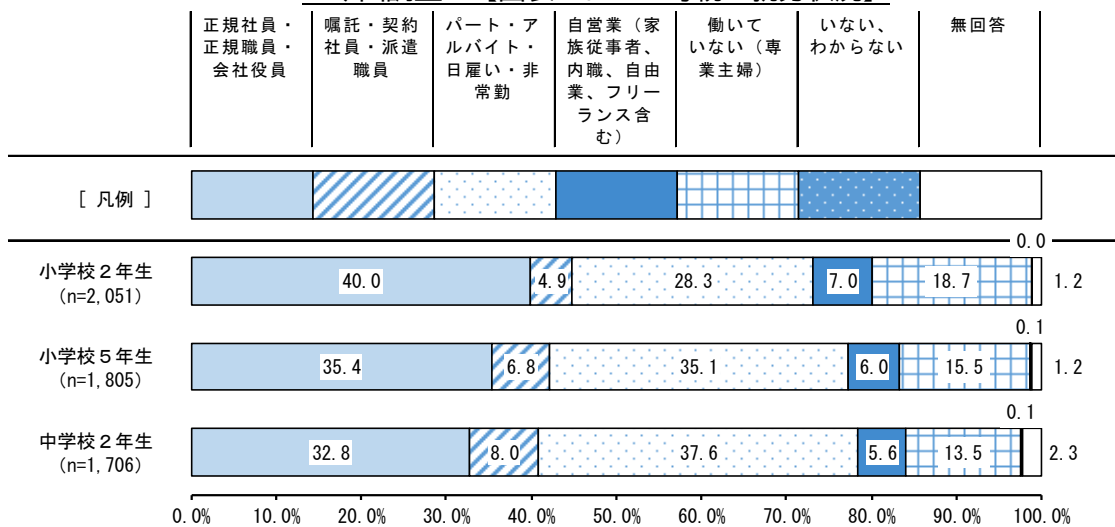


小・中学生の保護者（問29）

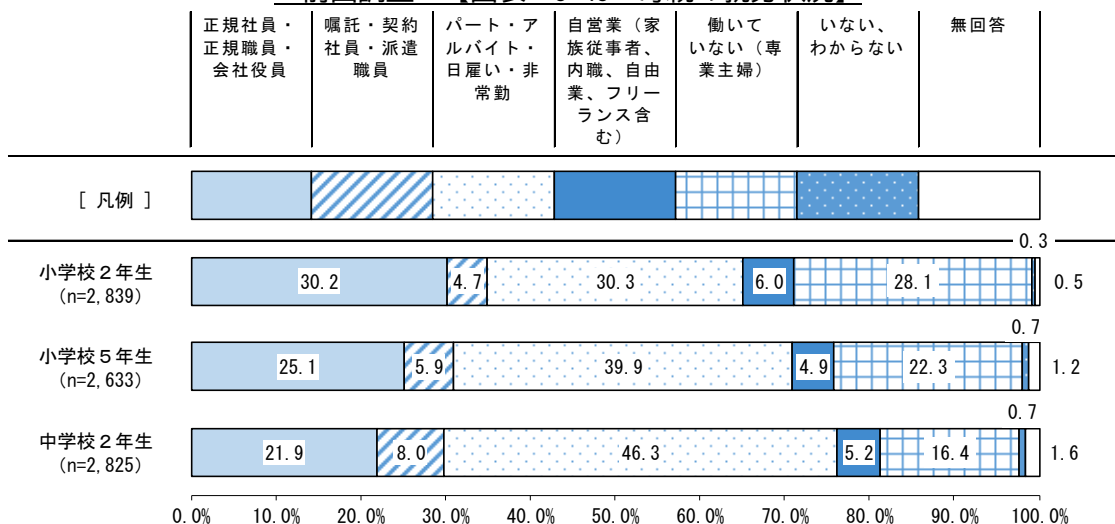
母親の就労状況では、小学校2年生のいる世帯と小学校5年生のいる世帯では「正規社員・正規職員・会社役員」（小学校2年生：40.0%、小学校5年生：35.4%）が最も高く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」（小学校2年生：28.3%、小学校5年生：35.1%）、「働いていない（専業主婦）」（小学校2年生：18.7%、小学校5年生：15.5%）となっている。中学校2年生のいる世帯では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤」が37.6%、「正規社員・正規職員・会社役員」が32.8%、「働いていない（専業主婦）」が13.5%となっている。

経年でみると、小学校5年生、中学校2年生のいる世帯では「正規社員・正規職員・会社役員」が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 3-47 母親の就労状況】

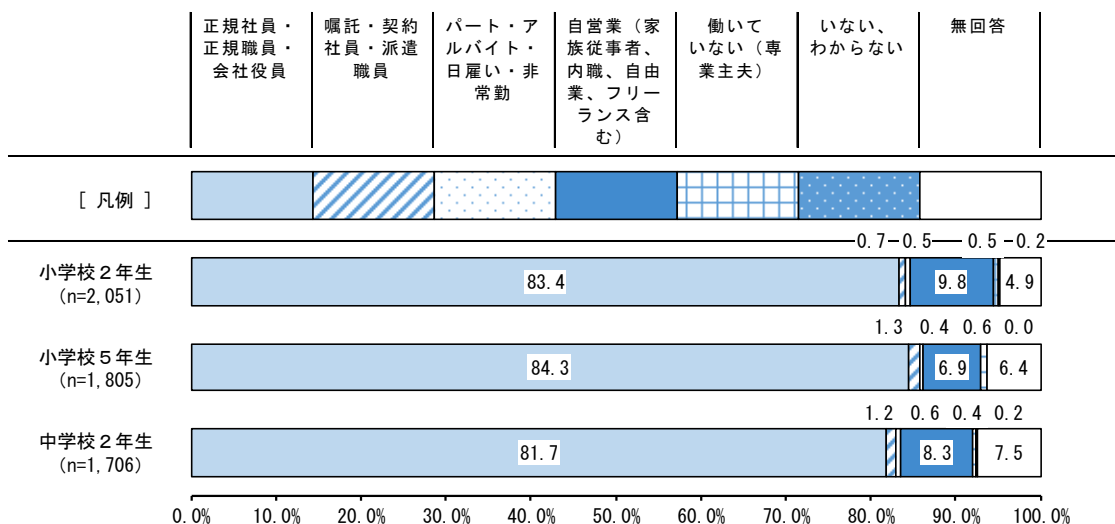


<前回調査>【図表 3-48 母親の就労状況】



父親の就労状況では、いずれの学年でも「正規社員・正規職員・会社役員」（小学校2年生：83.4%、小学校5年生：84.3%、中学校2年生：81.7%）が最も高く、次いで「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランス含む）」（小学校2年生：9.8%、小学校5年生：6.9%、中学校2年生：8.3%）となっている。

<今回調査>【図表 3-49 父親の就労状況】

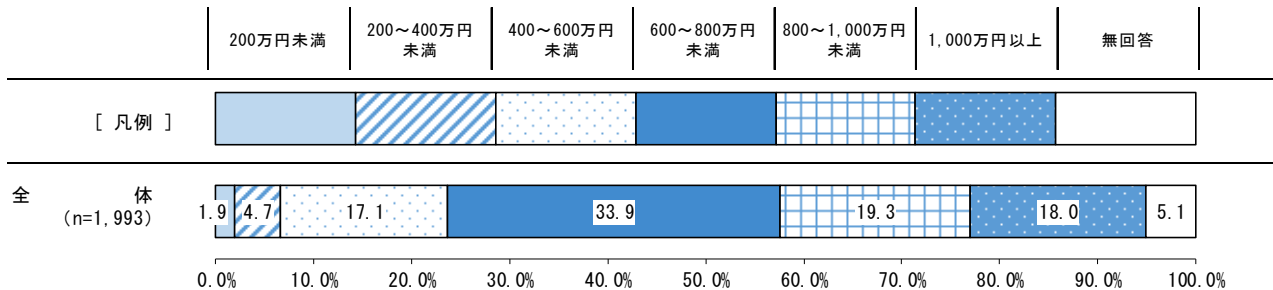


②世帯の年間所得合計額

0～6歳の保護者（問32）

「600～800万円未満」が33.9%で最も高く、次いで「800～1,000万円未満」が19.3%、「1,000万円以上」が18.0%となっている。

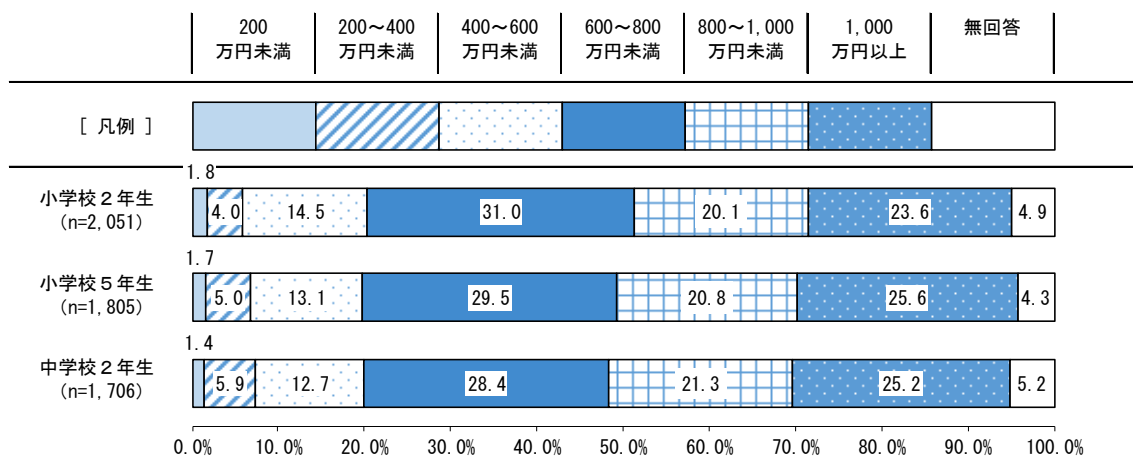
<今回調査>【図表 2-35 世帯の年間所得合計額】



小・中学生の保護者（問30）

いずれの学年でも「600～800万円未満」（小学校2年生：31.0%、小学校5年生：29.5%、中学校2年生：28.4%）が最も高く、次いで「1,000万円以上」（小学校2年生：23.6%、小学校5年生：25.6%、中学校2年生：25.2%）、「800～1,000万円未満」（小学校2年生：20.1%、小学校5年生：20.8%、中学校2年生：21.3%）となっている。

<今回調査>【図表 3-67 世帯の年間所得合計額】



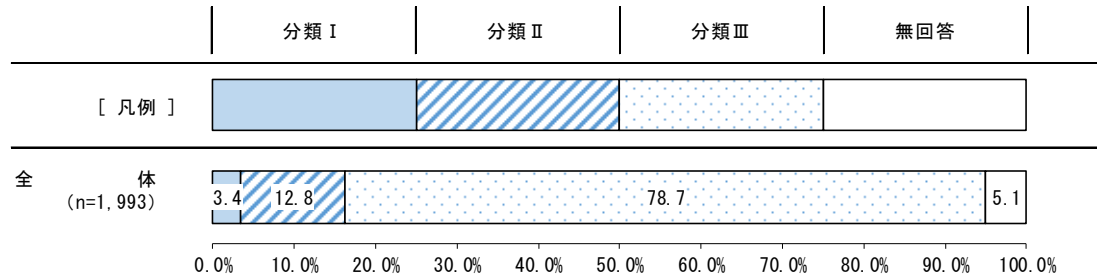
③所得分類

等価可処分所得が貧困線(127万円)未満の世帯を「分類Ⅰ」、貧困線以上等価可処分所得の中央値(254万円)未満の世帯を「分類Ⅱ」、中央値以上の等価可処分所得の世帯を「分類Ⅲ」の3つの区分に分類した。

0～6歳の保護者(問32)

「分類Ⅲ」が78.7%で最も高く、次いで「分類Ⅱ」が12.8%、「分類Ⅰ」が3.4%となっている。

<今回調査>【図表 2-39 所得分類】

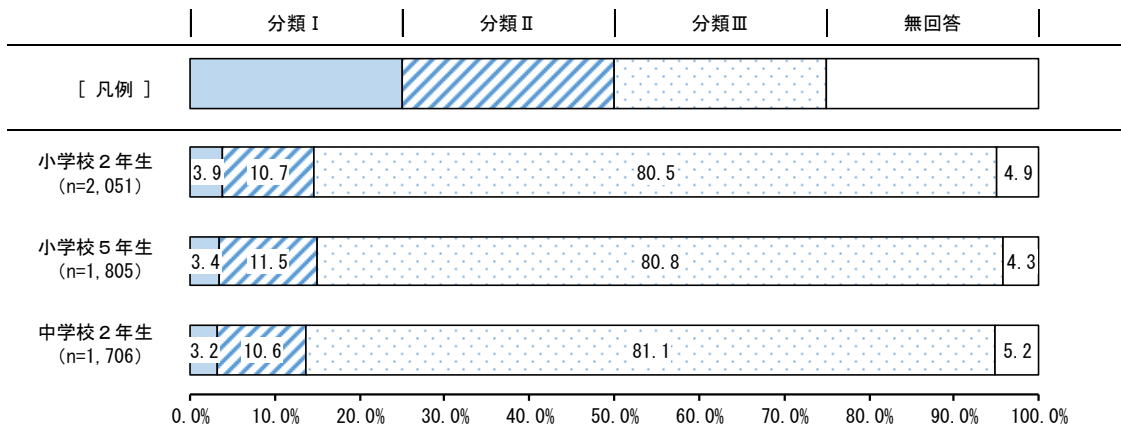


小・中学生の保護者(問30)

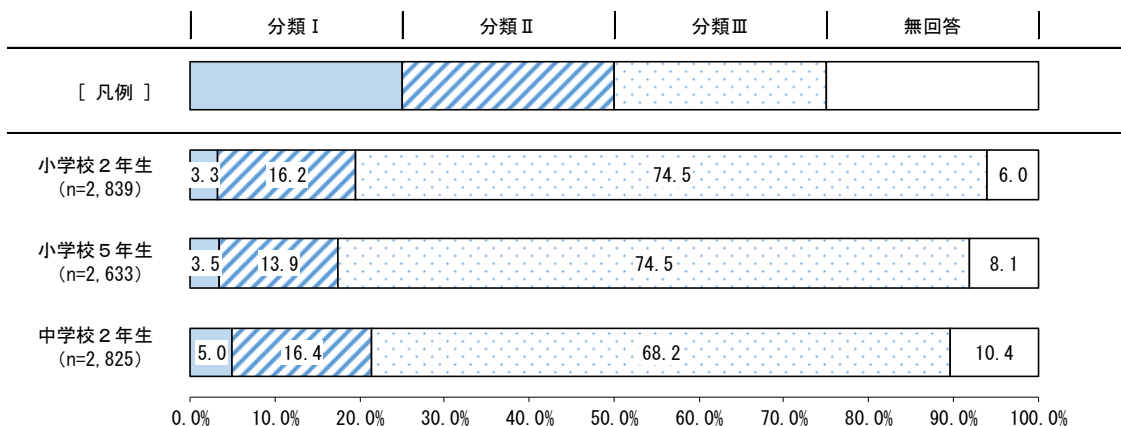
いずれの学年でも『分類Ⅲ』(小学校2年生:80.5%、小学校5年生:80.8%、中学校2年生:81.1%)が最も高く、次いで『分類Ⅱ』(小学校2年生:10.7%、小学校5年生:11.5%、中学校2年生:10.6%)、『分類Ⅰ』(小学校2年生:3.9%、小学校5年生:3.4%、中学校2年生:3.2%)となっている。

経年でみると、「分類Ⅲ」は「中学校2年生」が前回調査に比べて高くなっている。

<今回調査>【図表 3-75 所得分類】



<前回調査>【図表 3-76 所得分類】



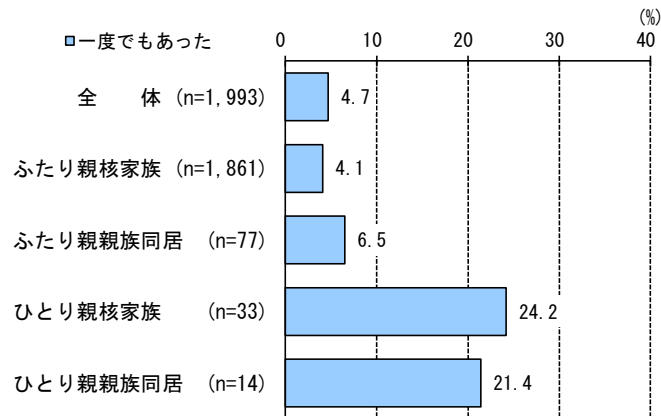
④ 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無（世帯構成別）

0～6歳の保護者（問34）

世帯構成別にみると、大きな差はみられない。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

＜今回調査＞【図表 2-60 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】
（世帯構成別）

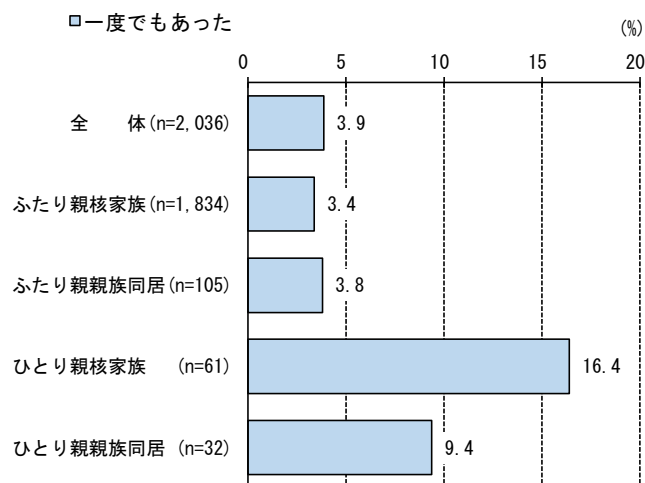


小・中学生の保護者（問32）

小学校2年生のいる世帯を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』が16.4%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

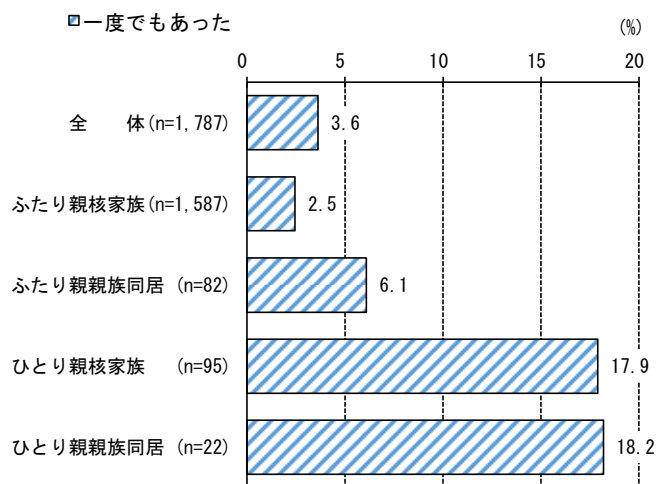
＜今回調査＞【図表 3-130 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】
（小学校2年生・世帯構成別）



小学校5年生のいる世帯を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』が17.9%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

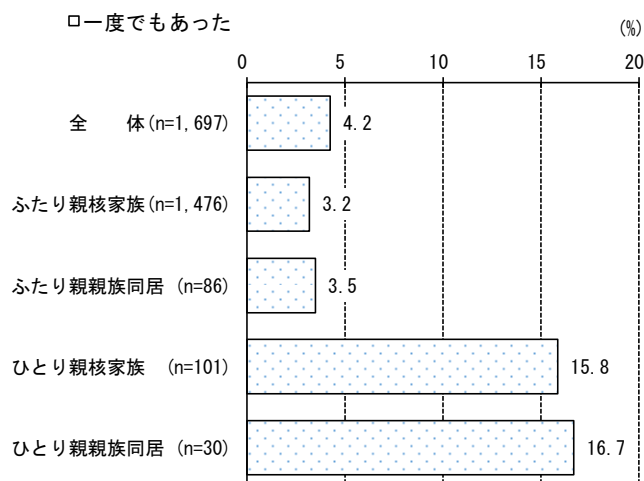
<今回調査>【図表 3-138 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】
(小学校5年生・世帯構成別)



中学校2年生のいる世帯を世帯構成別にみると、『ひとり親核家族』が15.8%と全体に比べて高くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 3-146 1日3食食べるために必要な食料が買えなかった経験の有無】
(中学校2年生・世帯構成別)



(2) 幼児教育・保育の利用状況

①子どもが平日日中に主に利用している施設など

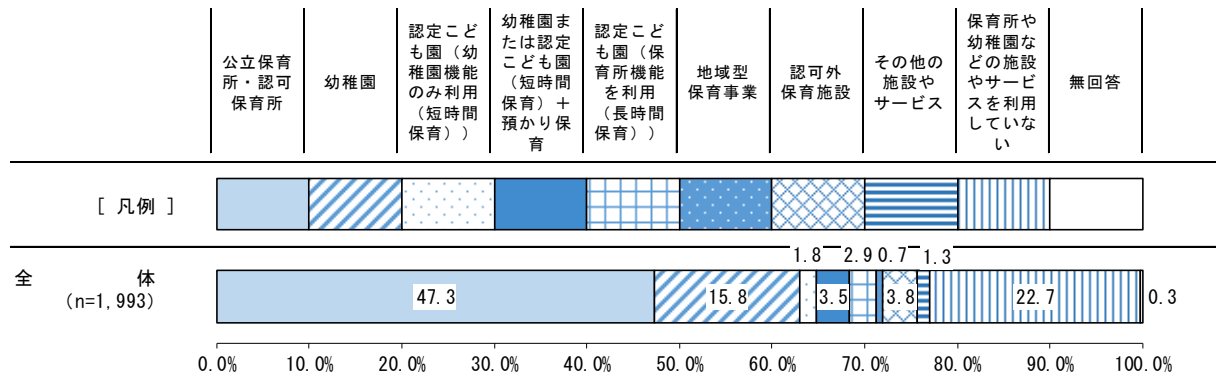
0～6歳の保護者（問1）

「公立保育所・認可保育所」が47.3%で最も高く、次いで「幼稚園」が15.8%、「認可外保育施設」が3.8%となっている。また、「保育所や幼稚園などの施設やサービスを利用していない」は22.7%となっている。

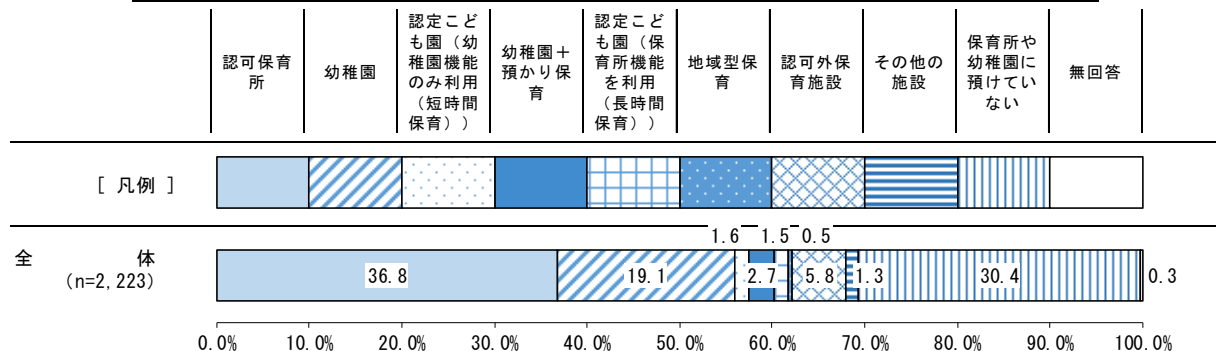
経年でみると、「公立保育所・認可保育所」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

<今回調査> 【図表 2-149 子どもが平日の日中に主に利用している施設】



<前回調査> 【図表 2-150 子どもが平日の日中に主に利用している施設】



②施設を利用していない理由

0～6歳の保護者（問2）

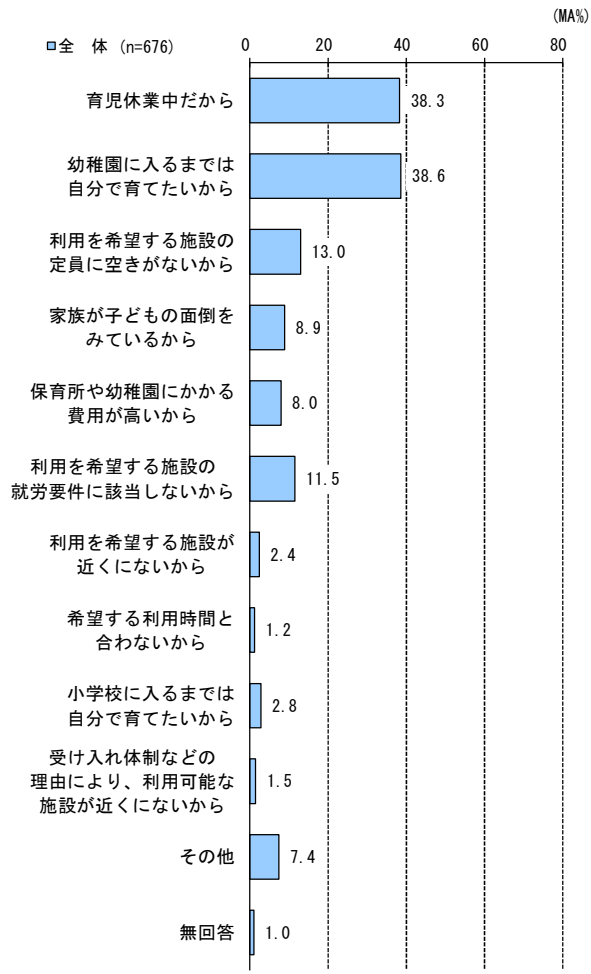
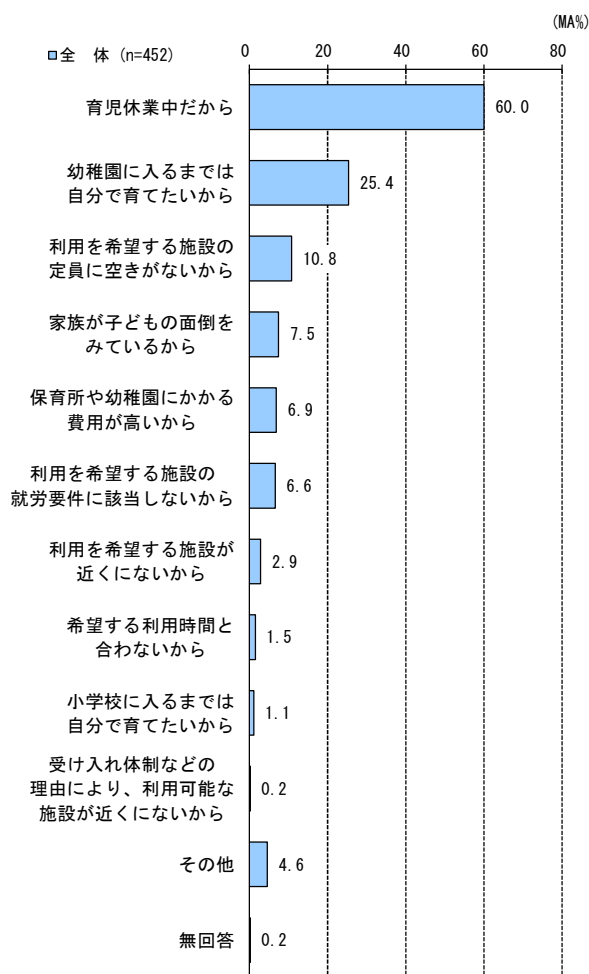
保育所や幼稚園などの施設やサービスを利用していないと回答した方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「育児休業中だから」が60.0%で最も高く、次いで「幼稚園に入るまでは自分で育てたいから」が25.4%、「利用を希望する施設の定員に空きがないから」が10.8%となっている。

経年でみると、「育児休業中だから」が前回調査に比べて高く、「幼稚園に入るまでは自分で育てたいから」が前回調査に比べて低くなっている。

【図表 2-151 施設を利用していない理由（複数回答）】

<今回調査>

<前回調査>



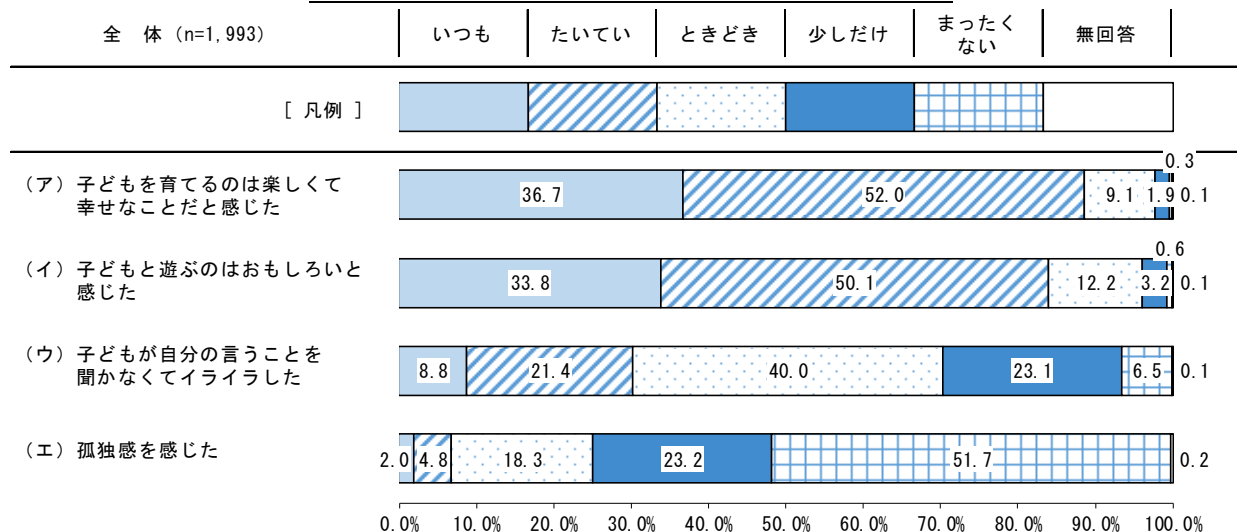
(3) 子育てに関する心配ごと・悩み

①子育てに関する感情

0～6歳の保護者（問13）

「いつも」は『子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと感じた』が36.7%で最も高く、次いで『子どもと遊ぶのはおもしろいと感じた』が33.8%となっている。

<今回調査>【図表 2-84 子育てに関する感情】

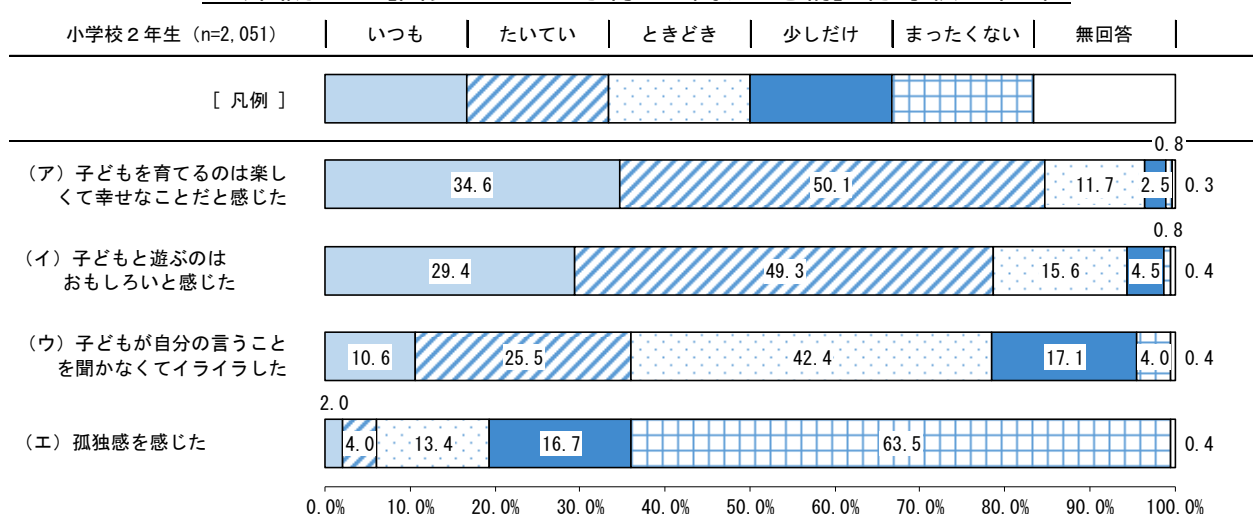


小・中学生の保護者（問16）

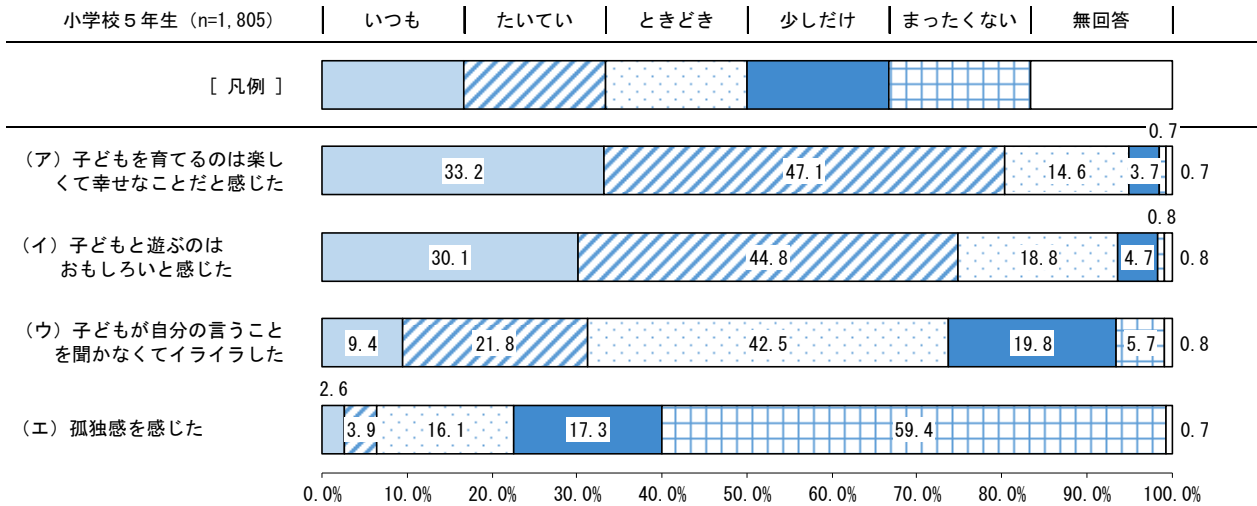
小学校2年生、小学校5年生のいる世帯ともに「いつも」は『子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと感じた』（小学校2年生：34.6%、小学校5年生：33.2%）が最も高く、次いで『子どもと遊ぶのはおもしろいと感じた』（小学校2年生：29.4%、小学校5年生：30.1%）となっている。

中学校2年生のいる世帯では「いつも」は『子どもと遊ぶのはおもしろいと感じた』が32.6%で最も高く、次いで『子どもを育てるのは楽しくて幸せなことだと感じた』が31.4%となっている。

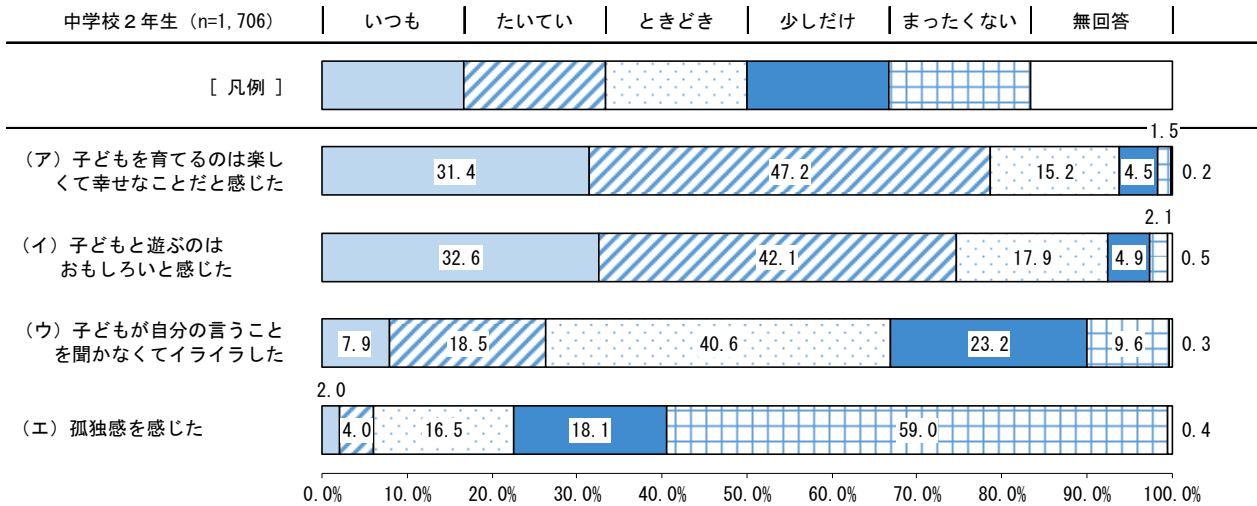
<今回調査>【図表 3-182 子育てに関する感情】（小学校2年生）



<今回調査>【図表 3-184 子育てに関する感情】(小学校5年生)



<今回調査>【図表 3-186 子育てに関する感情】(中学校2年生)



②子育てに関する心配ごと・悩み

0～6歳の保護者（問15）

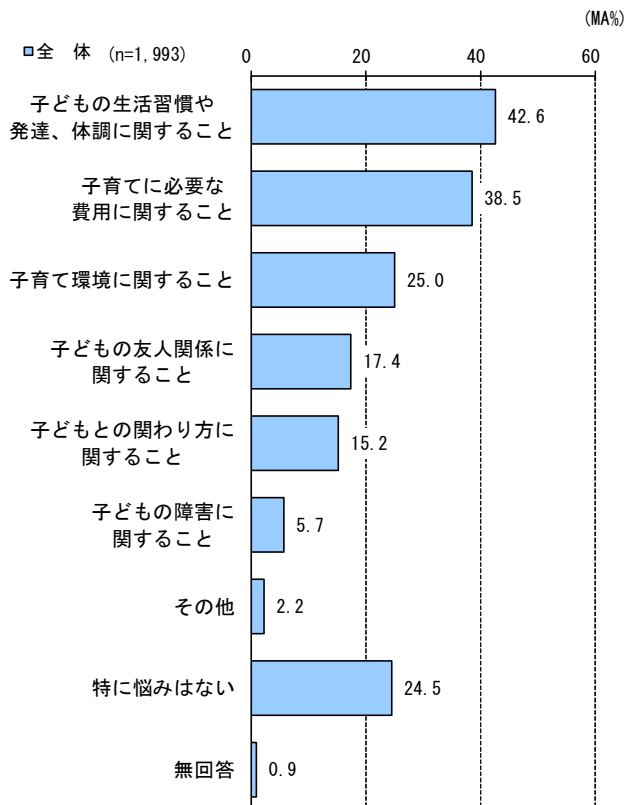
「子どもの生活習慣や発達、体調に関すること」が42.6%で最も高く、次いで「子育てに必要な費用に関すること」が38.5%、「子育て環境に関すること」が25.0%となっている。

経年でみると、「子育てに必要な費用に関すること」が前回調査に比べて高く、「子育て環境に関すること」が前回調査に比べて低くなっている。

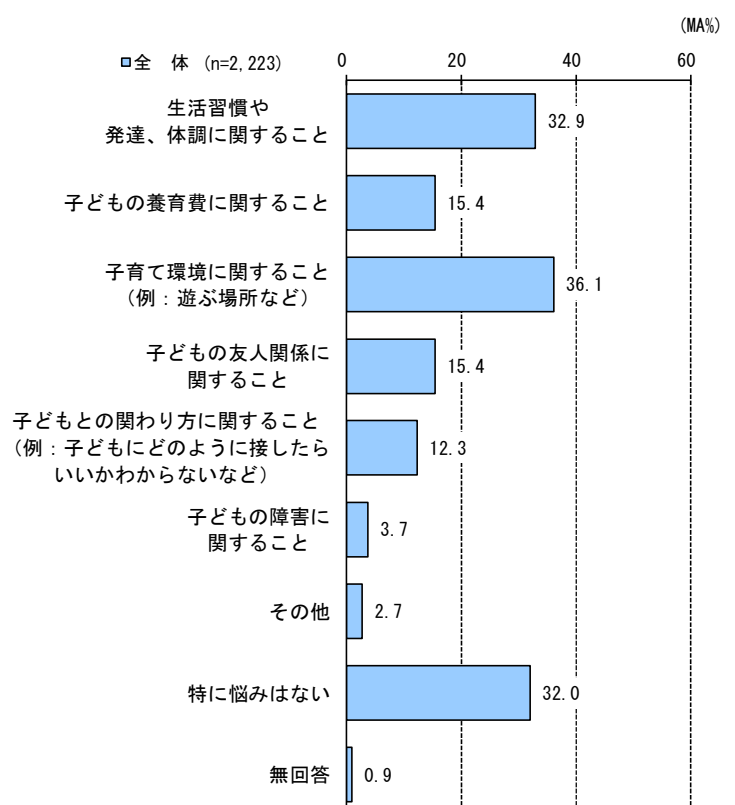
なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 2-115 子どもや子育てに関する心配ごと・悩み（複数回答）】

<今回調査>



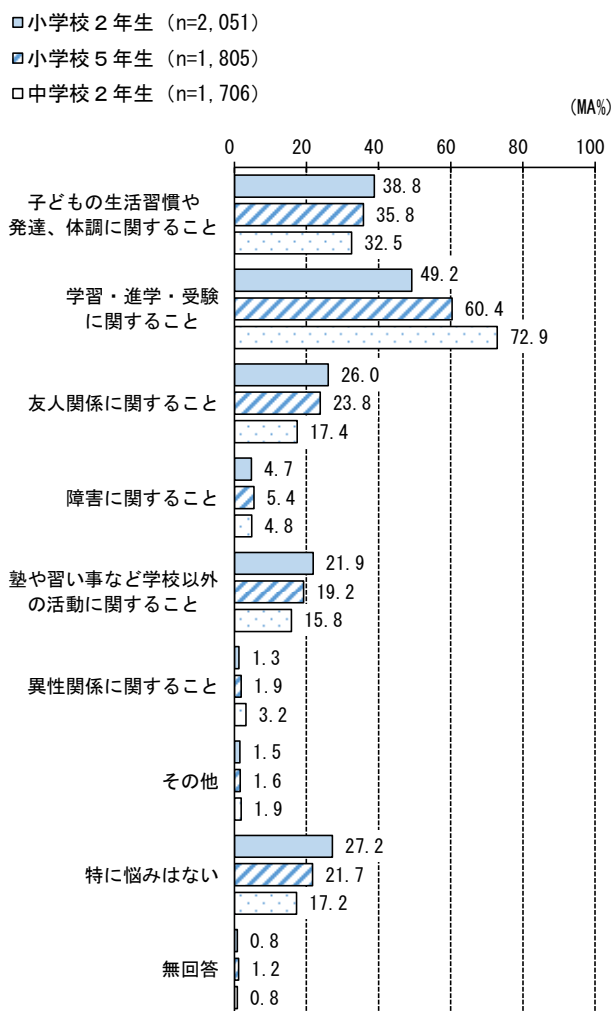
<前回調査>



小・中学生の保護者（問18、問19）

いずれの学年でも「学習・進学・受験に関すること」（小学校2年生：49.2%、小学校5年生：60.4%、中学校2年生：72.9%）が最も高く、次いで「子どもの生活習慣や発達、体調に関すること」（小学校2年生：38.8%、小学校5年生：35.8%、中学校2年生：32.5%）、「友人関係に関すること」（小学校2年生：26.0%、小学校5年生：23.8%、中学校2年生：17.4%）となっている。

<今回調査> 【図表 3-258 子どもに関する心配ごと・悩み（複数回答）】



いずれの学年でも「子育てに必要な費用に関すること」(小学校2年生:38.3%、小学校5年生:38.7%、中学校2年生:42.2%)が最も高く、次いで「子どもとの関わり方に関すること」(小学校2年生:31.7%、小学校5年生:38.4%、中学校2年生:33.2%)となっている。

経年でみると、「子育てに必要な費用に関すること」は小学校2年生、小学校5年生のいる世帯が前回調査に比べて高く、「特に悩みはない」は小学校2年生、小学校5年生のいる世帯が前回調査に比べて低くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

前回調査は中学校2年生の設問はない。

【図表 3-261 子育てに関する心配ごと・悩み(複数回答)】

<今回調査>

<前回調査>

□小学校2年生 (n=2,051)

□小学校5年生 (n=1,805)

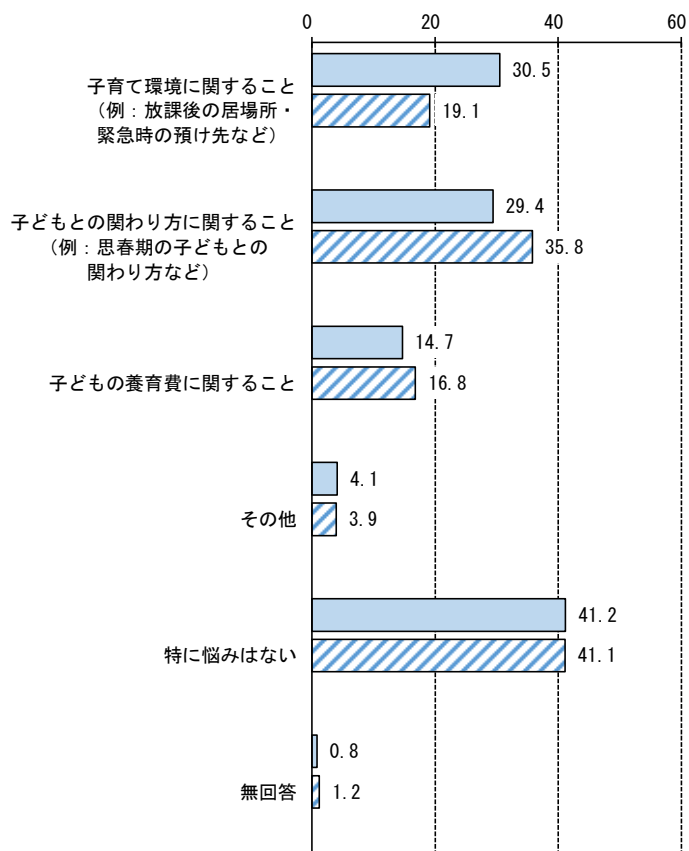
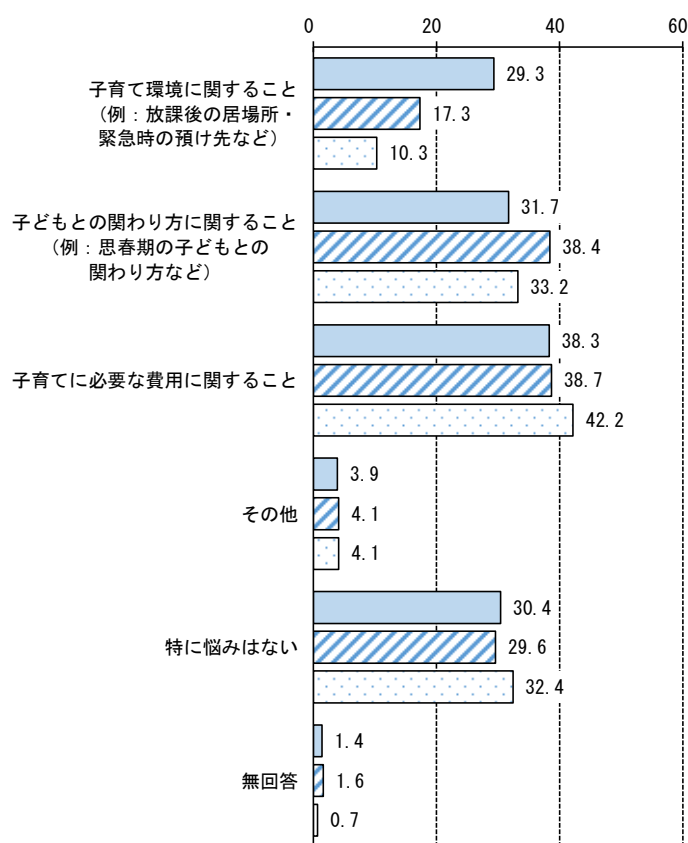
□中学校2年生 (n=1,706)

(MA%)

□小学校2年生 (n=2,839)

□小学校5年生 (n=2,633)

(MA%)



③子育て環境に関する心配ごと・悩み

0～6歳の保護者（問17）

子どもや子育てに関する心配ごと・悩みのうち「子育て環境に関すること」に回答した方に、その心配ごと・悩みを複数回答で聞いたところ、「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」が56.9%で最も高く、次いで「病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみてくれる人や施設がない」が49.1%、「子どもが自然体験をできる場が少ない」が45.5%となっている。

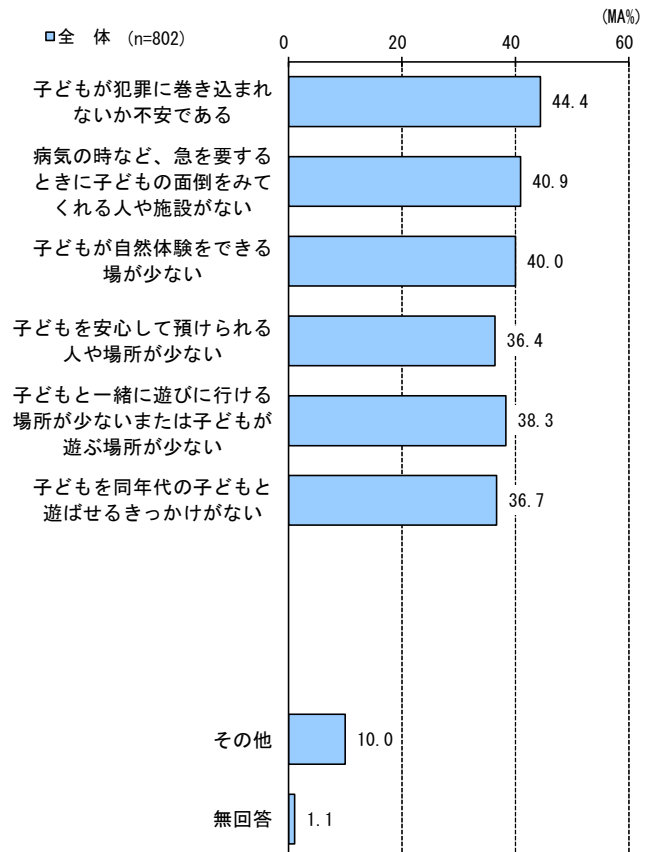
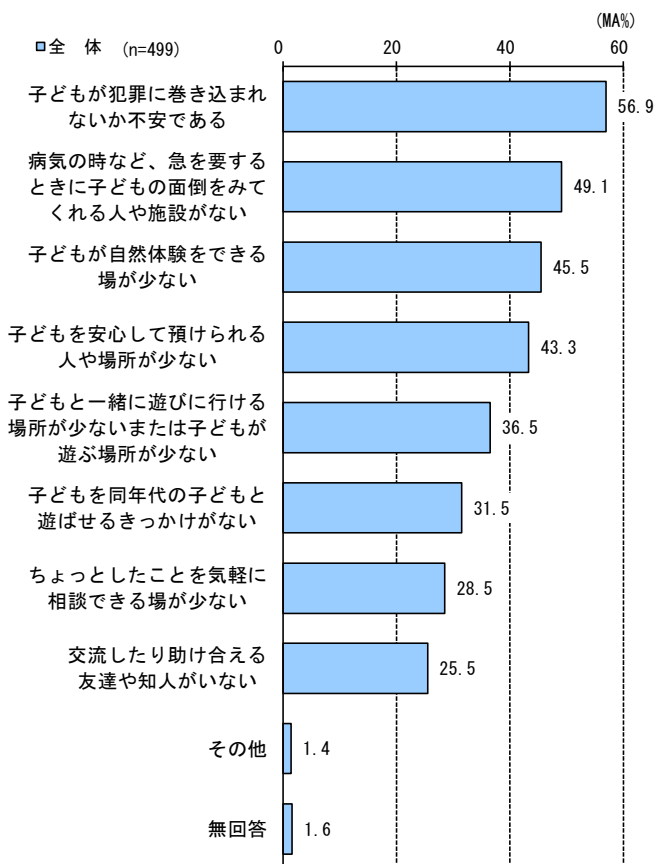
経年でみると、「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 2-119 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

<今回調査>

<前回調査>



小・中学生の保護者（問19-1）

子育てに関する心配ごと・悩みのうち「子育て環境に関すること（例：放課後の居場所・緊急時の預け先など）」と回答した方に、心配ごと・悩みの内容を複数回答で聞いたところ、いずれの学年でも「子どもが犯罪に巻き込まれないか不安である」（小学校2年生：62.7%、小学校5年生：62.2%、中学校2年生：60.0%）が最も高く、次いで小学校2年生のいる世帯と小学校5年生のいる世帯では「子どもを安心して預けられる人や場所が少ない」（小学校2年生：45.4%、小学校5年生：44.2%）、中学校2年生のいる世帯では「病気の時など、急を要するときに子どもの面倒をみてくれる人や施設がない」が36.0%となっている。

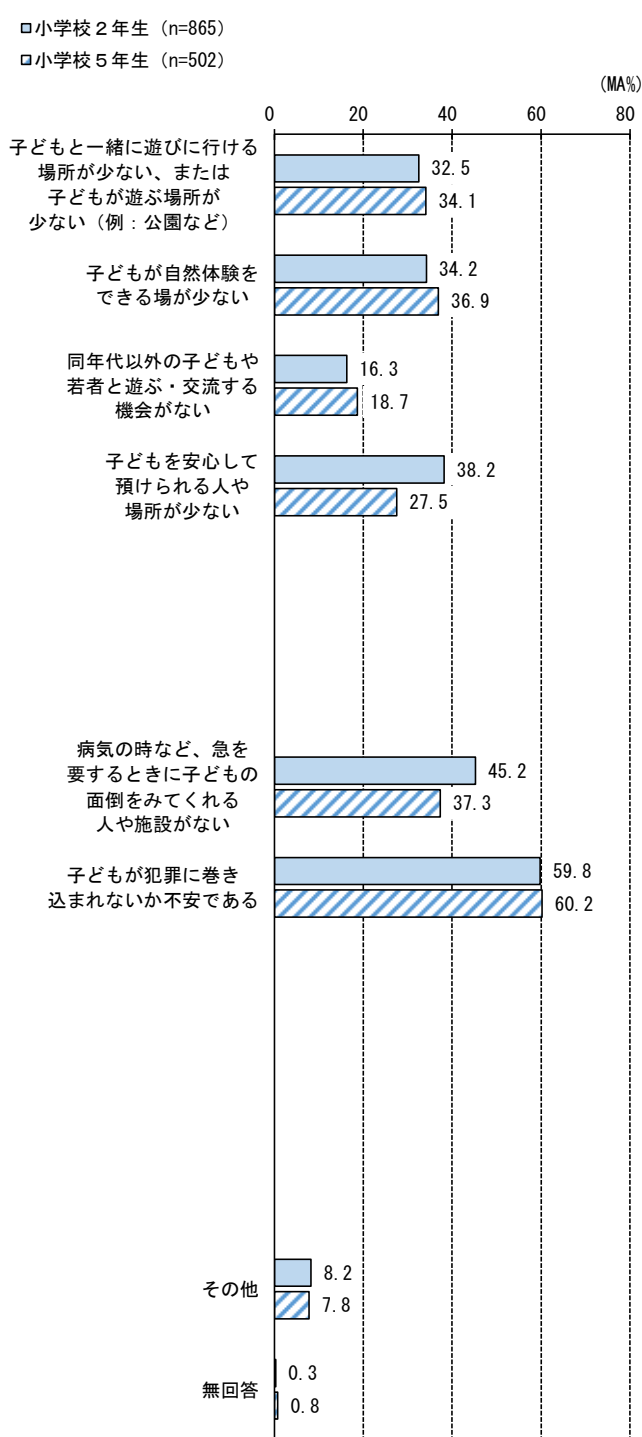
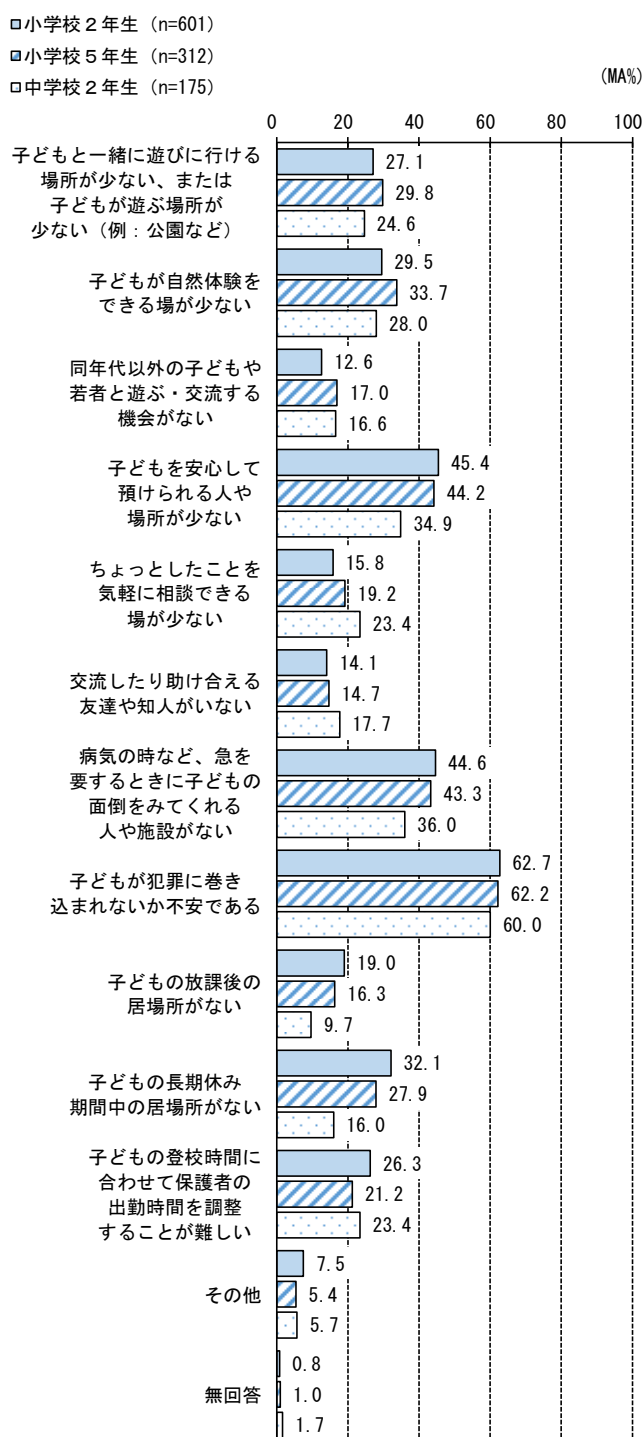
なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

前回調査は中学校2年生の設問はない。

【図表 3-262 子育て環境に関する心配ごと・悩み（複数回答）】

<今回調査>

<前回調査>



④子どもの小学校入学に向けて不安なこと

0～6歳の保護者（問8）

「子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか」が63.8%で最も高く、次いで「子どもがいじめに遭わないか」が62.4%、「通学路の安全対策」が54.8%となっている。

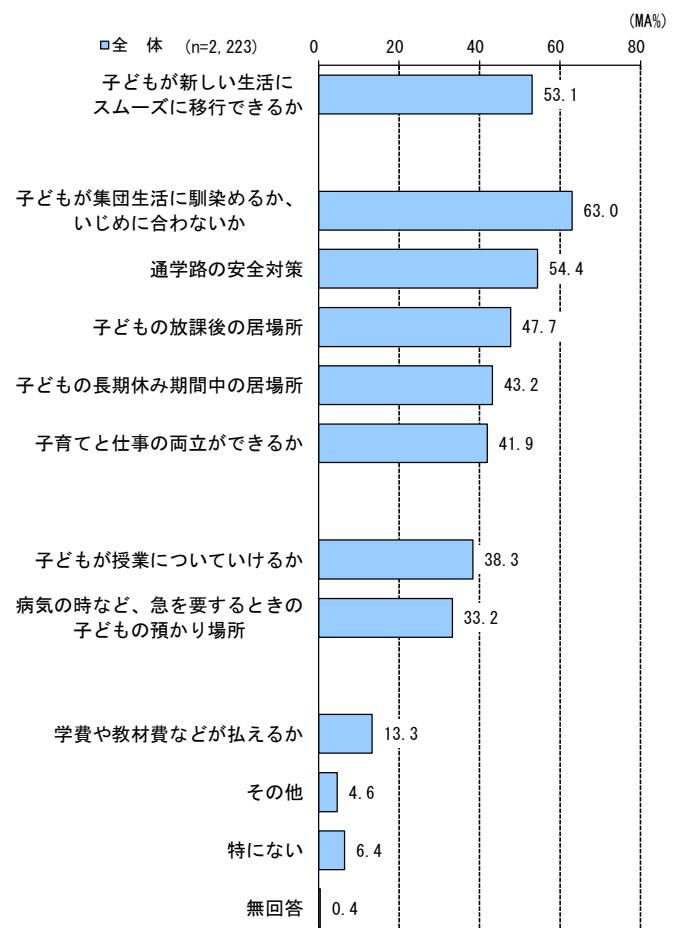
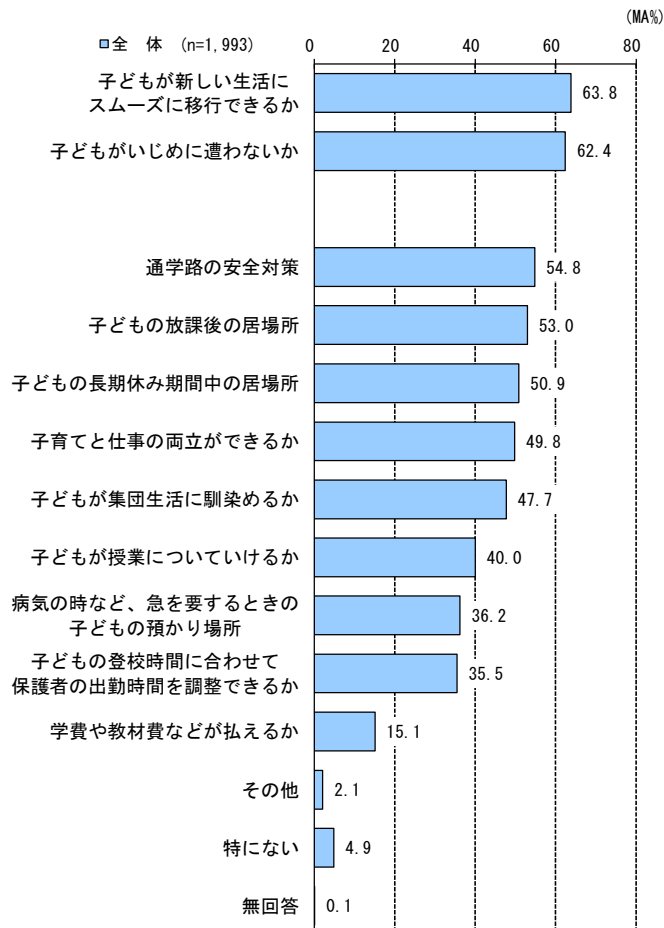
経年でみると、「子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか」が前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は選択肢が異なるため、参考値とする。

【図表 2-174 子どもの小学校入学に向けて不安なこと（複数回答）】

<今回調査>

<前回調査>



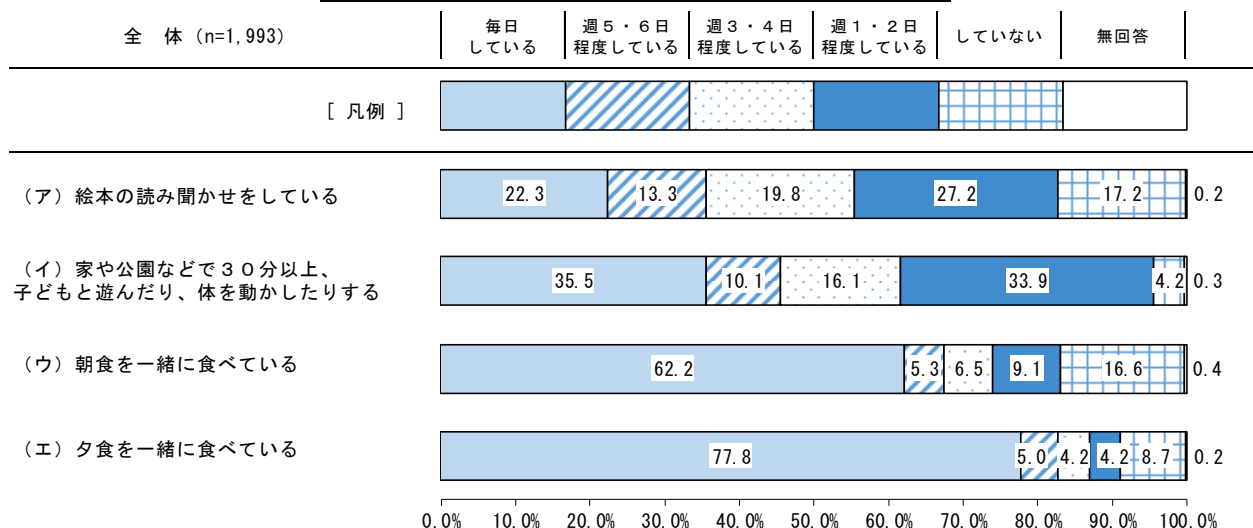
(4) 子育ての状況

①子どもとの関わり方

0～6歳の保護者（問7）

「毎日している」が最も高いのは『夕食を一緒に食べている』（77.8%）、『朝食を一緒に食べている』（62.2%）、『家や公園などで30分以上、子どもと遊んだり、体を動かしたりする』（35.5%）となっている。また、『絵本の読み聞かせをしている』は「週1・2日程度している」が最も高くなっている。

<今回調査>【図表 2-135 子どもとの関わり】



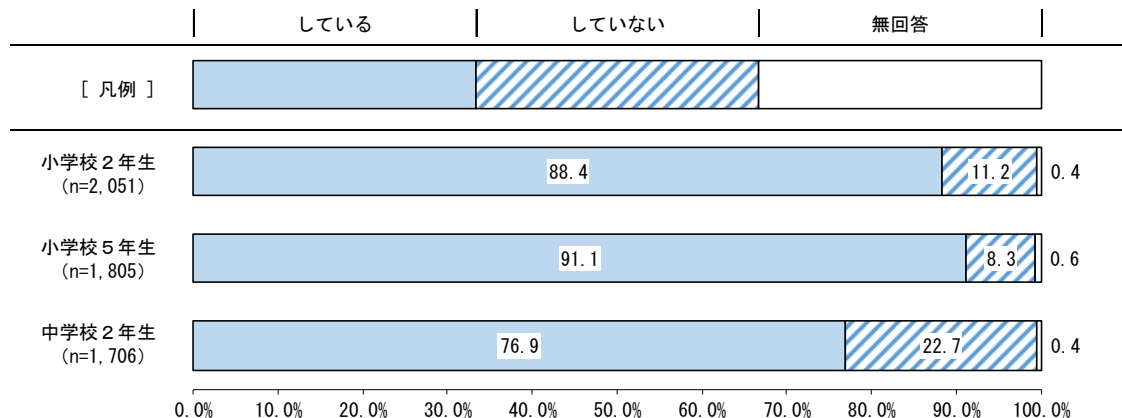
②子どもに対する機会の提供の有無

小・中学生の保護者（問１７）

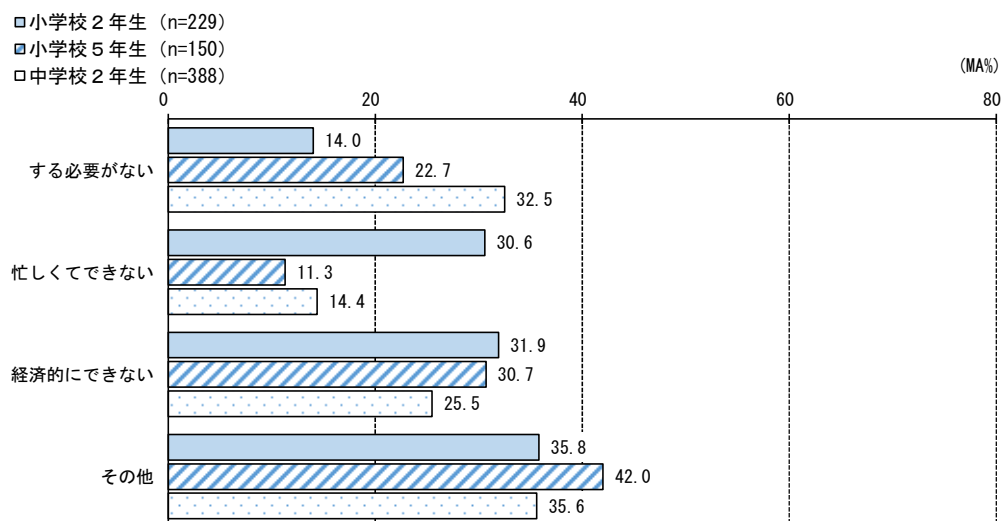
『子どもを有料の学習塾や習い事（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる』では、いずれの学年でも「している」（小学校２年生：88.4%、小学校５年生：91.1%、中学校２年生：76.9%）が最も高くなっている。

していない理由では、小学校２年生のいる世帯と小学校５年生のいる世帯で「経済的にできない」（小学校２年生：31.9%、小学校５年生：30.7%）が最も高く、中学校２年生のいる世帯で「する必要がない」が32.5%となっている。

＜今回調査＞【図表 3-424 （ア）子どもを有料の学習塾や習い事
（スポーツや音楽、英会話など）に通わせる】



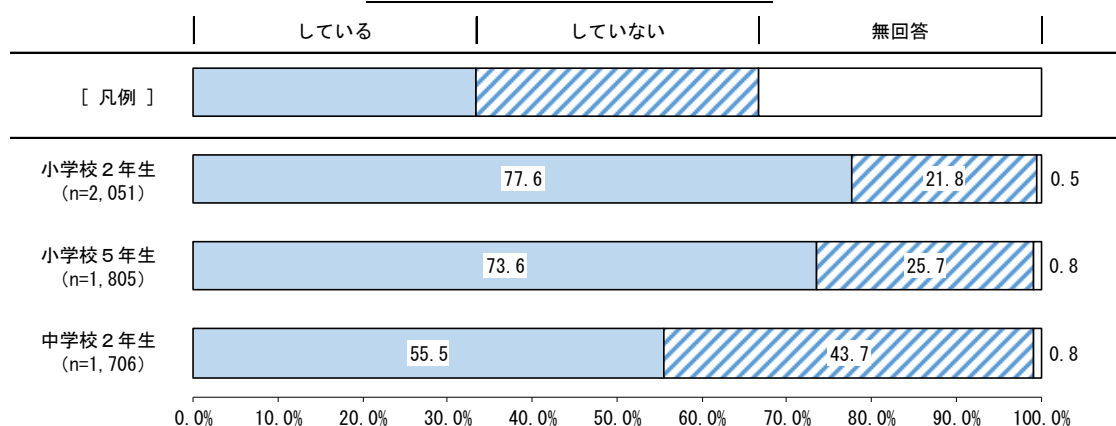
＜今回調査＞【図表 3-425 （ア）していない理由（複数回答）】



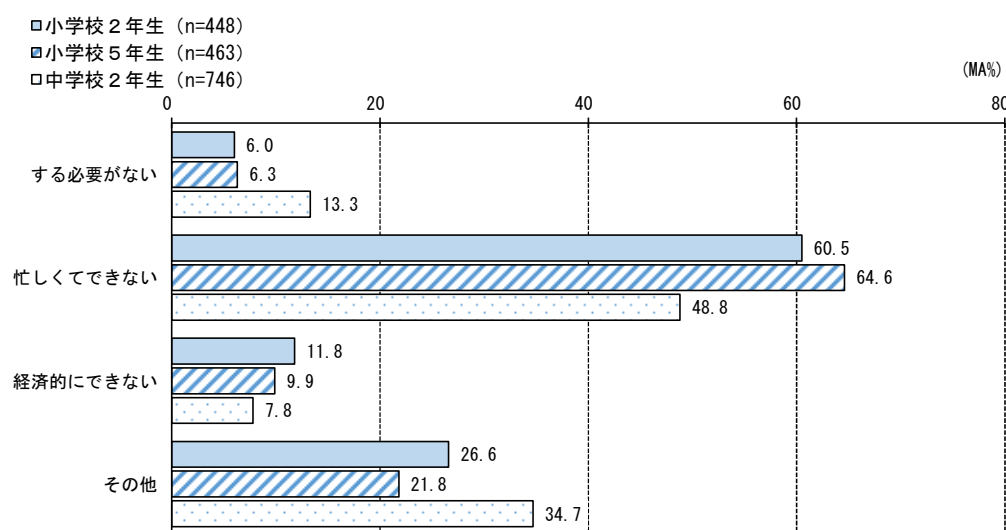
『子どもを博物館や科学館などに連れていく（映画館・美術館なども含む）』では、いずれの学年でも「している」（小学校2年生：77.6%、小学校5年生：73.6%、中学校2年生：55.5%）が最も高くなっている。

していない理由では、いずれの学年でも「忙しくてできない」（小学校2年生：60.5%、小学校5年生：64.6%、中学校2年生：48.8%）が最も高くなっている。

＜今回調査＞【図表 3-427 (イ) 子どもを博物館や科学館などに連れていく
(映画館・美術館なども含む)】



＜今回調査＞【図表 3-428 (イ) していない理由（複数回答）】



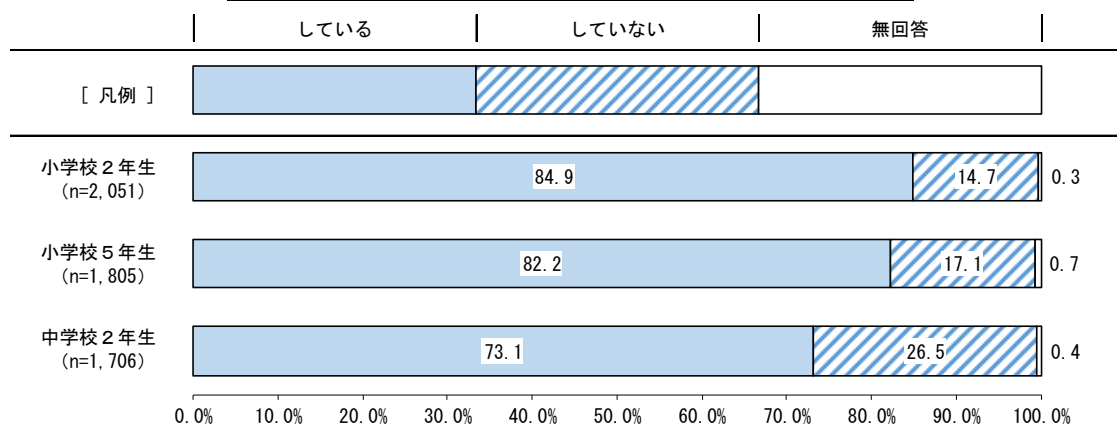
『家族旅行に行く』では、いずれの学年でも「している」(小学校2年生:84.9%、小学校5年生:82.2%、中学校2年生:73.1%)が最も高くなっている。

していない理由では、いずれの学年でも「忙しくてできない」(小学校2年生:49.0%、小学校5年生:49.2%、中学校2年生:51.1%)が最も高くなっている。

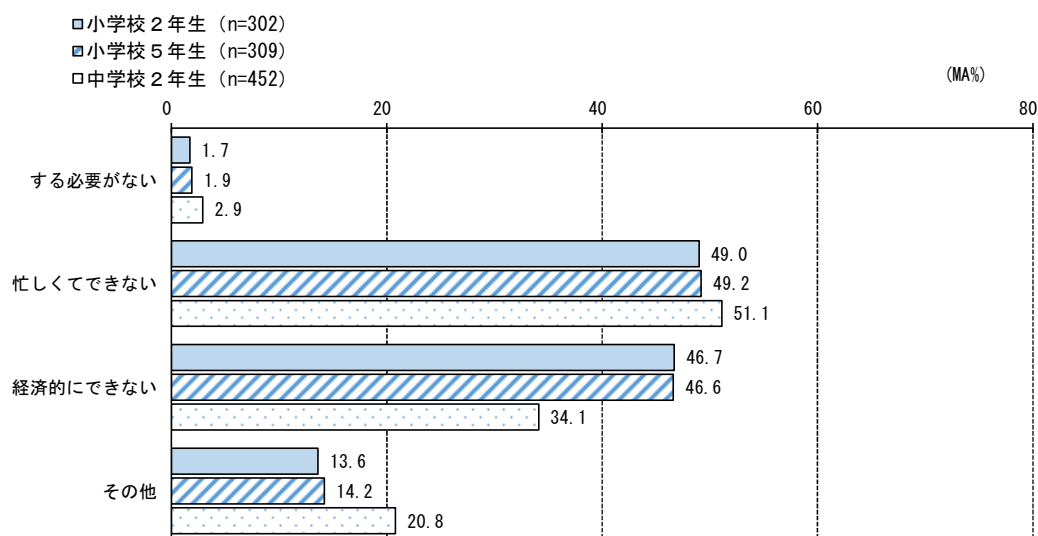
経年でみると、「している」は小学校5年生のいる世帯と中学校2年生のいる世帯で前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は設問形態が異なるため、参考値とする。

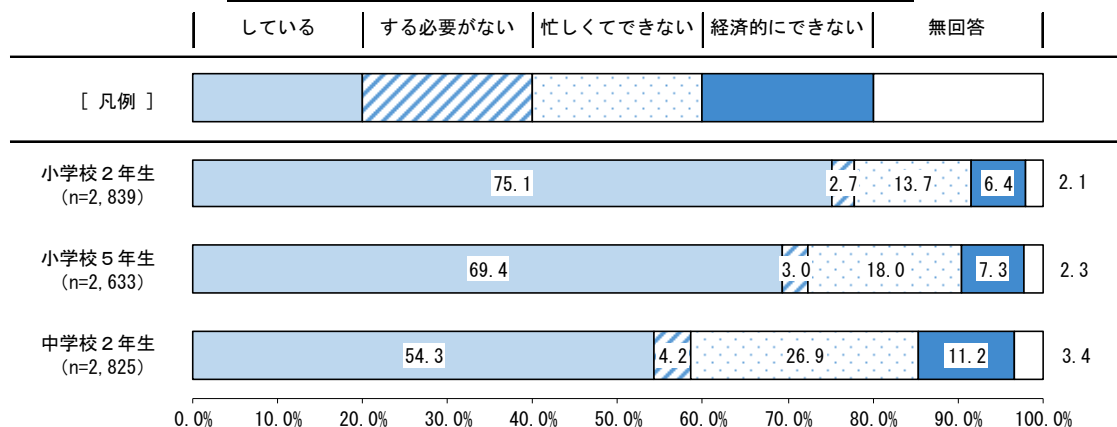
<今回調査>【図表 3-430 (ウ) 家族旅行に行く】



<今回調査>【図表 3-431 (ウ) していない理由(複数回答)】



<前回調査>【図表 3-432 (ウ) 家族旅行に行く】

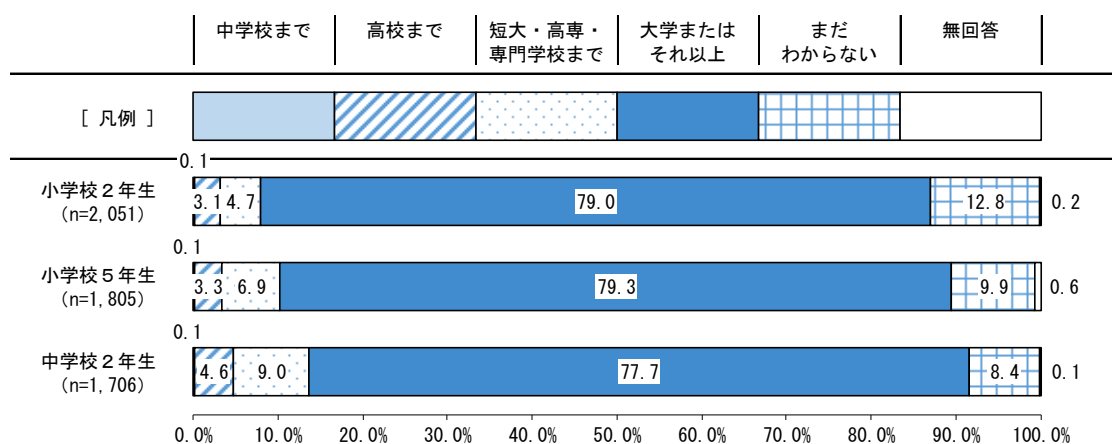


③子どもに望む最終学歴

小・中学生の保護者（問9）

いずれの学年でも「大学またはそれ以上」（小学校2年生：79.0%、小学校5年生：79.3%、中学校2年生：77.7%）が最も高く、次いで小学校2年生のいる世帯と小学校5年生のいる世帯では「まだわからない」（小学校2年生：12.8%、小学校5年生：9.9%）、「短大・高専・専門学校まで」（小学校2年生：4.7%、小学校5年生：6.9%）、中学校2年生のいる世帯では「短大・高専・専門学校まで」が9.0%、「まだわからない」が8.4%となっている。

<今回調査>【図表 3-515 子どもに望む最終学歴】

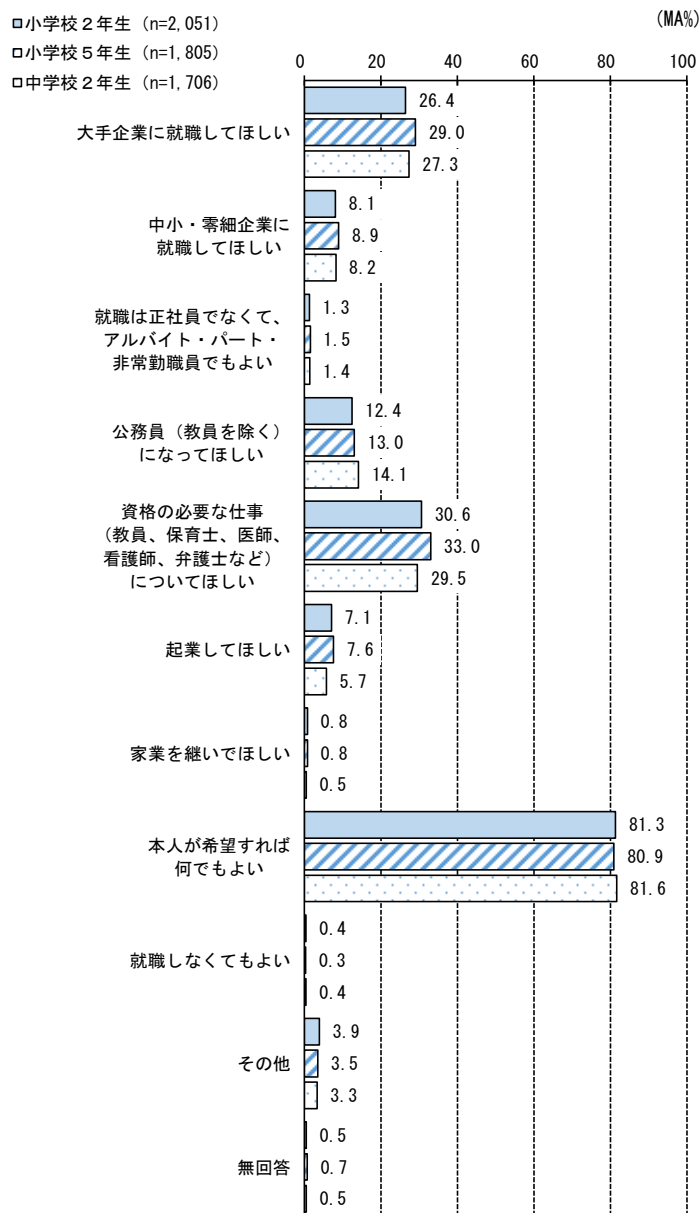


④子どもに望む就職先

小・中学生の保護者（問12）

いずれの学年でも「本人が希望すれば何でもよい」（小学校2年生：81.3%、小学校5年生：80.9%、中学校2年生：81.6%）が最も高く、次いで「資格の必要な仕事（教員、保育士、医師、看護師、弁護士など）についてほしい」（小学校2年生：30.6%、小学校5年生：33.0%、中学校2年生：29.5%）、「大手企業に就職してほしい」（小学校2年生：26.4%、小学校5年生：29.0%、中学校2年生：27.3%）となっている。

<今回調査>【図表 3-559 子どもに望む就職先（複数回答）】



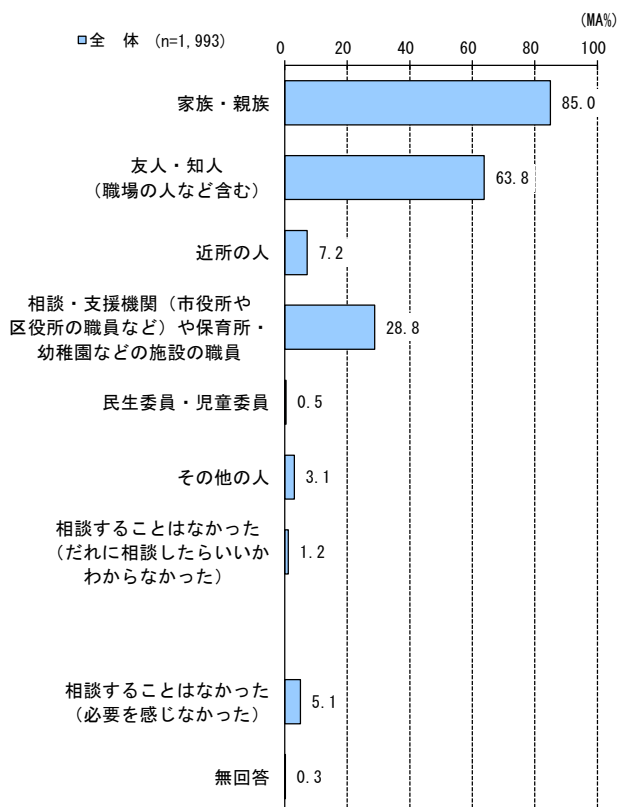
(5) 子育てに関する相談相手等

①子どもに関する相談先

0～6歳の保護者（問12）

「家族・親族」が85.0%で最も高く、次いで「友人・知人（職場の人など含む）」が63.8%、「相談・支援機関（市役所や区役所の職員など）や保育所・幼稚園などの施設の職員」が28.8%となっている。

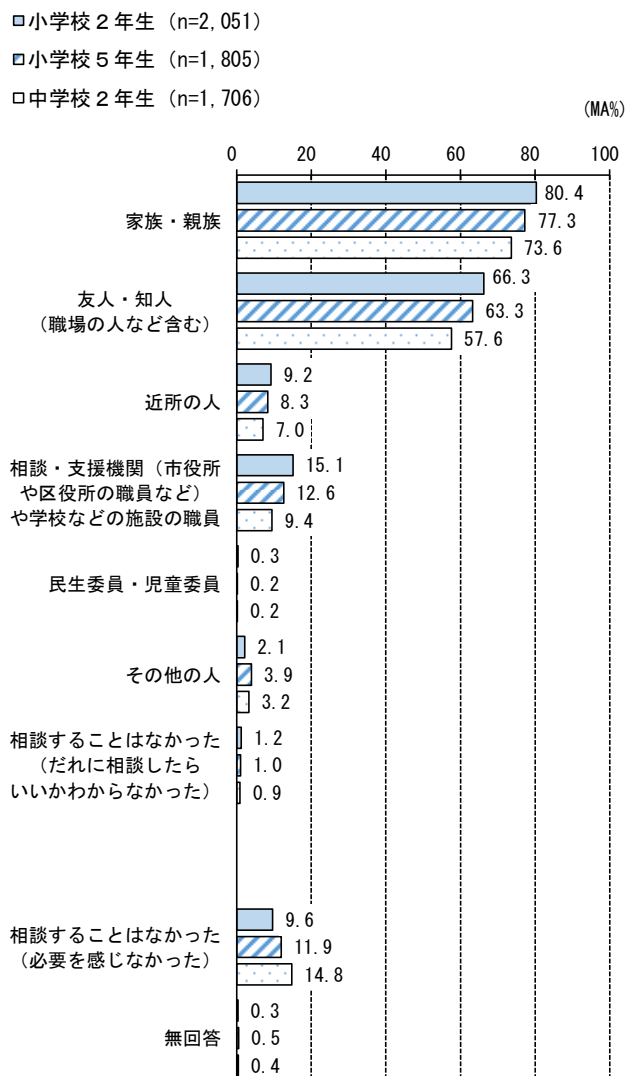
【図表 2-127 子育てに関する相談先（複数回答）】



小・中学生の保護者（問15）

いずれの学年でも「家族・親族」（小学校2年生：80.4%、小学校5年生：77.3%、中学校2年生：73.6%）が最も高く、次いで「友人・知人（職場の人など含む）」（小学校2年生：66.3%、小学校5年生：63.3%、中学校2年生：57.6%）となっている。

【図表 3-273 子育てに関する相談先（複数回答）】

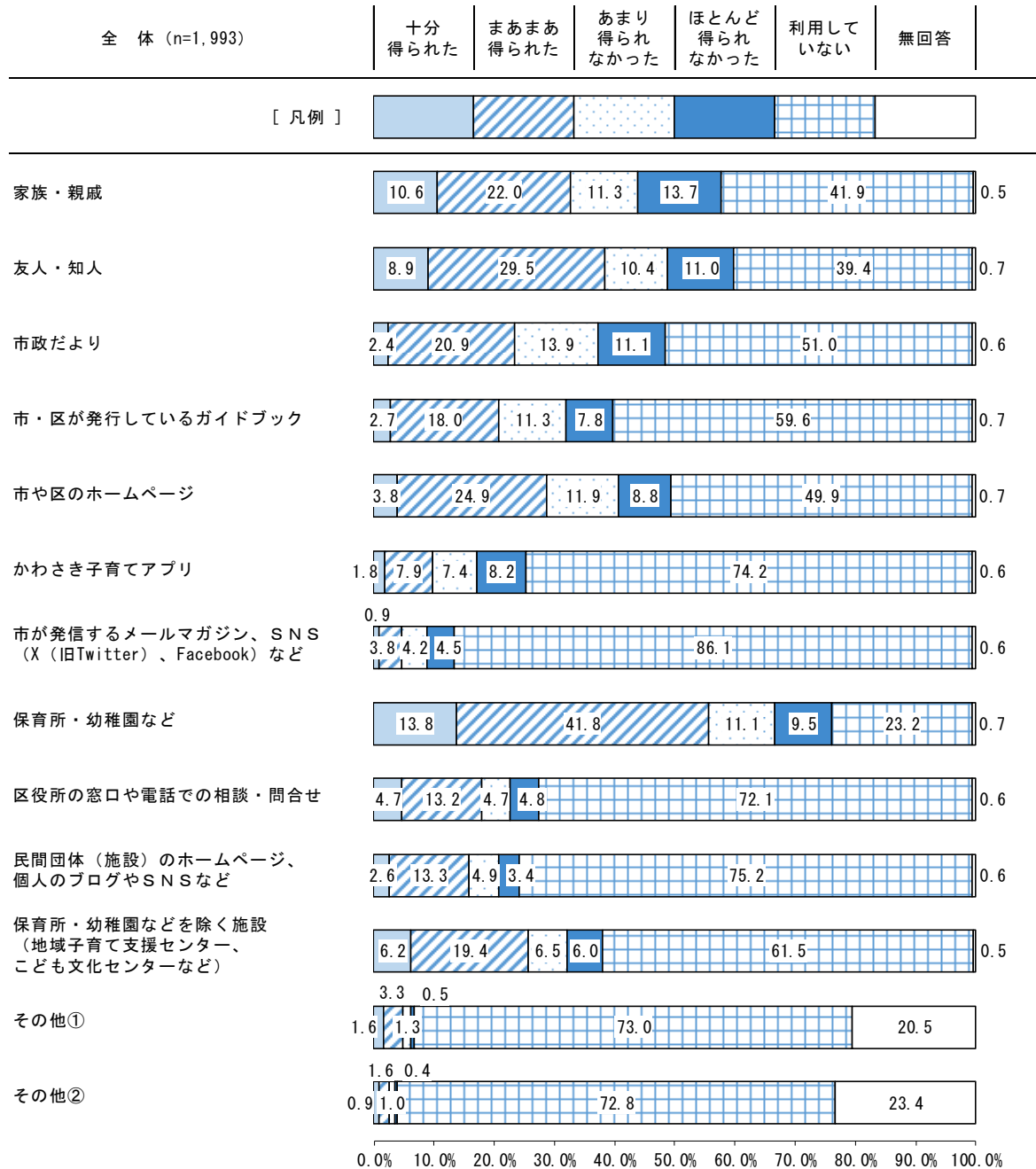


②子育てに関する情報の入手方法と情報量

0～6歳の保護者（問18）

「十分得られた」「まあまあ得られた」を足し合わせた割合は「保育所・幼稚園など」が55.6%で最も高く、次いで「友人・知人」が38.4%、「家族・親戚」が32.6%となっている。

<今回調査>【図表 2-133 子育てに関する情報の入手方法と情報量】



(6) 子どもの日常生活

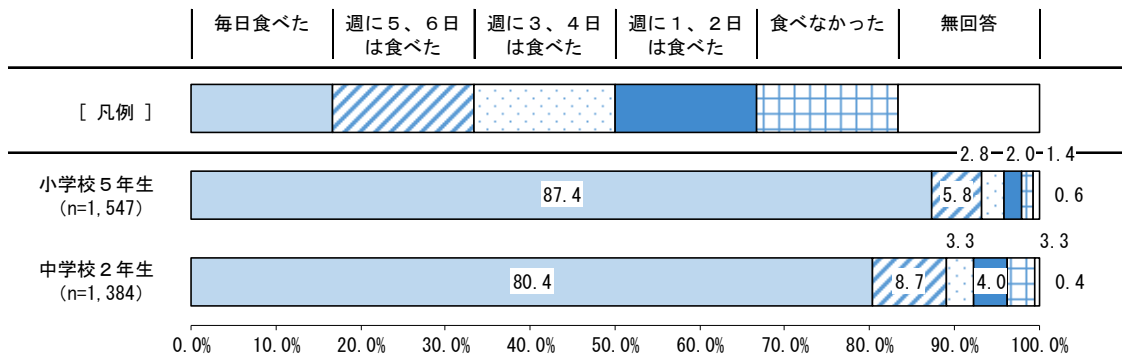
①食事の頻度

小・中学生（問9）

『朝ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、小学校5年生では「毎日食べた」が87.4%と最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」が5.8%、「週に3、4日は食べた」が2.8%となっている。

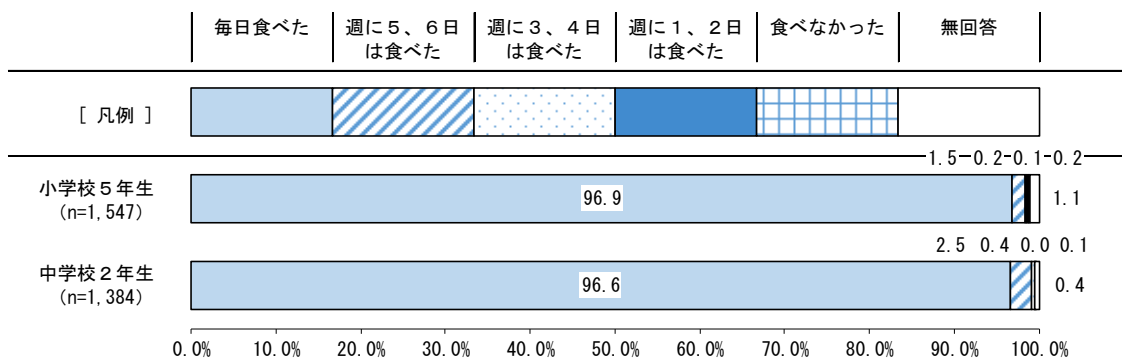
中学校2年生では「毎日食べた」が80.4%と最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」が8.7%、「週に1、2日は食べた」が4.0%となっている。

<今回調査>【図表 4-3 食事の頻度（朝ごはん）】



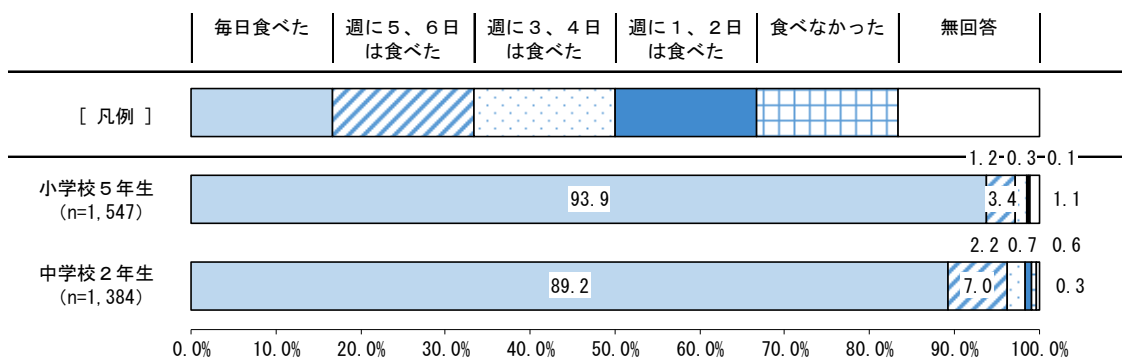
『夕ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、「毎日食べた」（小学校5年生：96.9%、中学校2年生：96.6%）が最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」（小学校5年生：1.5%、中学校2年生：2.5%）、「週に3、4日は食べた」（小学校5年生：0.2%、中学校2年生：0.4%）となっている。

<今回調査>【図表 4-5 食事の頻度（夕ごはん）】



『夏休みのお昼ごはん』の食事の頻度を聞いたところ、「毎日食べた」（小学校5年生：93.9%、中学校2年生：89.2%）が最も高く、次いで「週に5、6日は食べた」（小学校5年生：3.4%、中学校2年生：7.0%）、「週に3、4日は食べた」（小学校5年生：1.2%、中学校2年生：2.2%）となっている。

<今回調査>【図表 4-7 食事の頻度（夏休みのお昼ごはん）】



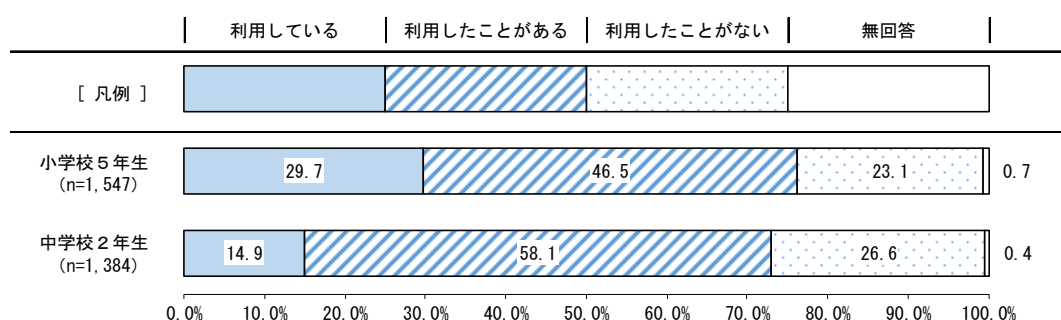
②自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況と利用希望

小・中学生（問10）

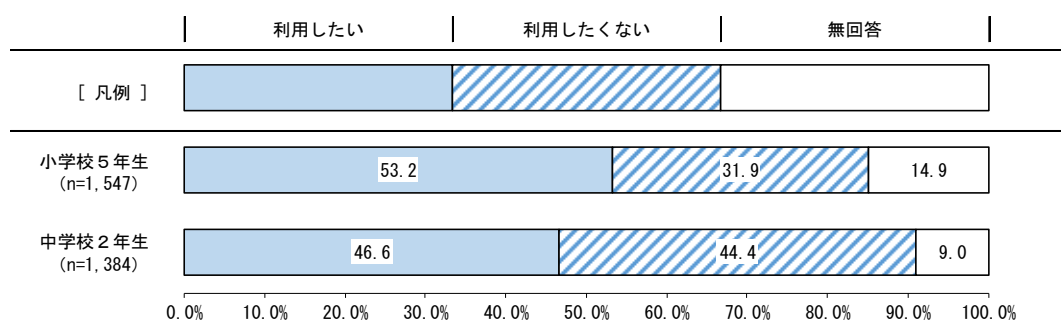
自宅や学校以外の居場所の利用状況を聞いたところ、『自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）』では「利用している」は小学校5年生が29.7%、中学校2年生が14.9%、「利用したことがある」は小学校5年生が46.5%、中学校2年生が58.1%となっている。

利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が53.2%、中学校2年生が46.6%、「利用したくない」は小学校5年生が31.9%、中学校2年生が44.4%となっている。

<今回調査>【図表 4-34 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用状況】



<今回調査>【図表 4-35 自分や友達の家以外で、平日の放課後や休日に過ごすことができる場所（こども文化センターなど）の利用希望】



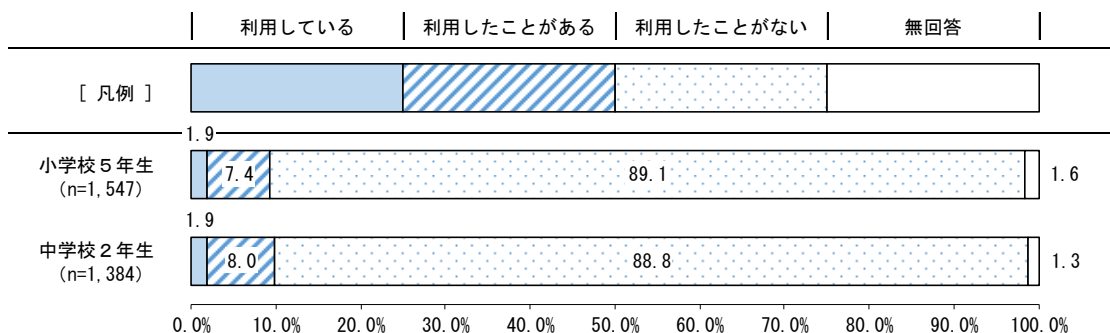
③自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況と利用希望

小・中学生（問10）

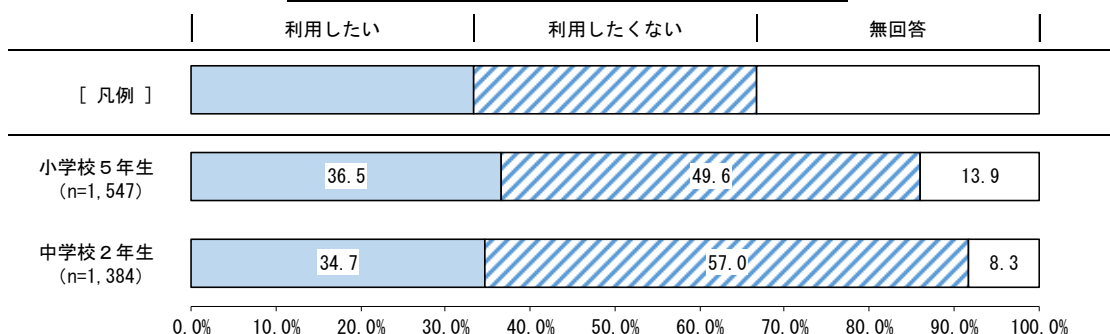
『自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）』では「利用している」は小学校5年生が1.9%、中学校2年生が1.9%、「利用したことがある」は小学校5年生が7.4%、中学校2年生が8.0%となっている。

利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が36.5%、中学校2年生が34.7%、「利用したくない」は小学校5年生が49.6%、中学校2年生が57.0%となっている。

<今回調査>【図表 4-49 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用状況】



<今回調査>【図表 4-50 自分や友達の家以外で、夕ごはんを無料か安く食べることができる場所（子ども食堂など）の利用希望】

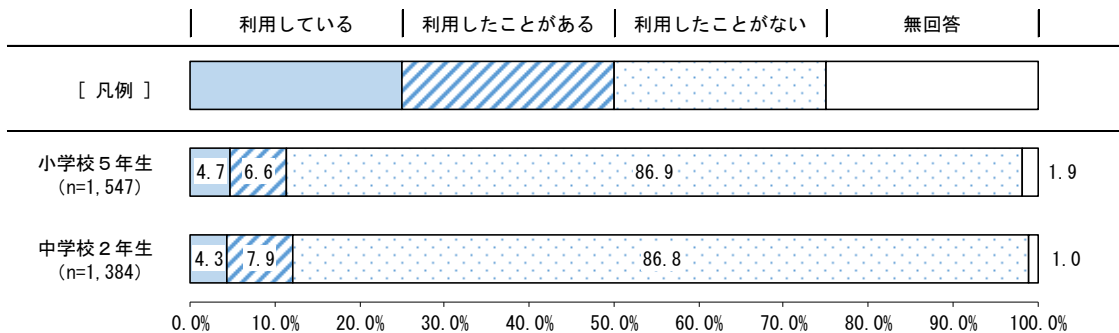


④学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況と利用希望

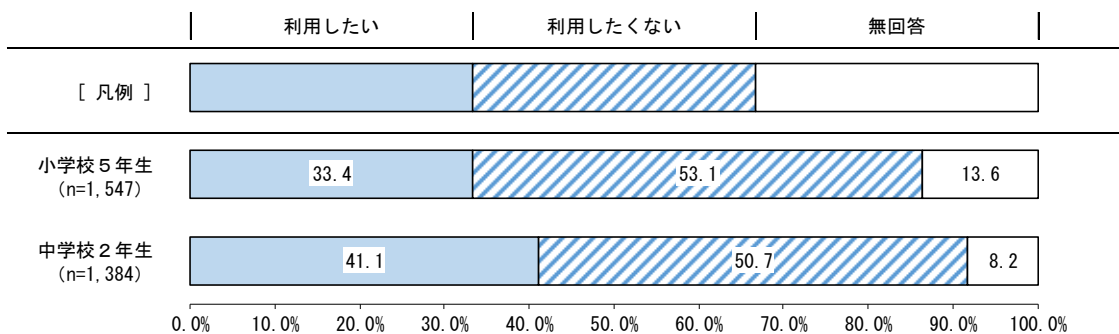
小・中学生（問10）

『学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所』では「利用している」は小学校5年生が4.7%、中学校2年生が4.3%、「利用したことがある」は小学校5年生が6.6%、中学校2年生が7.9%となっている。利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が33.4%、中学校2年生が41.1%、「利用したくない」は小学校5年生が53.1%、中学校2年生が50.7%となっている。

<今回調査> 【図表 4-64 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用状況】



<今回調査> 【図表 4-65 学校以外で、勉強を無料でみてくれる場所の利用希望】



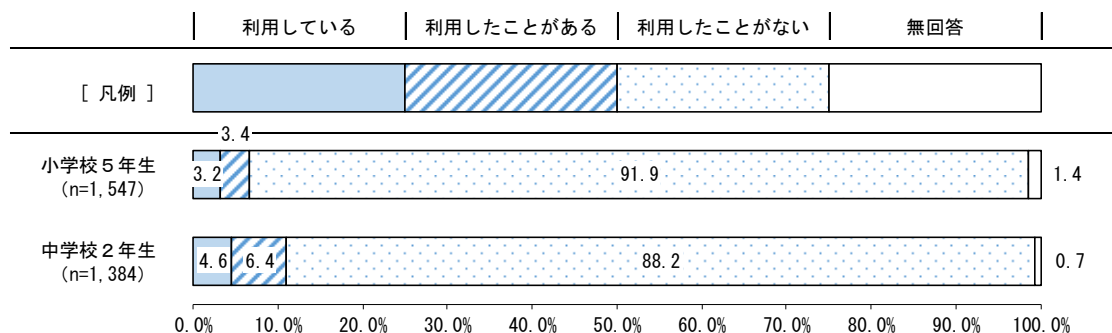
⑤自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況と利用希望

小・中学生（問10）

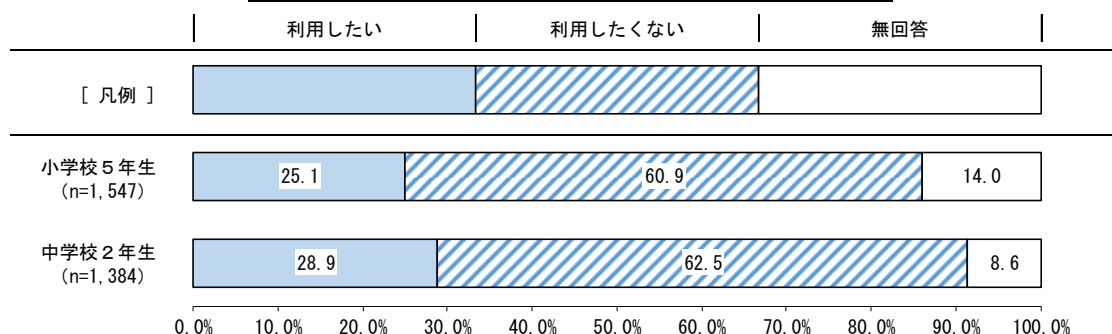
『自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所（電話やネット、SNS相談を含む）』では「利用している」は小学校5年生が3.2%、中学校2年生が4.6%、「利用したことがある」は小学校5年生が3.4%、中学校2年生が6.4%となっている。

利用希望を聞いたところ、「利用したい」は小学校5年生が25.1%、中学校2年生が28.9%、「利用したくない」は小学校5年生が60.9%、中学校2年生が62.5%となっている。

＜今回調査＞【図表 4-79 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用状況】



＜今回調査＞【図表 4-80 自分の家や学校以外で、何でも相談できる場所
（電話やネット、SNS相談を含む）の利用希望】



⑥放課後過ごす場所

小・中学生（問13）

放課後過ごす場所を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「自分の家・親せきの家」が76.5%と最も高く、次いで「公園」が44.8%、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が43.3%となっている。

中学校2年生では「自分の家・親せきの家」が77.9%と最も高く、次いで「学校（部活動を含む）」が51.3%、「塾や習い事（スポーツの教室などを含む）」が37.4%となっている。

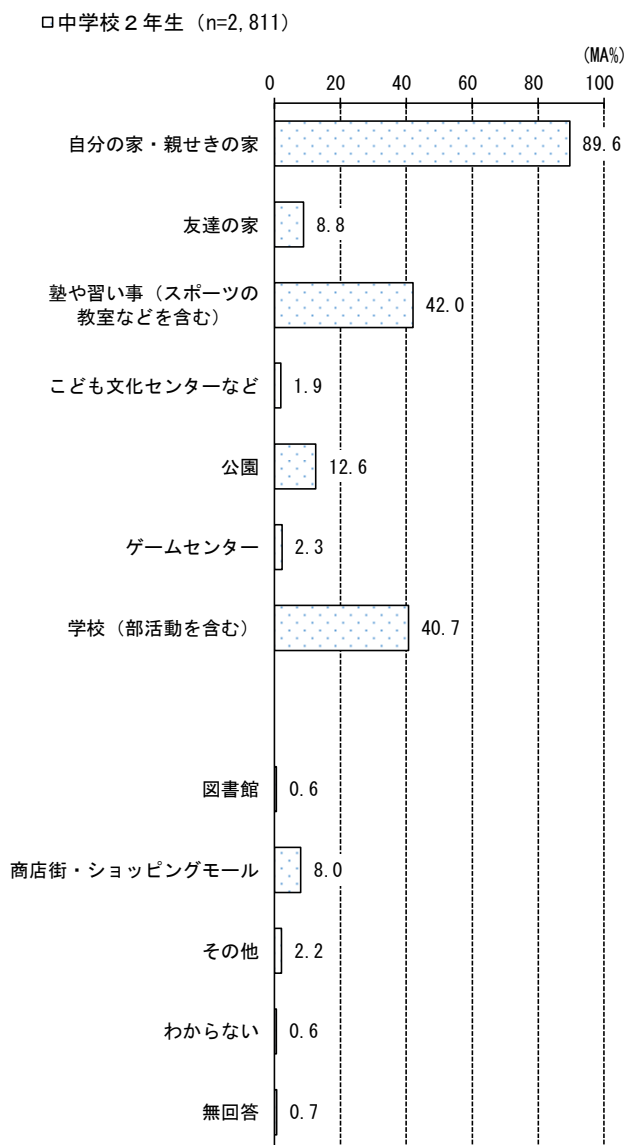
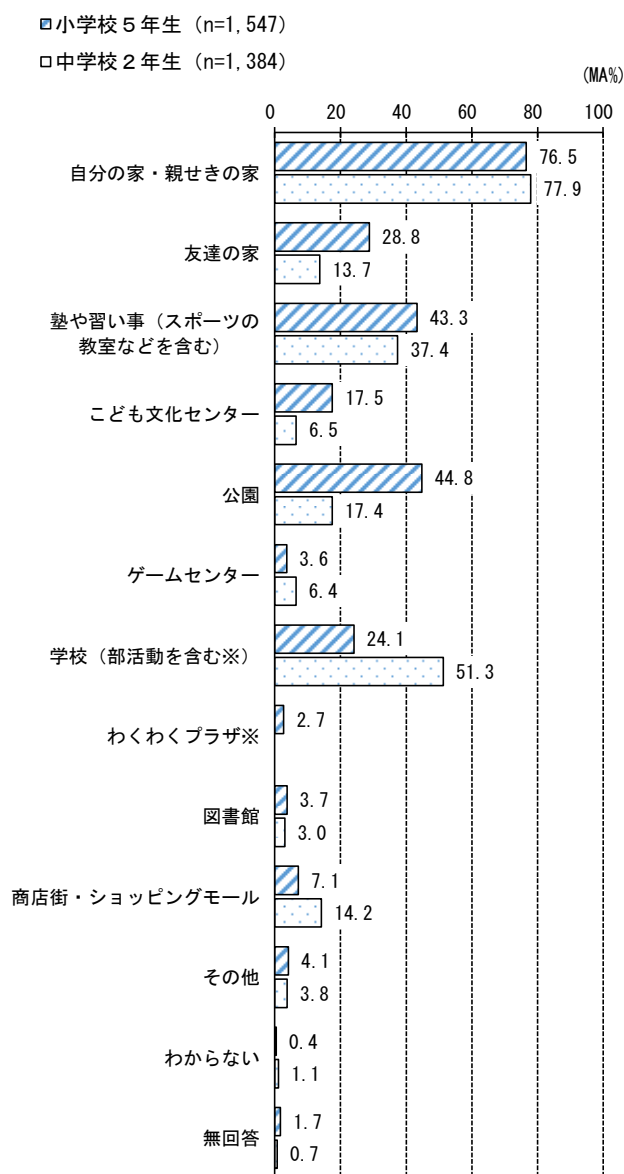
経年でみると、中学校2年生では「学校（部活動を含む）」が前回調査に比べて高く、「自分の家・親せきの家」は低くなっている。

前回調査には、小学校5年生ではこの設問は含まれていない。

【図表 4-101 放課後過ごす場所（複数回答）】

<今回調査>

<前回調査>



⑦放課後過ごす場所に希望すること

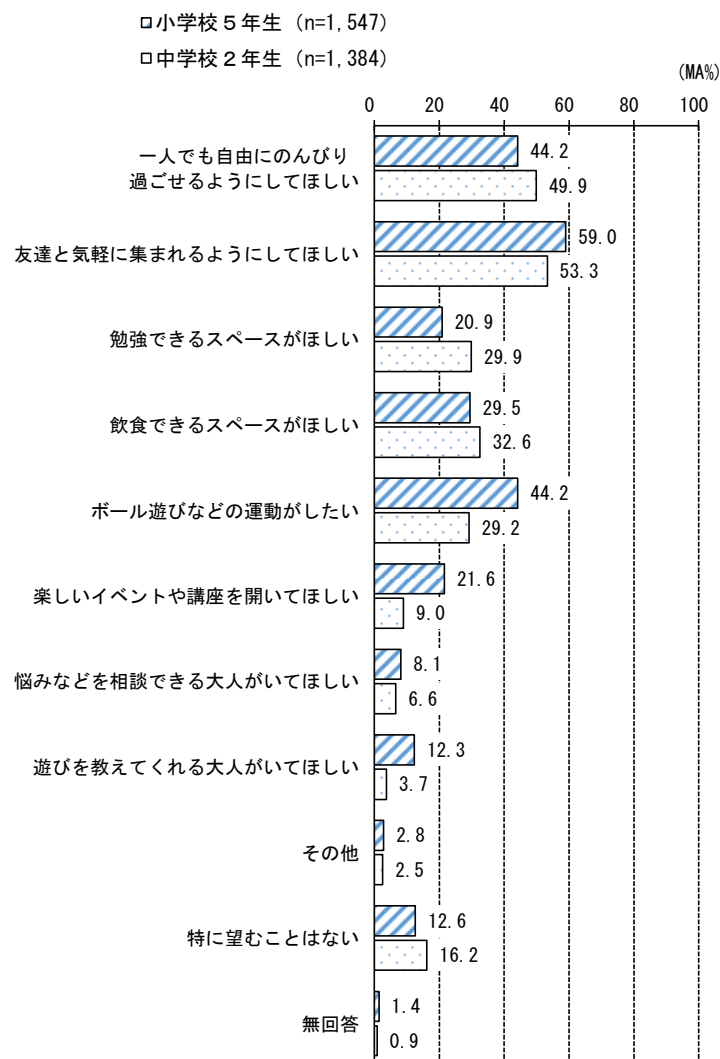
小・中学生（問１２）

放課後過ごす場所に希望することを複数回答で聞いたところ、小学校５年生では「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」が59.0%と最も高く、次いで「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」「ボール遊びなどの運動がしたい」が44.2%となっている。

中学校２年生では「友達と気軽に集まれるようにしてほしい」が53.3%と最も高く、次いで「一人でも自由にのんびり過ごせるようにしてほしい」が49.9%、「飲食できるスペースがほしい」が32.6%となっている。

なお、前回調査には、この設問は含まれていない。

<今回調査>【図表 4-95 放課後過ごす場所に希望すること（複数回答）】



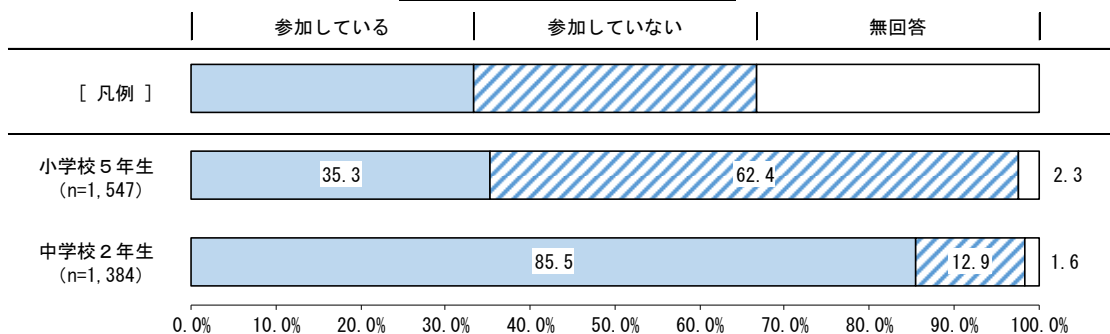
⑧地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況

小・中学生（問14）

スポーツクラブ・部活動等への参加状況を聞いたところ、小学校5年生では「参加している」が35.3%、「参加していない」が62.4%となっている。

中学校2年生では「参加している」が85.5%、「参加していない」が12.9%となっている。

＜今回調査＞【図表 4-159 地域のスポーツクラブ、文化クラブ、学校の部活動、生徒会活動への参加状況】



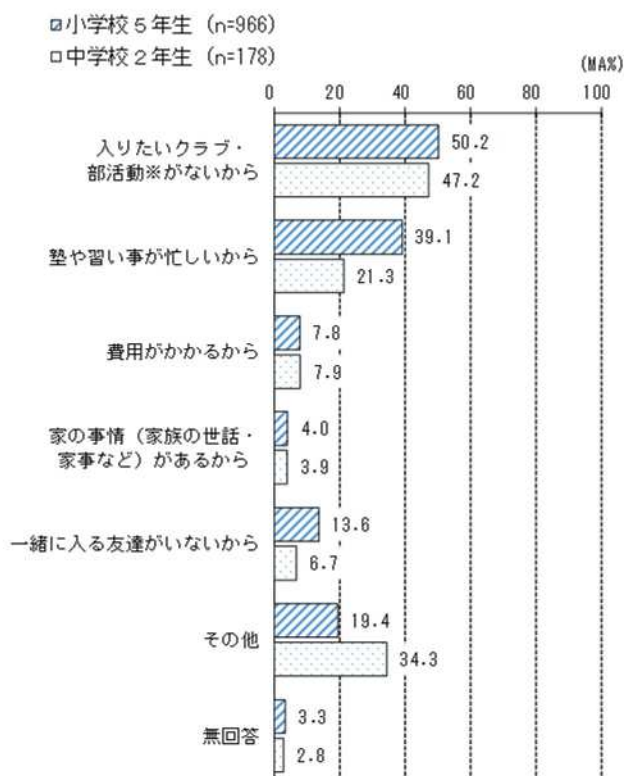
⑨スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由

小・中学生（問15）

スポーツクラブ、部活動等へ参加していない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「入りたいクラブがないから」が50.2%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が39.1%、「一緒にいる友達がないから」が13.6%となっている。

中学校2年生では「入りたいクラブ・部活動がないから」が47.2%と最も高く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が21.3%、「費用がかかるから」が7.9%となっている。

【図表 4-167 スポーツクラブ、部活動等へ参加しない理由（複数回答）】



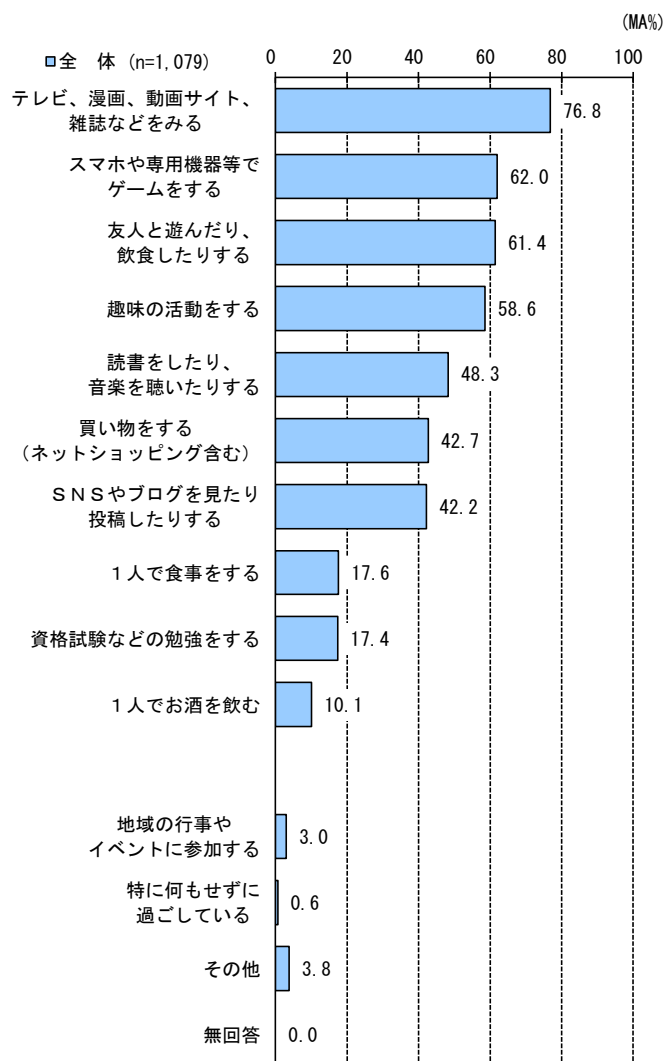
(7) 若者の生活状況

①自由時間の過ごし方

若者（問18）

「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」が76.8%で最も高く、次いで「スマホや専用機器等でゲームをする」が62.0%、「友人と遊んだり、飲食したりする」が61.4%となっている。

【図表 5-21 自由時間の過ごし方（複数回答）】



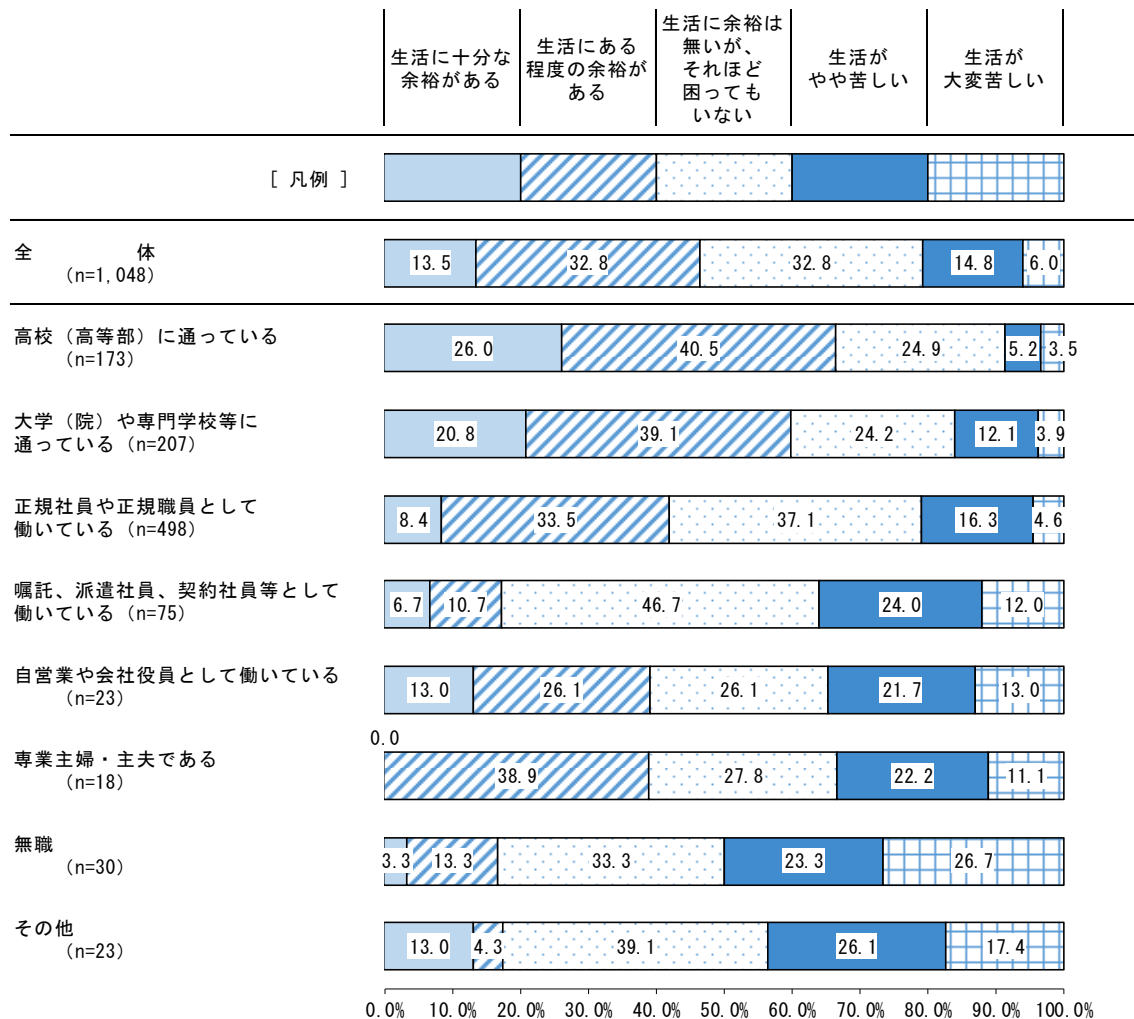
②現在の経済的な生活状況（就学・就業状況別）

若者（問10）

現在の経済的な生活状況を就学・就業状況別にみると、「生活に十分な余裕がある」は『高校（高等部）に通っている』が26.0%、「生活に余裕は無いが、それほど困ってもいない」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が46.7%と、全体に比べて高くなっている。「生活にある程度の余裕がある」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が10.7%と、全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-25 現在の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）



③将来の経済的な生活状況（就学・就業状況別）

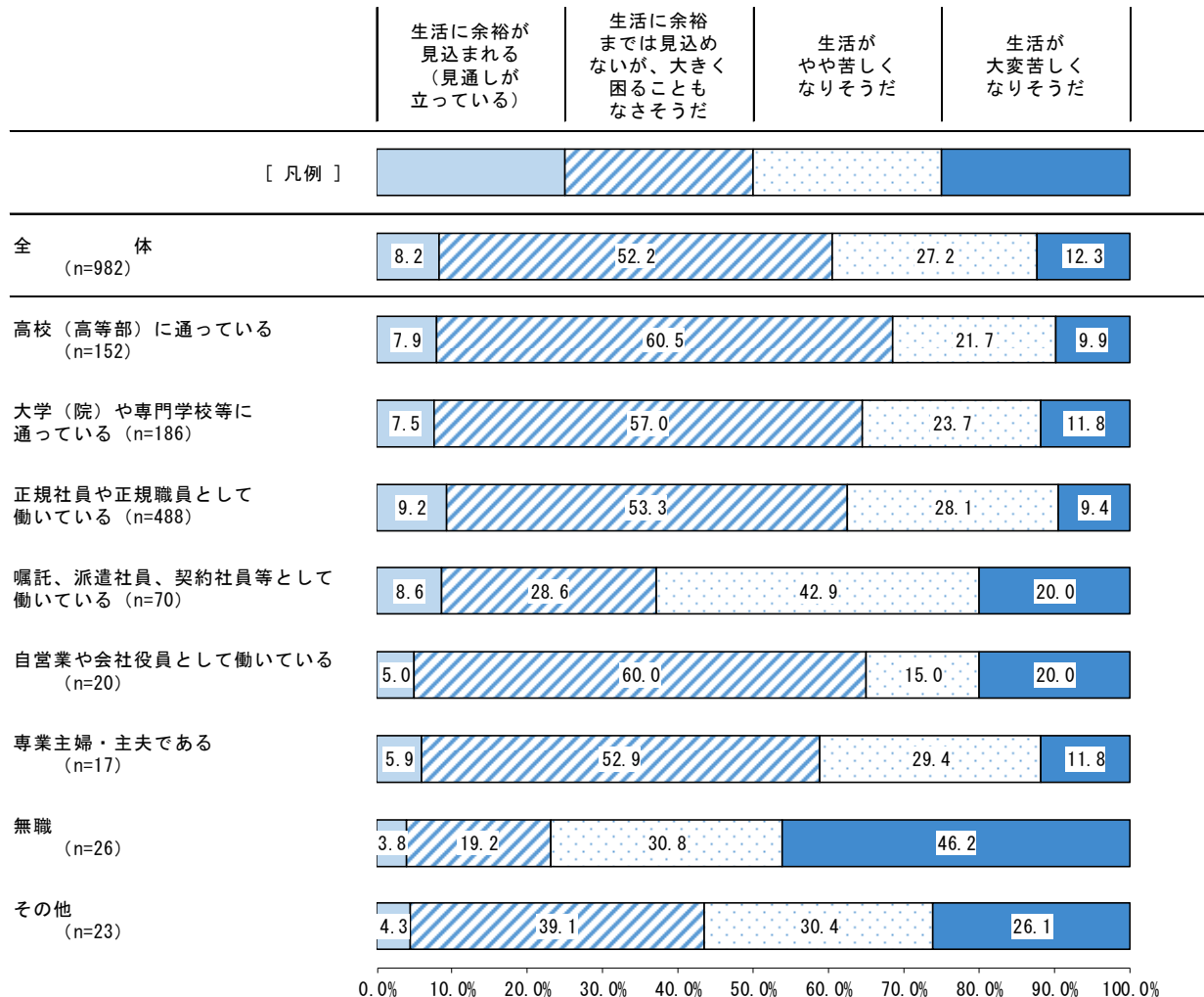
若者（問11）

将来（5～10年後）の経済的な生活状況を就学・就業状況別にみると、「生活がやや苦しくなりそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』が42.9%と、全体に比べて高くなっている。

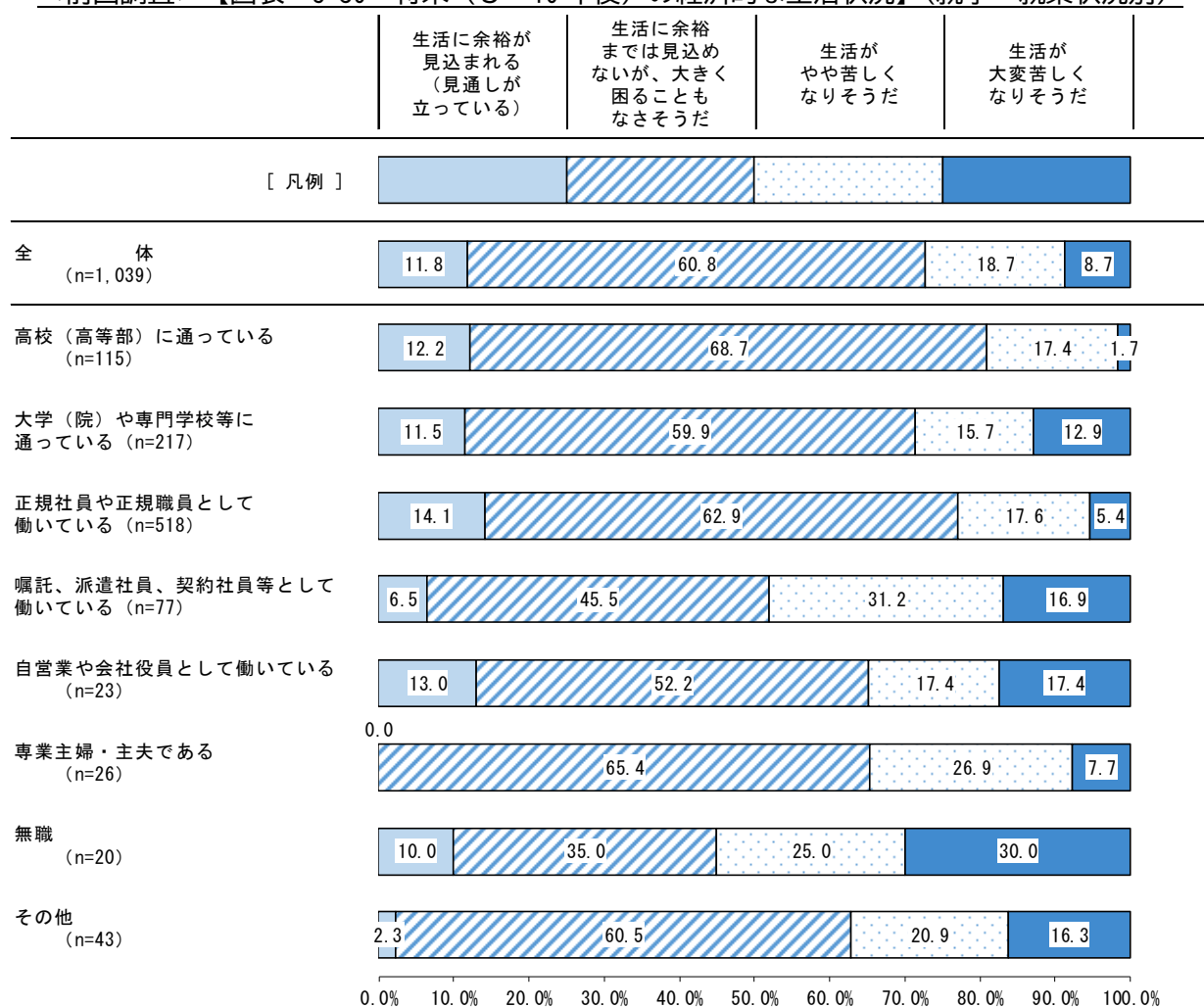
経年でみると、「生活がやや苦しくなりそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて高く、「生活に余裕までは見込めないが、大きく困ることもなさそうだ」は『嘱託、派遣社員、契約社員等として働いている』で、前回調査に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

<今回調査>【図表 5-29 将来（5～10年後）の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）



<前回調査>【図表 5-30 将来（5～10年後）の経済的な生活状況】（就学・就業状況別）

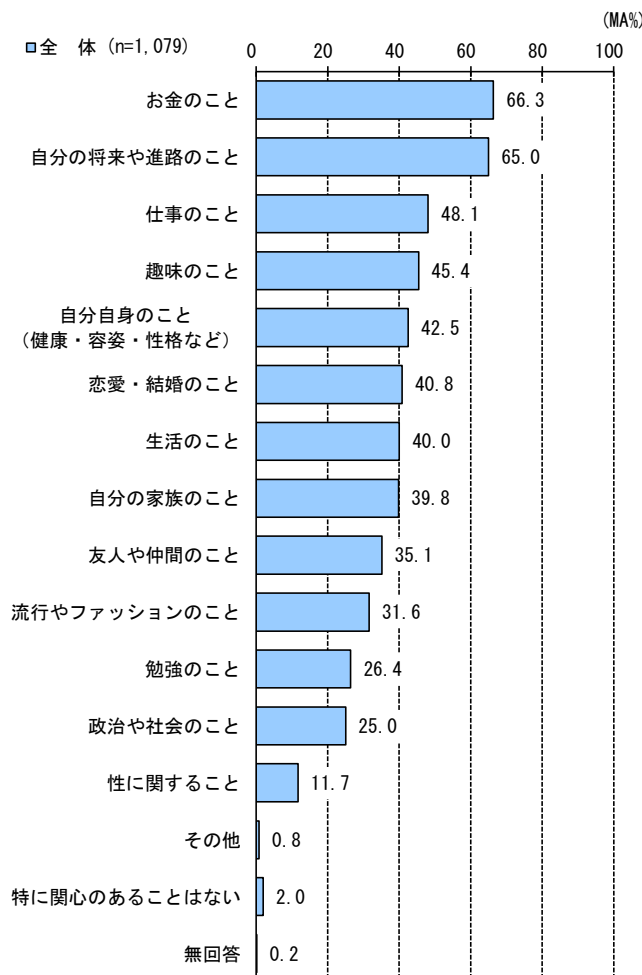


④関心のあること

若者（問9）

今、関心のあることを複数回答で聞いたところ、「お金のこと」が66.3%で最も高く、次いで「自分の将来や進路のこと」が65.0%、「仕事のこと」が48.1%となっている。

【図表 5-31 今、関心のあること（複数回答）】

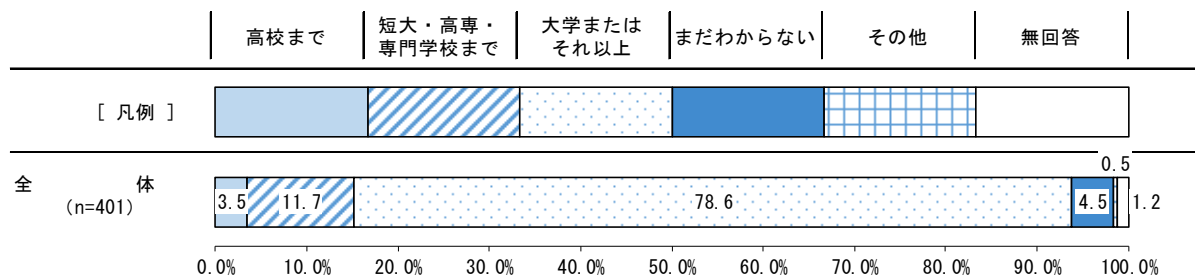


⑤将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か

若者（問12-1）

「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」方に、将来どの学校まで行きたい（卒業したい）かを聞いたところ、「大学またはそれ以上」が78.6%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が11.7%、「まだわからない」が4.5%となっている。

<今回調査> 【図表 5-33 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か】



⑥仕事を選ぶ際に重要だと思うこと

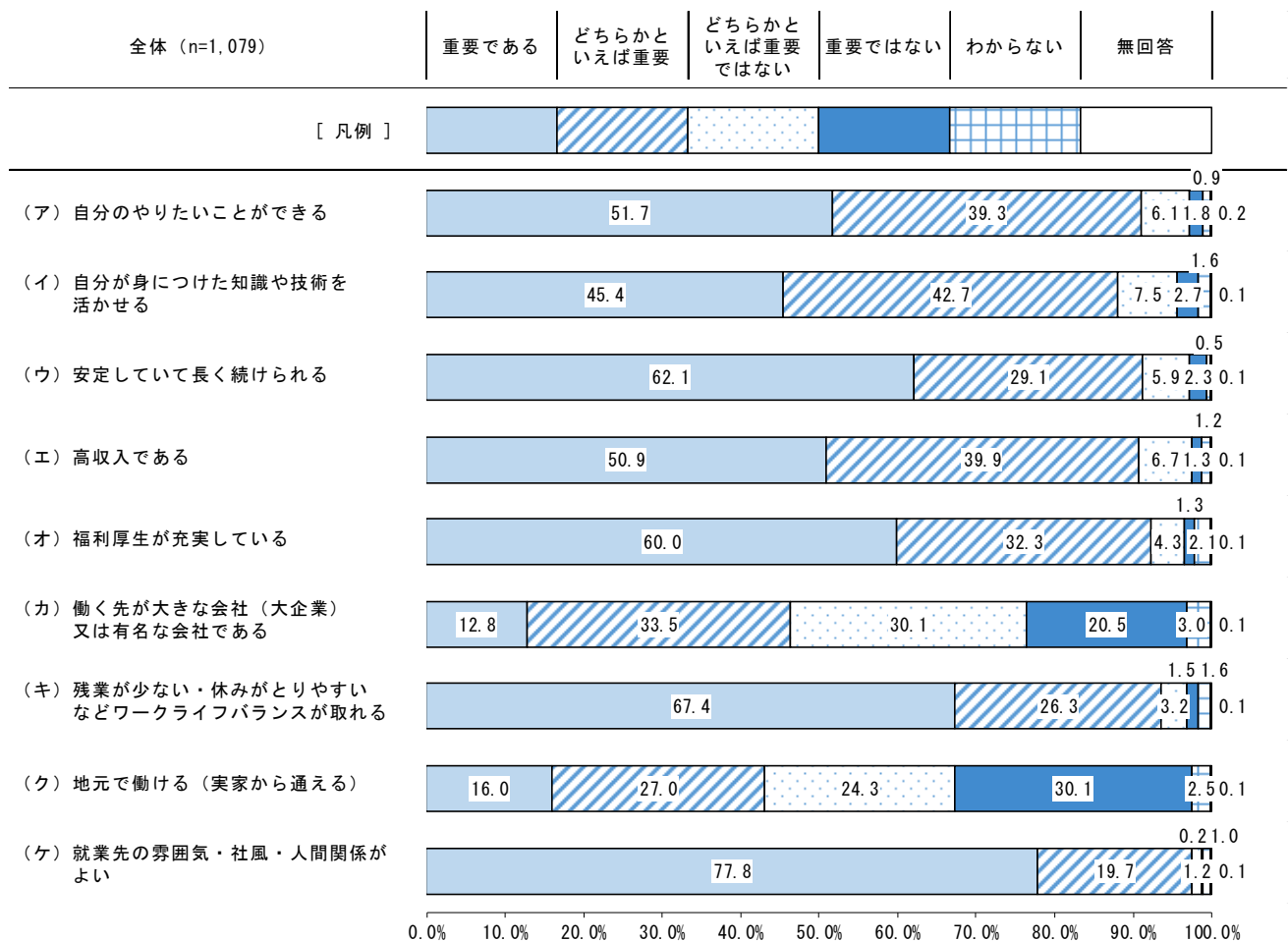
若者（問13）

仕事を選ぶ際に重要だと思うことを聞いたところ、「重要である」と「どちらかといえば重要」を足し合わせた割合は『就業先の雰囲気・社風・人間関係がよい』が97.5%で最も高く、「どちらかといえば重要ではない」と「重要ではない」を足し合わせた割合は『地元で働ける（実家から通える）』が54.4%で最も高くなっている。

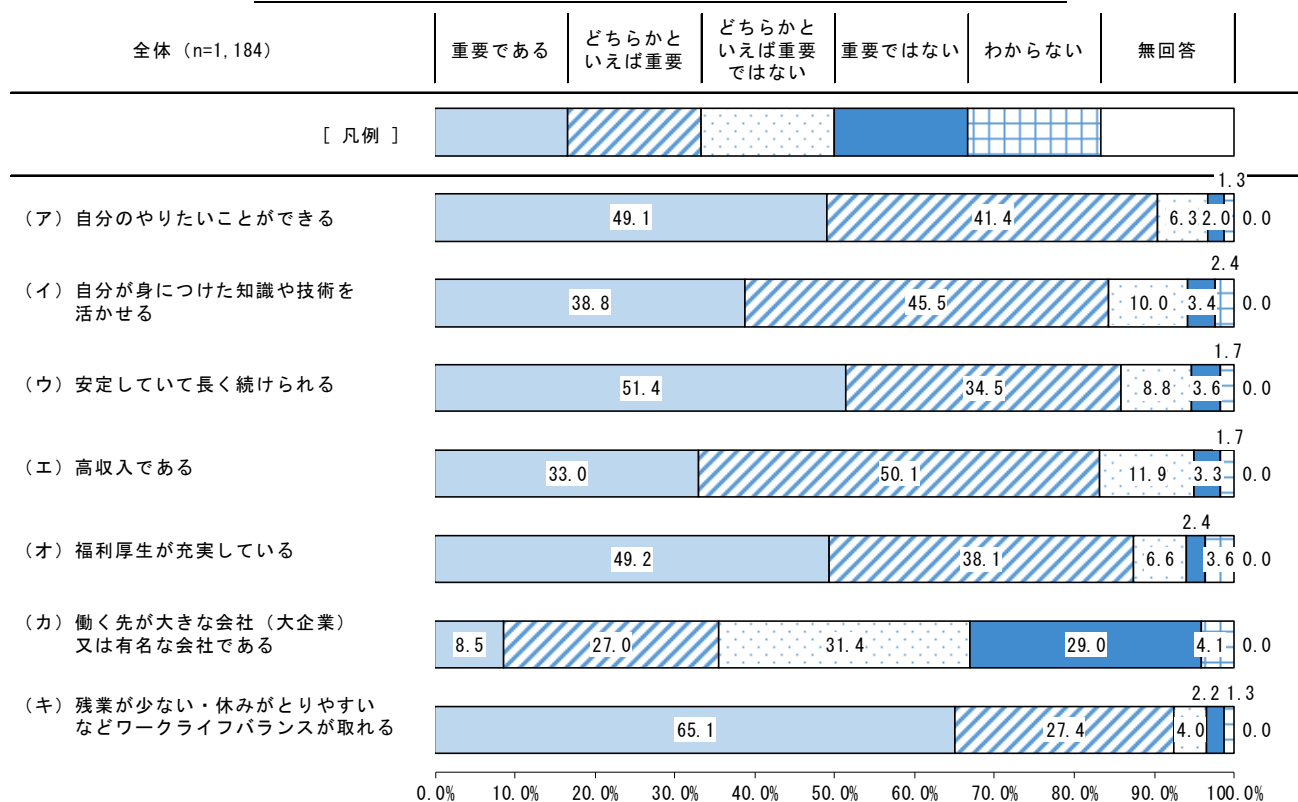
経年でみると、「重要である」は『安定していて長く続けられる』『高収入である』『福利厚生が充実している』で、前回調査に比べて高くなっている。

なお、前回調査は設問内容が異なるため、参考値とする。

<今回調査>【図表 5-36 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



<前回調査>【図表 5-37 仕事を選ぶ際に重要だと思うこと】



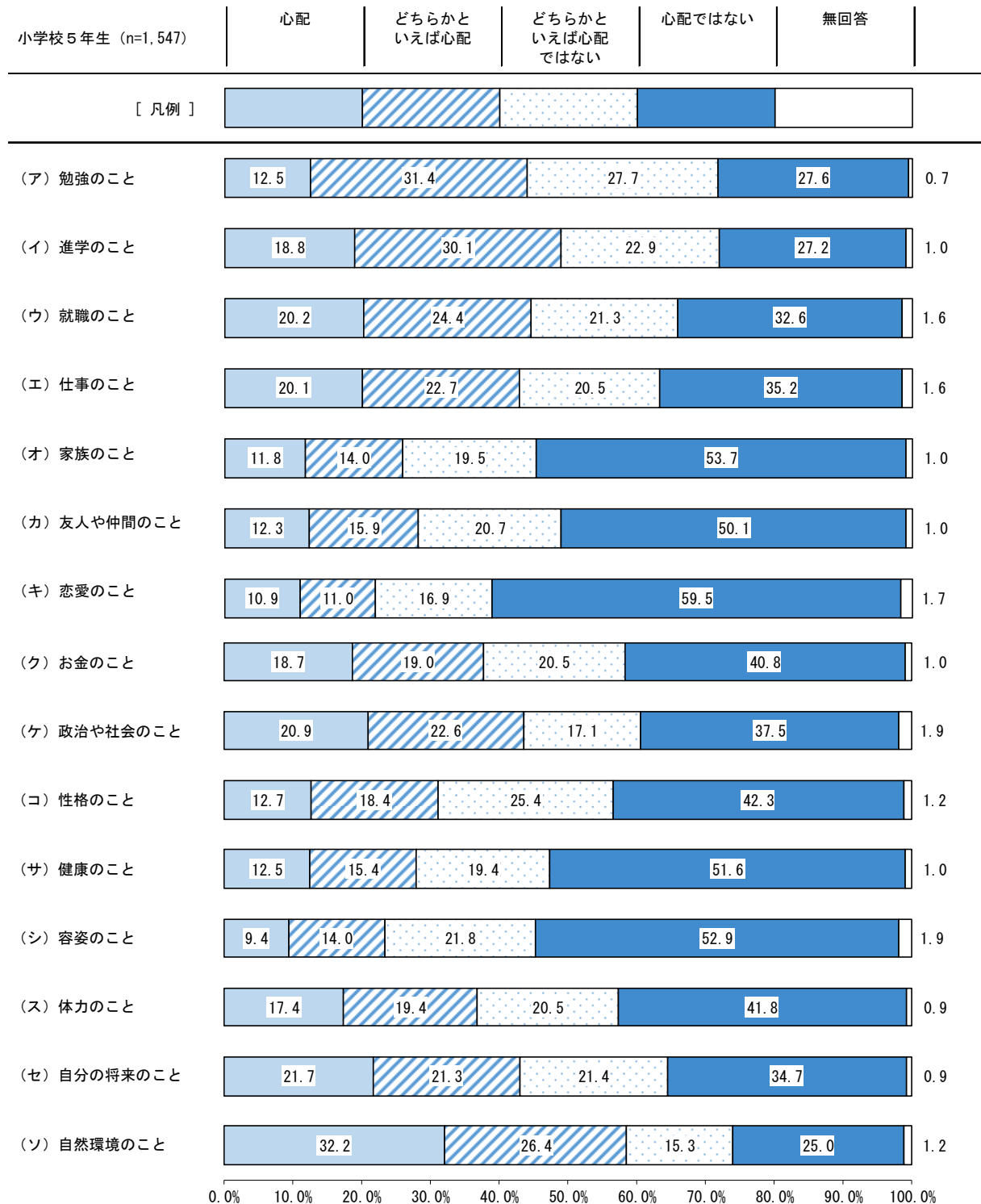
(8) 子ども・若者の心配ごと・悩み

①現在の悩みや心配ごと（小学5年生）

小・中学生（問16）

「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『自然環境のこと』が58.6%と最も高く、次いで『進学のこと』が48.9%となっている。「心配ではない」と「どちらかといえば心配ではない」を足し合わせた割合は、『恋愛のこと』が76.4%と最も高く、次いで『容姿のこと』が74.7%となっている。

<今回調査>【図表 4-104, 105 悩みや心配ごと】（小学校5年生）

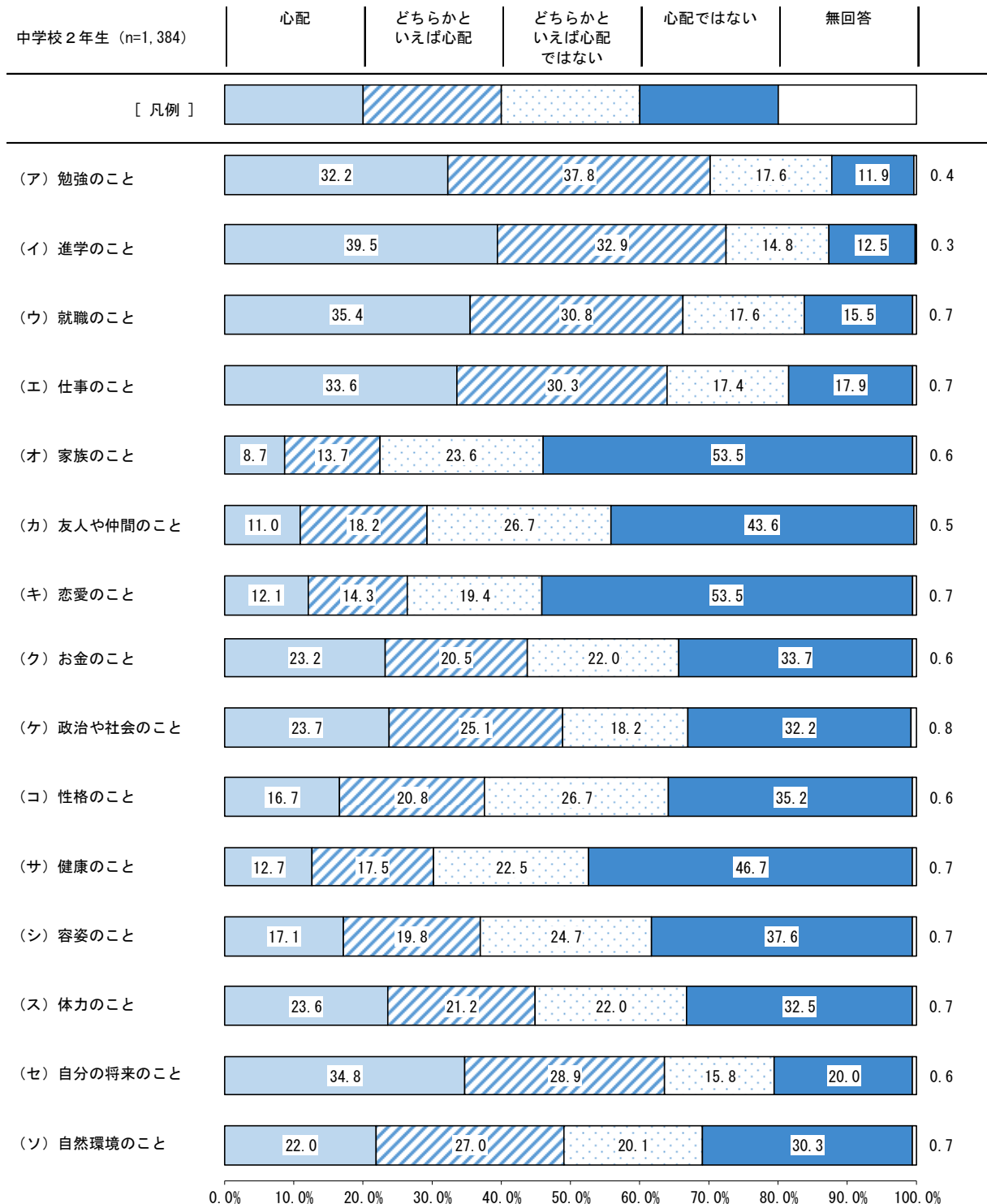


②現在の悩みや心配ごと（中学2年生）

小・中学生（問16）

「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は、『進学のこと』が72.4%と最も高く、次いで『勉強のこと』が70.0%となっている。「心配ではない」と「どちらかといえば心配ではない」を足し合わせた割合は、『家族のこと』が77.1%と最も高く、次いで『恋愛のこと』が72.9%となっている。

<今回調査>【図表 4-106, 107 悩みや心配ごと】（中学校2年生）

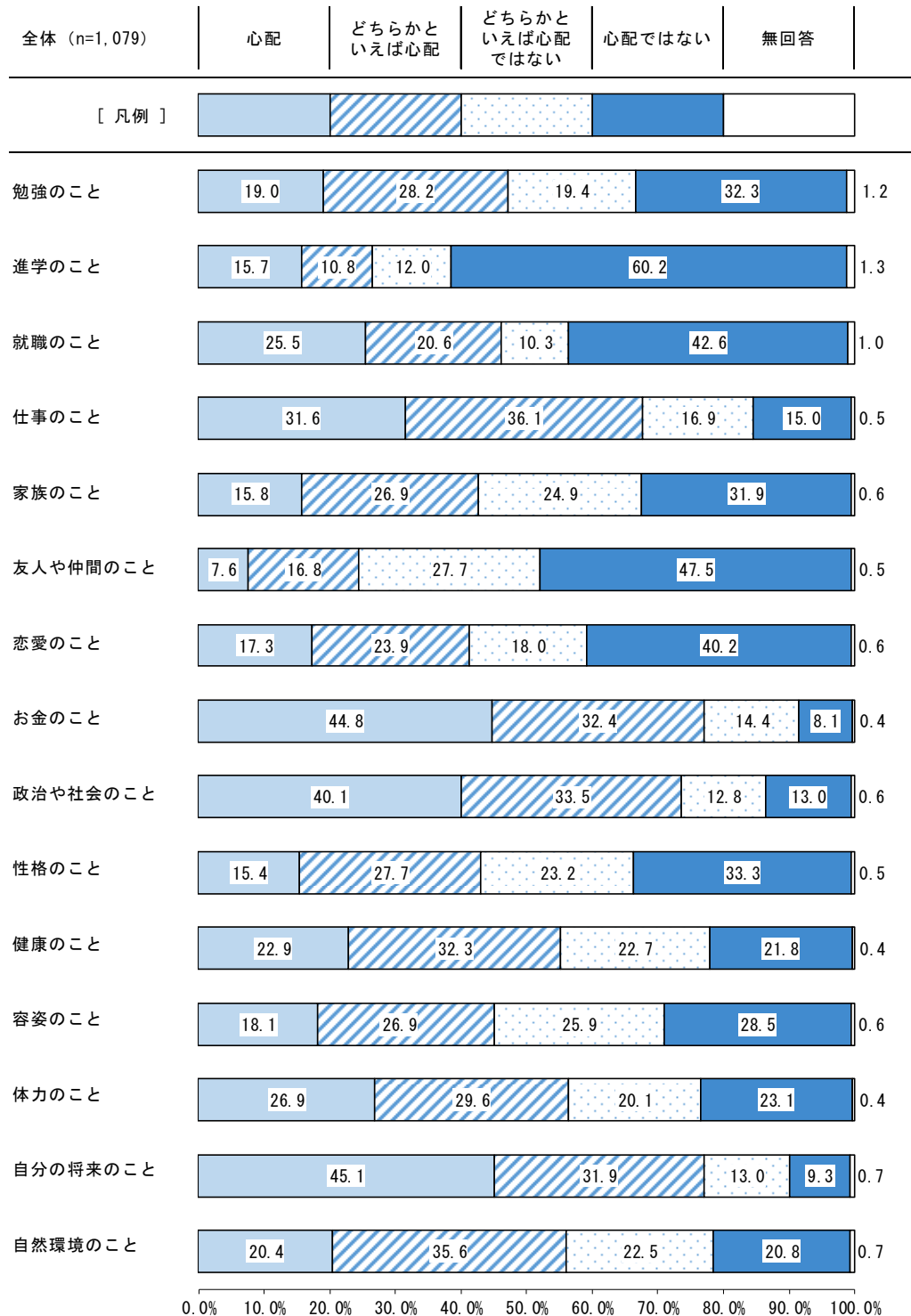


③現在の悩みや心配ごと（若者）

若者（問21）

「心配」と「どちらかといえば心配」を足し合わせた割合は『お金のこと』が77.2%で最も高く、「どちらかといえば心配ではない」と「心配ではない」を足し合わせた割合は『友人や仲間のこと』が75.2%で最も高くなっている。

<今回調査>【図表 5-89 現在の悩みや心配ごと】

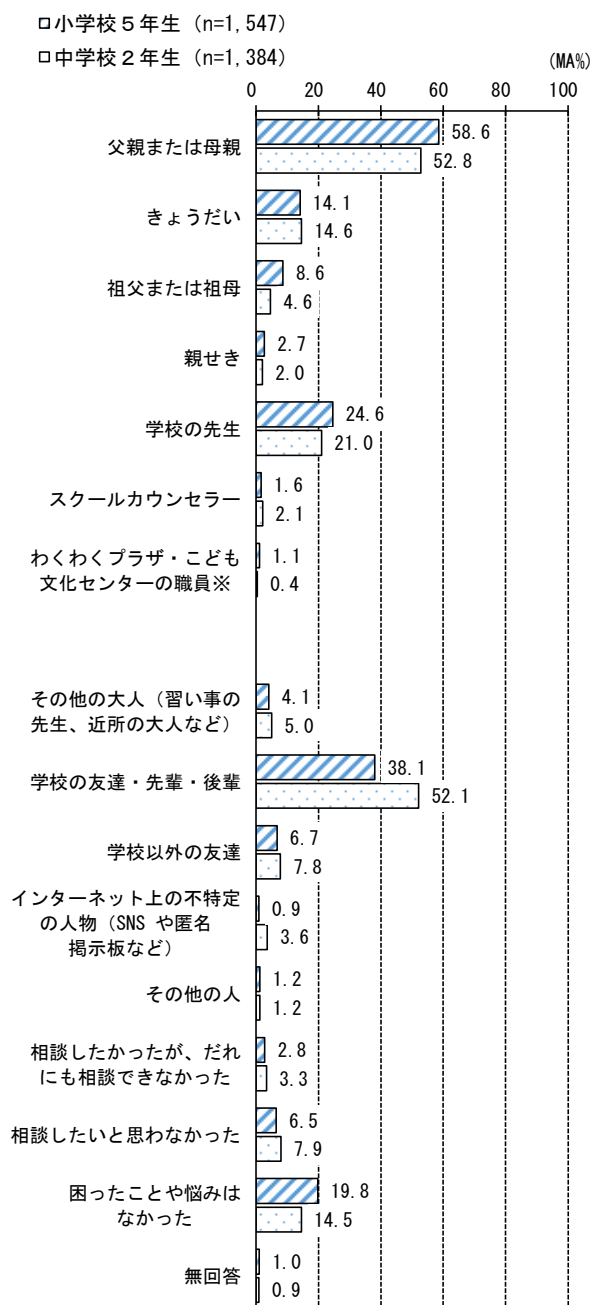


④相談相手の有無

小・中学生（問17）

この1年間で困りごとや悩みの相談相手を複数回答で聞いたところ、「父親または母親」（小学校5年生：58.6%、中学校2年生：52.8%）が最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」（小学校5年生：38.1%、中学校2年生：52.1%）、「学校の先生」（小学校5年生：24.6%、中学校2年生：21.0%）となっている。

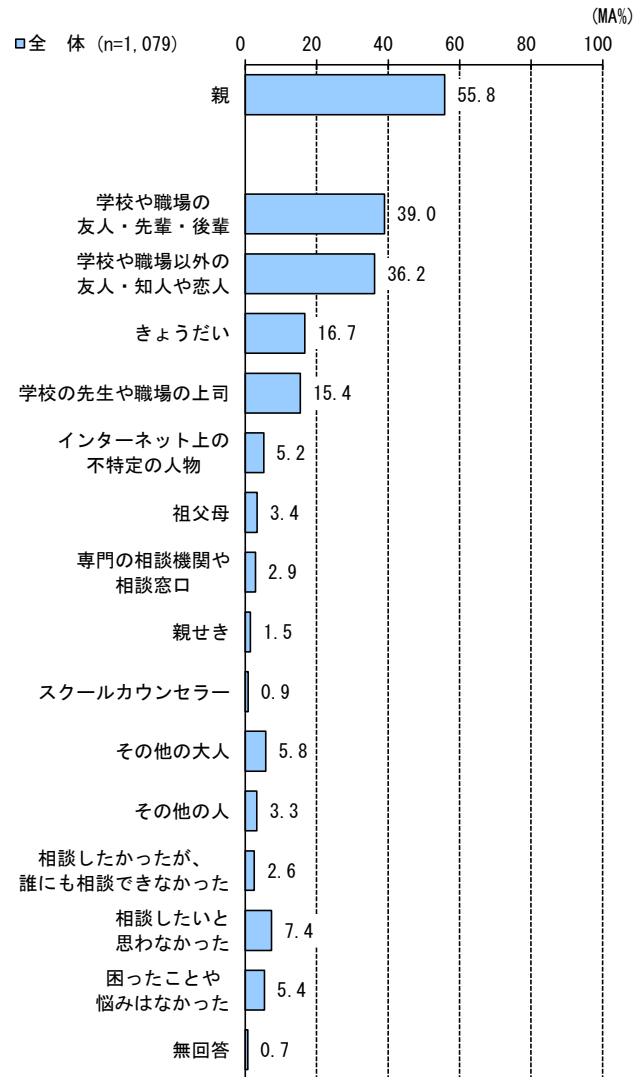
<今回調査>【図表 4-108 相談相手の有無（複数回答）】



若者（問22）

この1年間の悩みや心配ごとの相談先を複数回答で聞いたところ、「親」が55.8%で最も高く、次いで「学校や職場の友人・先輩・後輩」が39.0%、「学校や職場以外の友人・知人や恋人」が36.2%となっている。また、「相談したいと思わなかった」が7.4%、「困ったことや悩みはなかった」が5.4%、「相談したかったが、誰にも相談できなかった」が2.6%となっている。

【図表 5-105 相談先相手の有無（複数回答）】



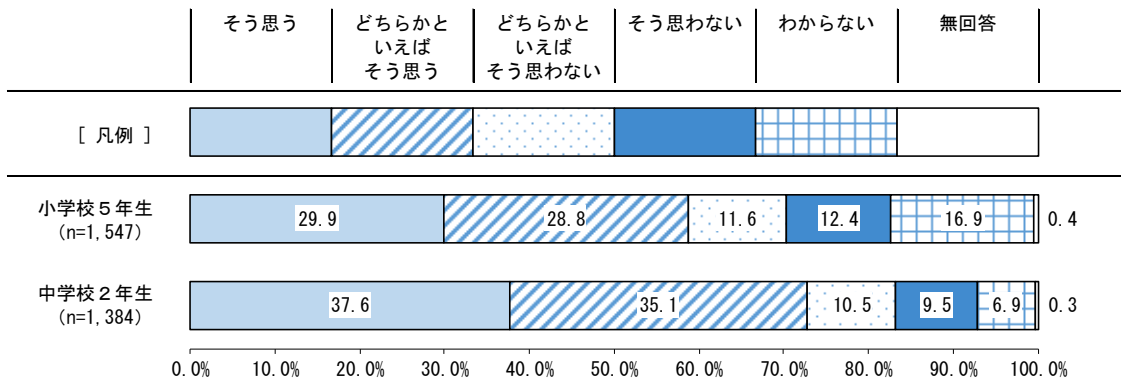
(9) 自身の将来への展望

①将来に対する考え方や自己肯定感など

小・中学生（問20）

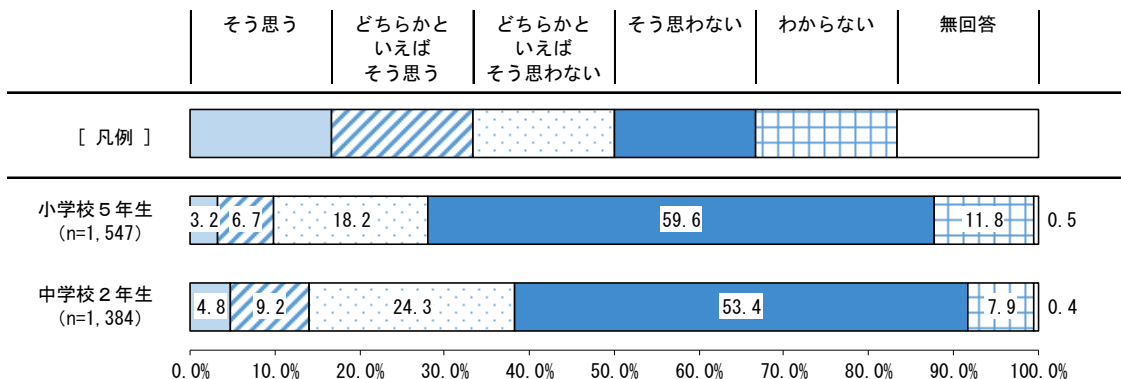
『大学を出ないとよい仕事につけないと思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

<今回調査>【図表 4-208 (ア) 大学を出ないとよい仕事につけないと思う】



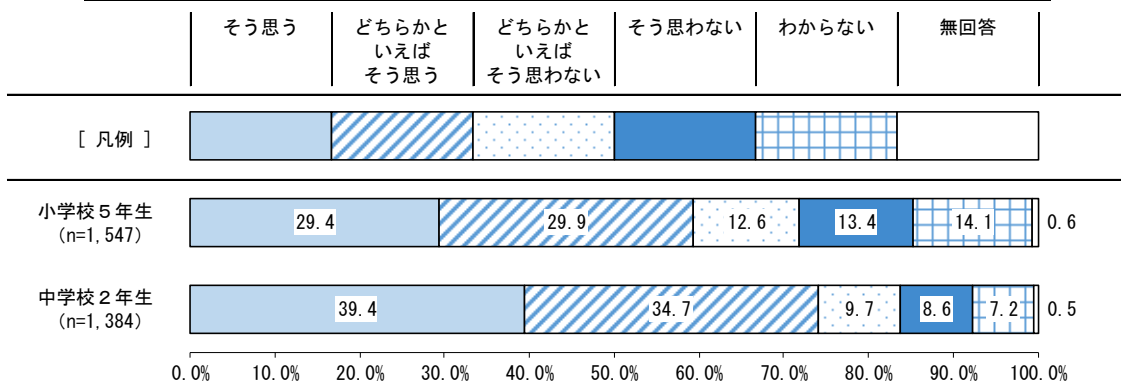
『がんばって働かなくても生活していけると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を足し合わせた割合が「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合を上回っている。

<今回調査>【図表 4-210 (イ) がんばって働かなくても生活していけると思う】



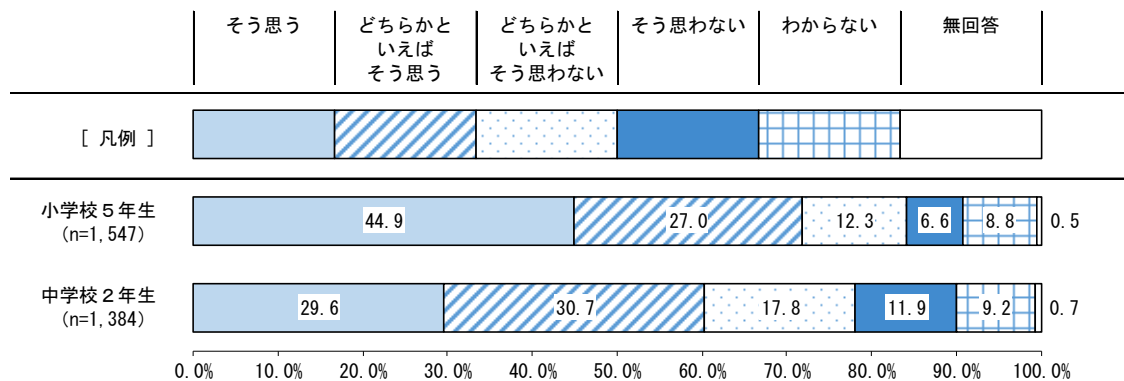
『希望する学校や会社に入れるか不安だ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

<今回調査>【図表 4-212 (ウ) 希望する学校や会社に入れるか不安だ】



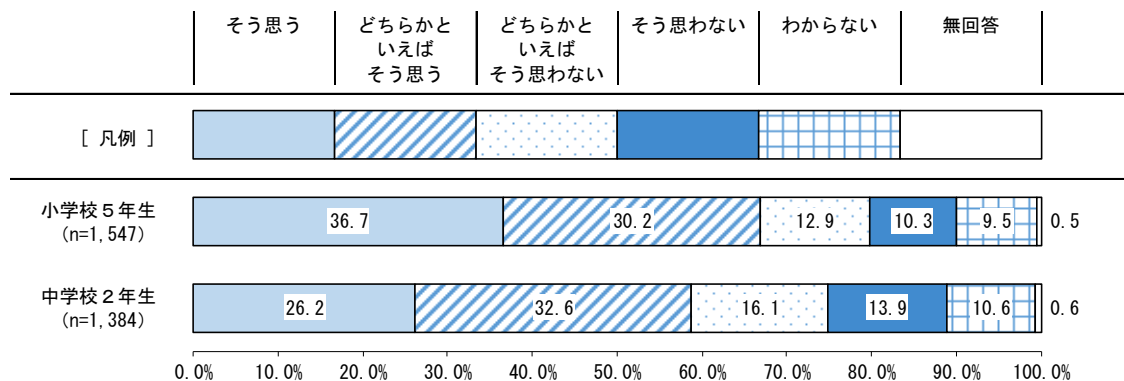
『自分の将来が楽しみだ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

<今回調査>【図表 4-214 (工) 自分の将来が楽しみだ】



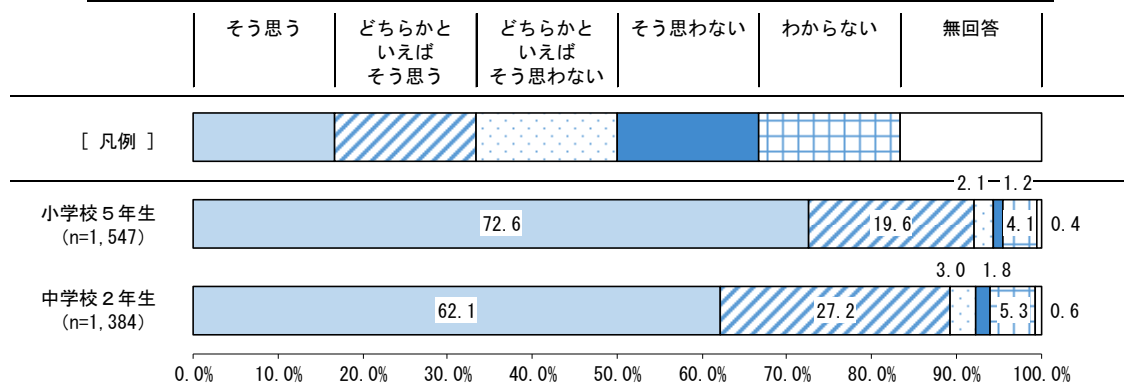
『自分のことが好きだ』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

<今回調査>【図表 4-216 (オ) 自分のことが好きだ】



『自分は家族に大事にされていると思う』についてどう思うか聞いたところ、小学校5年生、中学校2年生ともに「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合が「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合を上回っている。

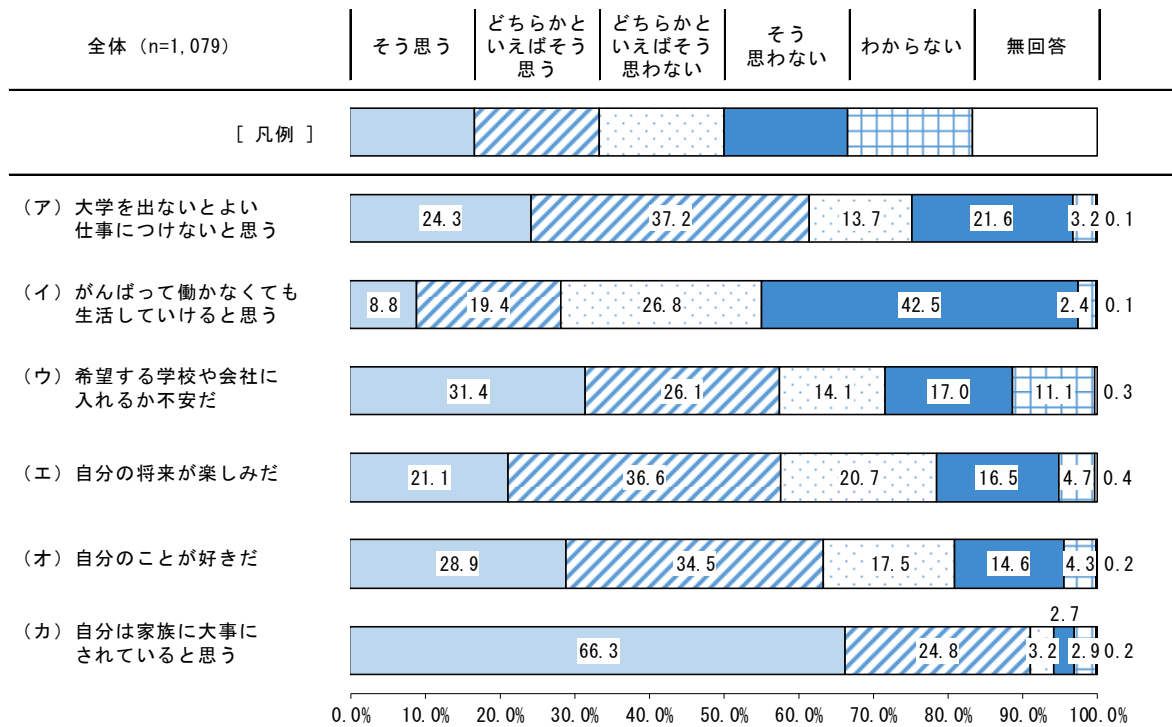
<今回調査>【図表 4-218 (力) 自分は家族に大事にされていると思う】



若者（問14）

将来に対する考え方や自己肯定感等について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を足し合わせた割合は『自分は家族に大事にされていると思う』が91.1%で最も高く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を足し合わせた割合は『がんばって働かなくても生活していけると思う』が69.3%で最も高くなっている。

<今回調査>【図表 5-54 将来に対する考え方や自己肯定感等】



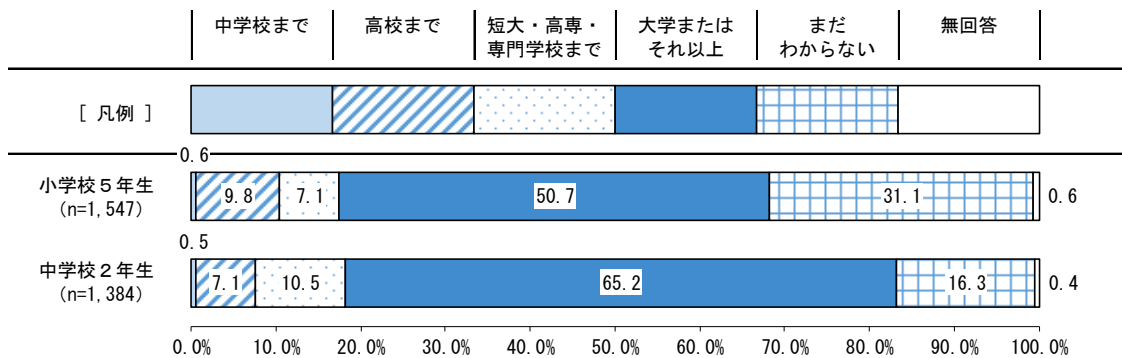
②希望する最終学歴

小・中学生（問6）

小学校5年生では「大学またはそれ以上」が50.7%と最も高く、次いで「まだわからない」が31.1%、「高校まで」が9.8%となっている。

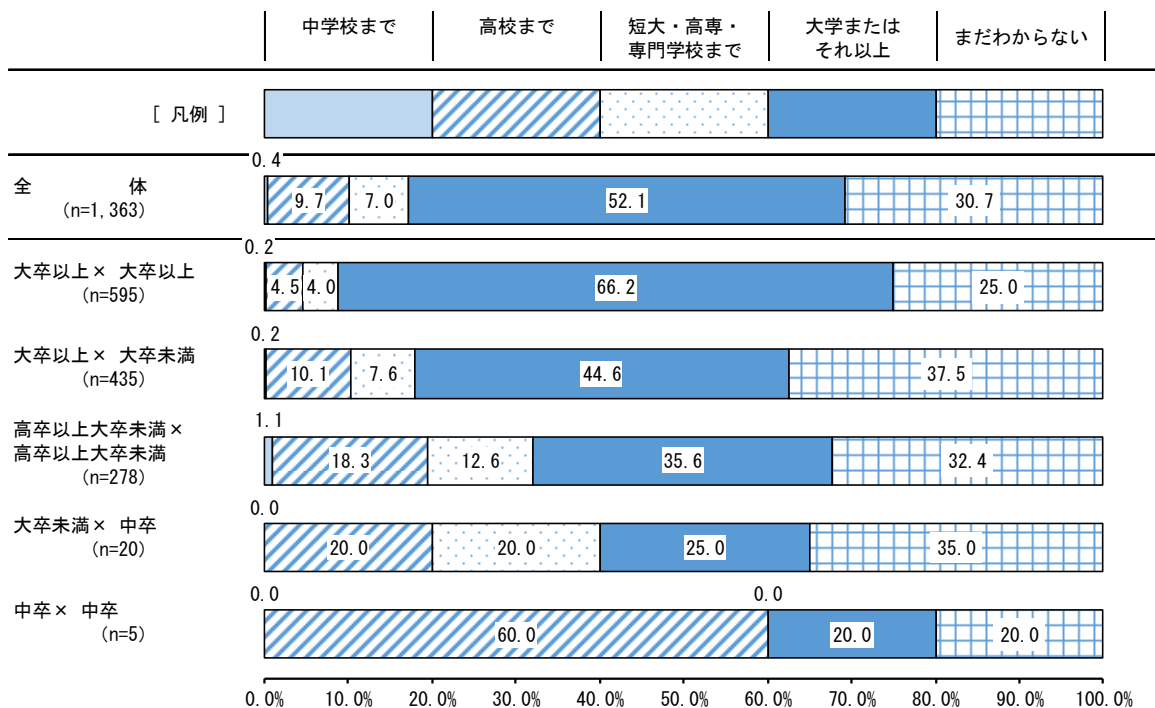
中学校2年生では「大学またはそれ以上」が65.2%と最も高く、次いで「まだわからない」が16.3%、「短大・高専・専門学校まで」が10.5%となっている。

<今回調査>【図表 4-308 希望する最終学歴】



小学校5年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「大学またはそれ以上」は『大卒以上×大卒以上』が66.2%と全体に比べて高く、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が35.6%と全体に比べて低くなっている。なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

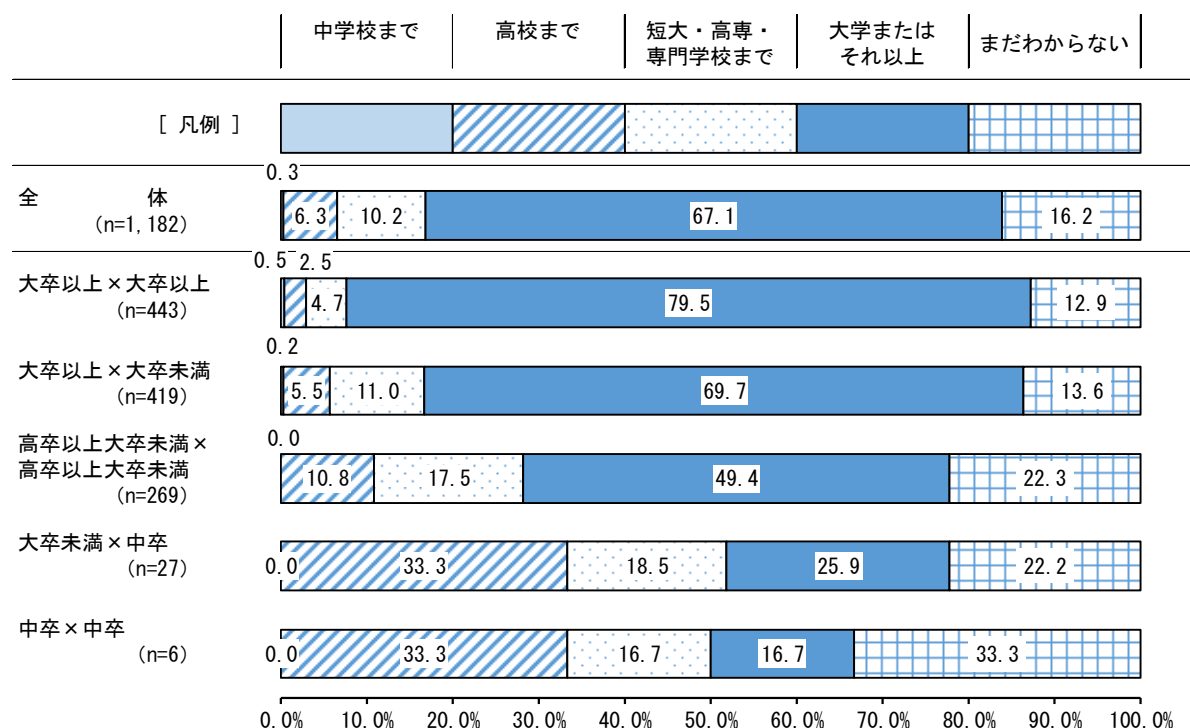
<今回調査>【図表 4-316 希望する最終学歴】（小学校5年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



中学校2年生の希望する最終学歴を保護者（ふたり親）の最終学歴別にみると、「大学またはそれ以上」は『大卒以上×大卒以上』が79.5%と全体に比べて高く、『高卒以上大卒未満×高卒以上大卒未満』が49.4%と全体に比べて低くなっている。

なお、サンプル数が50に満たないものは参考値とする。

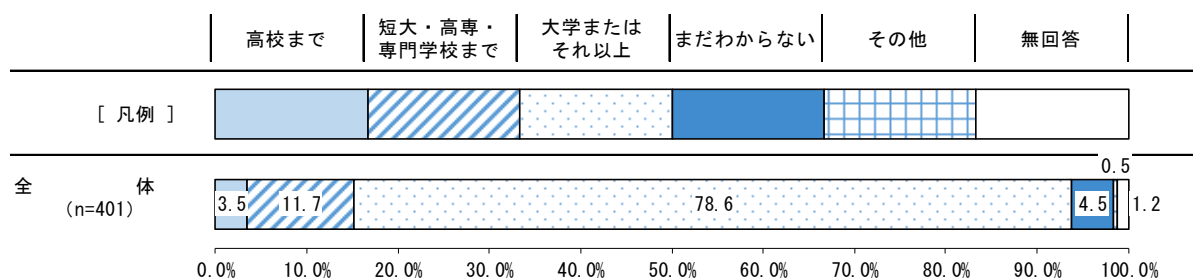
＜今回調査＞【図表 4-326 希望する最終学歴】（中学校2年生・保護者（ふたり親）の最終学歴別）



若者（問12-1）

「高校（高等部）に通っている」「大学（院）や専門学校等に通っている」方に、将来どの学校まで行きたい（卒業したい）かを聞いたところ、「大学またはそれ以上」が78.6%で最も高く、次いで「短大・高専・専門学校まで」が11.7%、「まだわからない」が4.5%となっている。

＜今回調査＞【図表 5-33 将来どの学校まで行きたい（卒業したい）か】

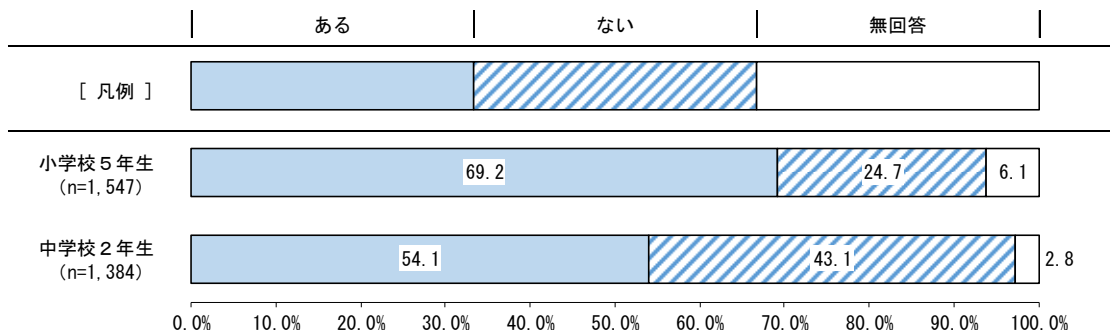


③将来の夢やつきたい職業の有無

小・中学生（問8）

小学校5年生では「ある」が69.2%、「ない」が24.7%となっている。中学校2年生では「ある」が54.1%、「ない」が43.1%となっている。

<今回調査>【図表 4-335 将来の夢やつきたい職業の有無】



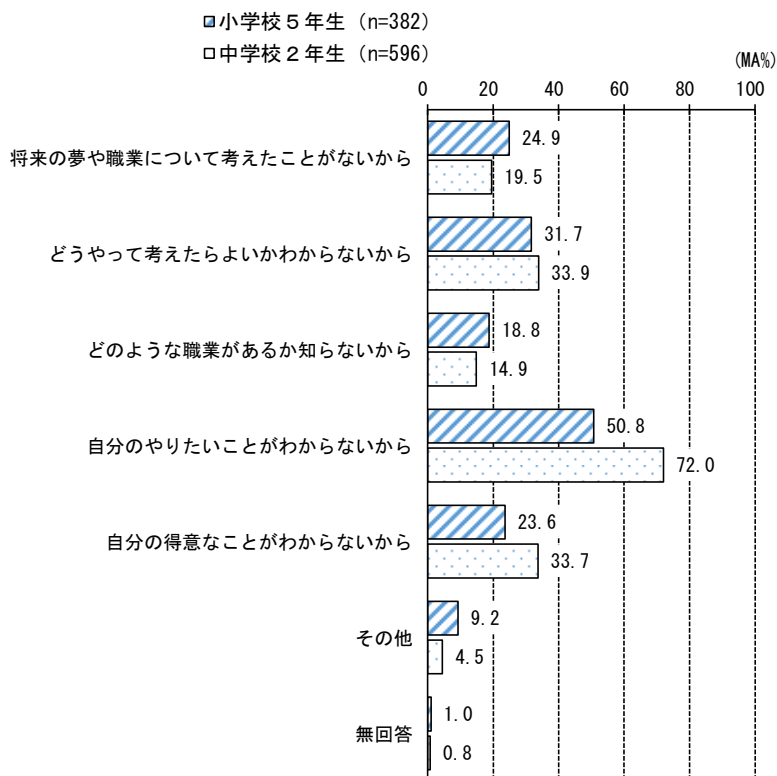
④将来の夢やつきたい職業がない理由

小・中学生（問8—1）

将来の夢やつきたい職業がない方に、その理由を複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「自分のやりたいことがわからないから」が50.8%と最も高く、次いで「どうやって考えたらよいかわからないから」が31.7%、「将来の夢や職業について考えたことがないから」が24.9%となっている。

中学校2年生では「自分のやりたいことがわからないから」が72.0%と最も高く、次いで「どうやって考えたらよいかわからないから」が33.9%、「自分の得意なことがわからないから」が33.7%となっている。

<今回調査>【図表 4-345 将来の夢がない理由（複数回答）】



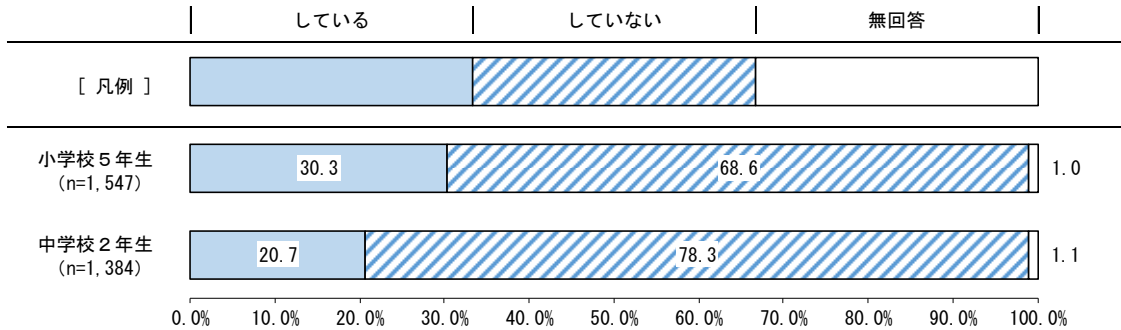
(10) ヤングケアラー

①家族の誰かのために世話や家事等をしているか

小・中学生（問22）

「している」は小学校5年生が30.3%、中学校2年生が20.7%となっている。

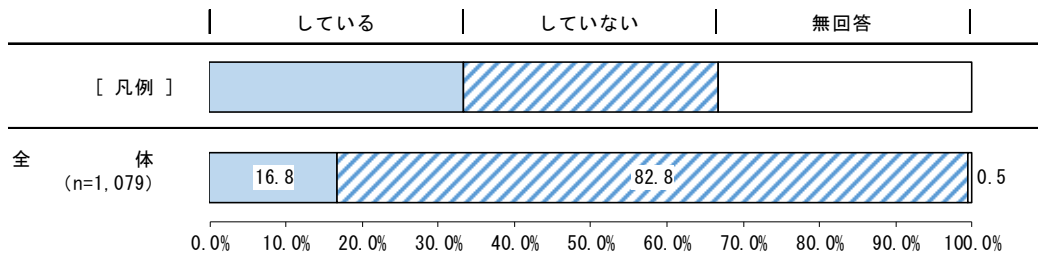
<今回調査>【図表 4-348 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】



若者（問24）

「している」が16.8%、「していない」が82.8%となっている。

<今回調査>【図表 5-107 家族の誰かのために世話や家事等をしているか】



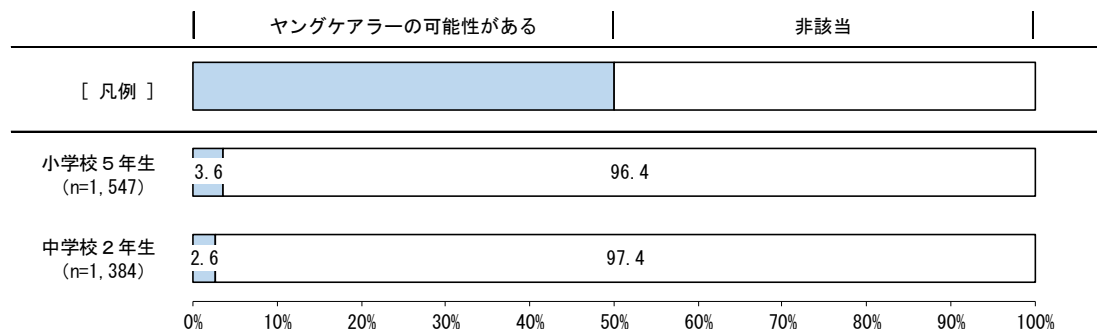
②ヤングケアラーの可能性がある方

家で、家族の誰かのために世話や家事等をしている（小・中学生：問 22、若者：問 24）、かつ、世話や家事等をしていることの影響について「特にない」以外の回答をしている（小・中学生：問 22-3、若者：問 24-3）方を「ヤングケアラーの可能性がある」と定義した。

小・中学生（問 22、問 22-3）

ヤングケアラーの可能性があるのは、小学校 5 年生が 3.6%、中学校 2 年生が 2.6%となっている。

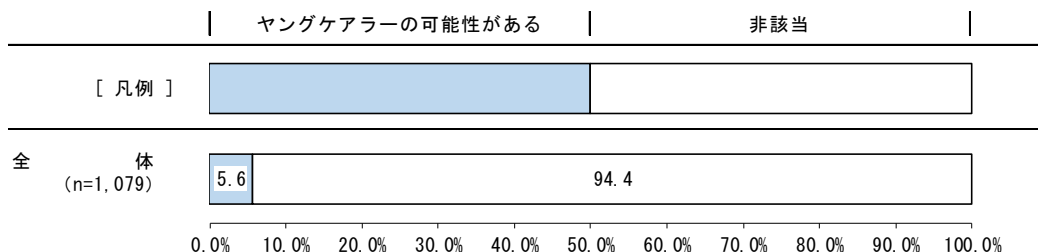
<今回調査>【図表 4-353 ヤングケアラーの可能性がある方】



若者（問 24、問 24-3）

ヤングケアラーの可能性があるのは全体の 5.6%となっている。

<今回調査>【図表 5-109 ヤングケアラーの可能性がある方】



③世話や家事等をしていることの影響

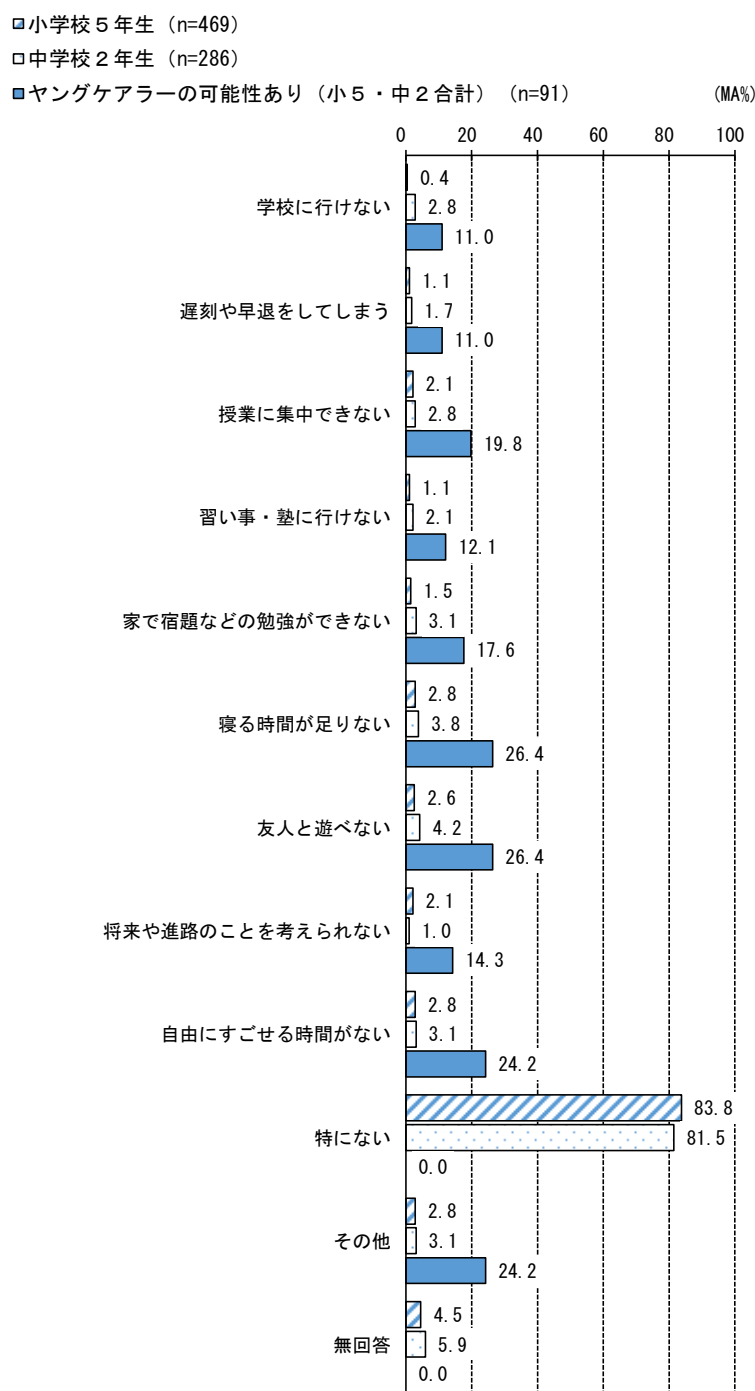
小・中学生（問22-3）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていることの影響を複数回答で聞いたところ、「特にない」（小学校5年生：83.8%、中学校2年生：81.5%）が最も高くなっている。また、小学校5年生では「寝る時間が足りない」「自由にすごせる時間がない」が2.8%、「友人と遊べない」が2.6%となっている。

中学校2年生では「友人と遊べない」が4.2%、「寝る時間が足りない」が3.8%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「寝る時間が足りない」「友人と遊べない」が26.4%、「自由にすごせる時間がない」が24.2%となっている。

<今回調査>【図表 4-365 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】

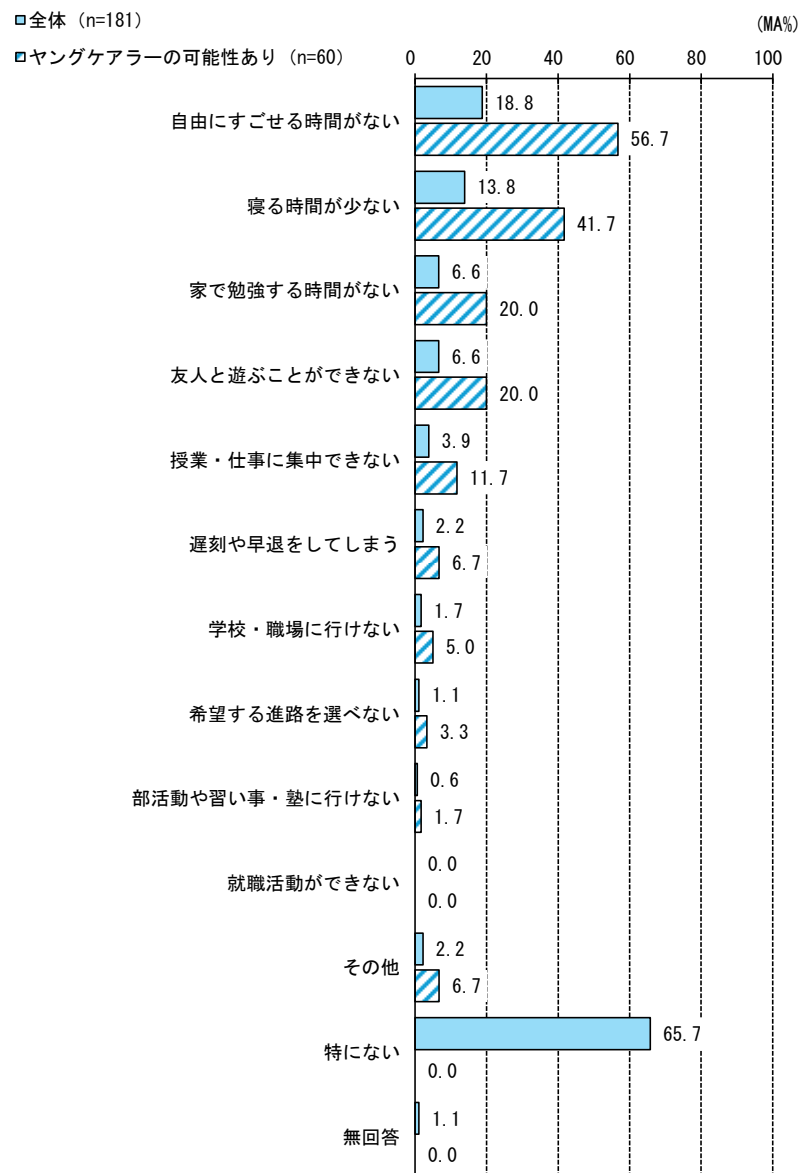


若者（問24-3）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていることの影響を複数回答で聞いたところ、全体では「特にない」が65.7%で最も高く、次いで「自由にすごせる時間がない」が18.8%、「寝る時間が少ない」が13.8%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「自由にすごせる時間がない」が56.7%で最も高く、次いで「寝る時間が少ない」が41.7%、「家で勉強する時間がない」「友人と遊ぶことができない」が20.0%となっている。

<今回調査>【図表 5-118 世話や家事等をしていることの影響（複数回答）】



④世話や家事等をしていて感じること

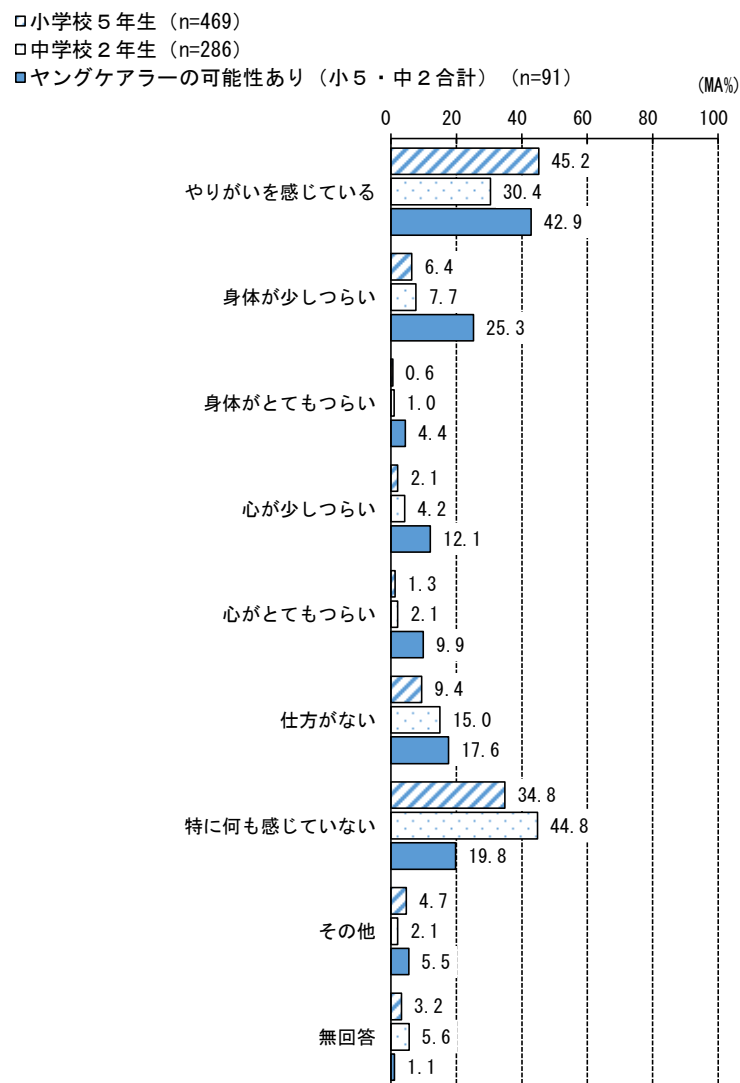
小・中学生（問22-4）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていて感じることを複数回答で聞いたところ、小学校5年生では「やりがいを感じている」が45.2%と最も高く、次いで「特に何も感じていない」が34.8%、「仕方がない」が9.4%となっている。

中学校2年生では「特に何も感じていない」が44.8%と最も高く、次いで「やりがいを感じている」が30.4%、「仕方がない」が15.0%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「やりがいを感じている」が42.9%と最も高く、次いで「身体が少しつらい」が25.3%、「特に何も感じていない」が19.8%となっている。

<今回調査>【図表 4-368 世話や家事等をしていて感じること（複数回答）】

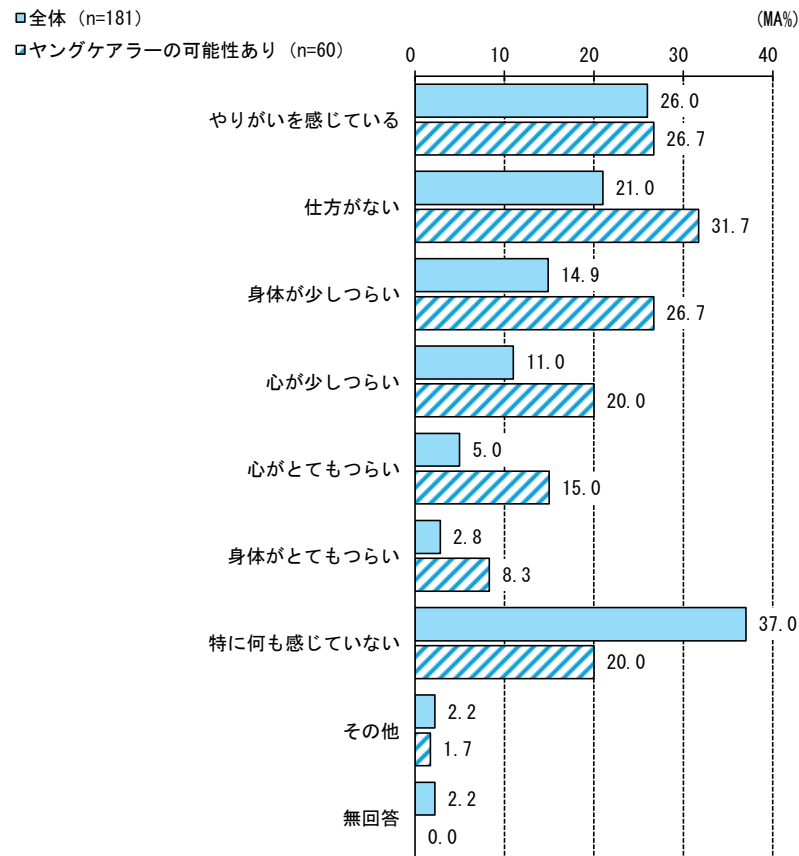


若者（問24-4）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等をしていて感じることを複数回答で聞いたところ、全体では「特に何も感じていない」が37.0%で最も高く、次いで「やりがいを感じている」が26.0%、「仕方がない」が21.0%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「仕方がない」が31.7%で最も高く、次いで「やりがいを感じている」「身体が少しつらい」が26.7%、「心が少しつらい」「特に何も感じていない」が20.0%となっている。

<今回調査>【図表 5-120 世話や家事等をしていて感じること（複数回答）】



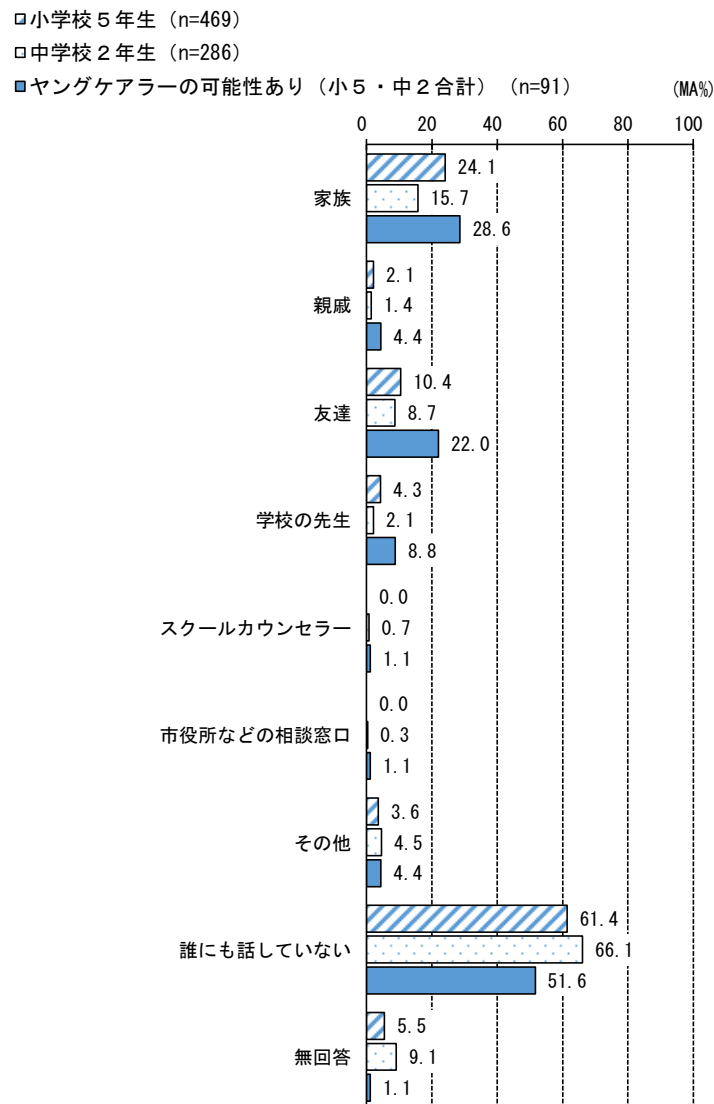
⑤世話や家事等についての相談相手

小・中学生（問22-5）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等についての相談相手を複数回答で聞いたところ、「誰にも話していない」（小学校5年生：61.4%、中学校2年生：66.1%）が最も高く、次いで「家族」（小学校5年生：24.1%、中学校2年生：15.7%）、「友達」（小学校5年生：10.4%、中学校2年生：8.7%）となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「誰にも話していない」が51.6%と最も高く、次いで「家族」が28.6%、「友達」が22.0%となっている。

<今回調査>【図表 4-371 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】

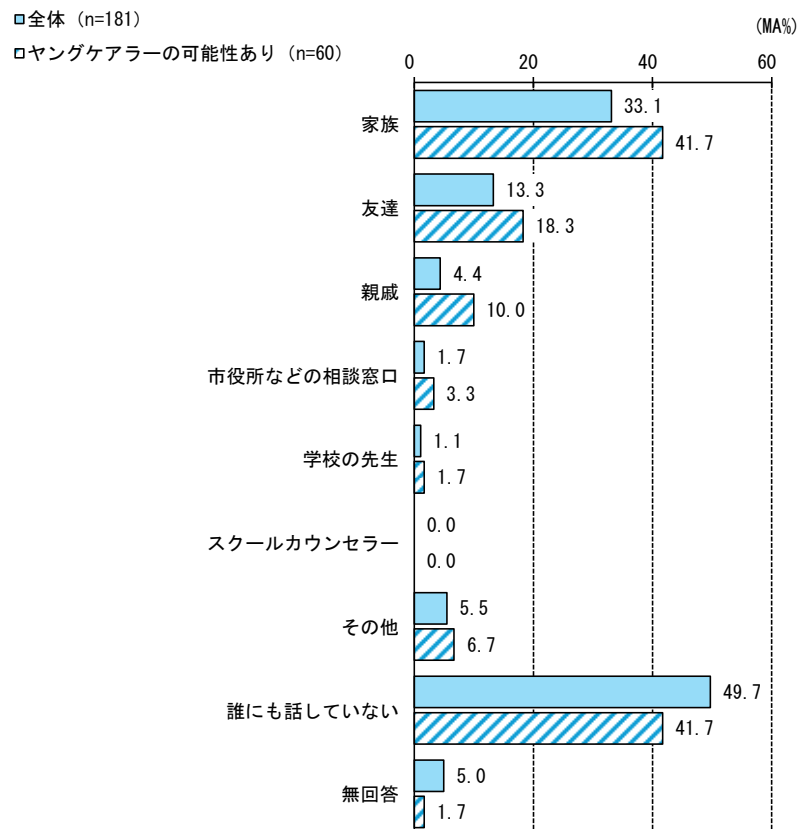


若者（問22-5）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、世話や家事等についての相談相手を複数回答で聞いたところ、全体では「誰にも話していない」が49.7%で最も高く、次いで「家族」が33.1%、「友達」が13.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「誰にも話していない」「家族」が41.7%で最も高く、次いで「友達」が18.3%、「親戚」が10.0%となっている。

<今回調査>【図表 5-122 世話や家事等についての相談相手（複数回答）】



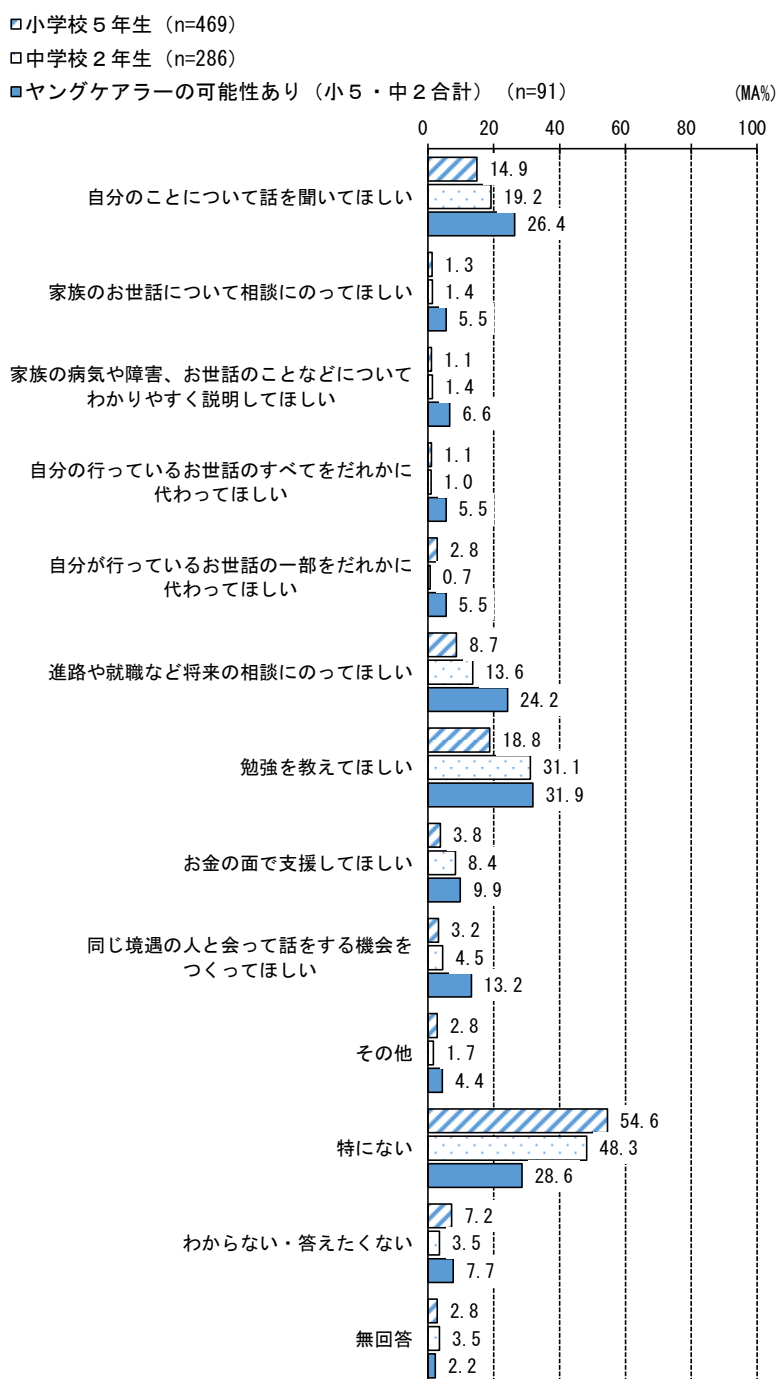
⑥周りからしてもらいたいこと

小・中学生（問22-6）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、周りからしてもらいたいことを複数回答で聞いたところ、「勉強を教えてほしい」（小学校5年生：18.8%、中学校2年生：31.1%）が最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」（小学校5年生：14.9%、中学校2年生：19.2%）、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」（小学校5年生：8.7%、中学校2年生：13.6%）となっている。一方、「特にない」は小学校5年生が54.6%、中学校2年生が48.3%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人（小学校5年生、中学校2年生の合計）では「勉強を教えてほしい」が31.9%と最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が26.4%、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が24.2%となっている。一方、「特にない」は28.6%となっている。

<今回調査>【図表 4-374 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】

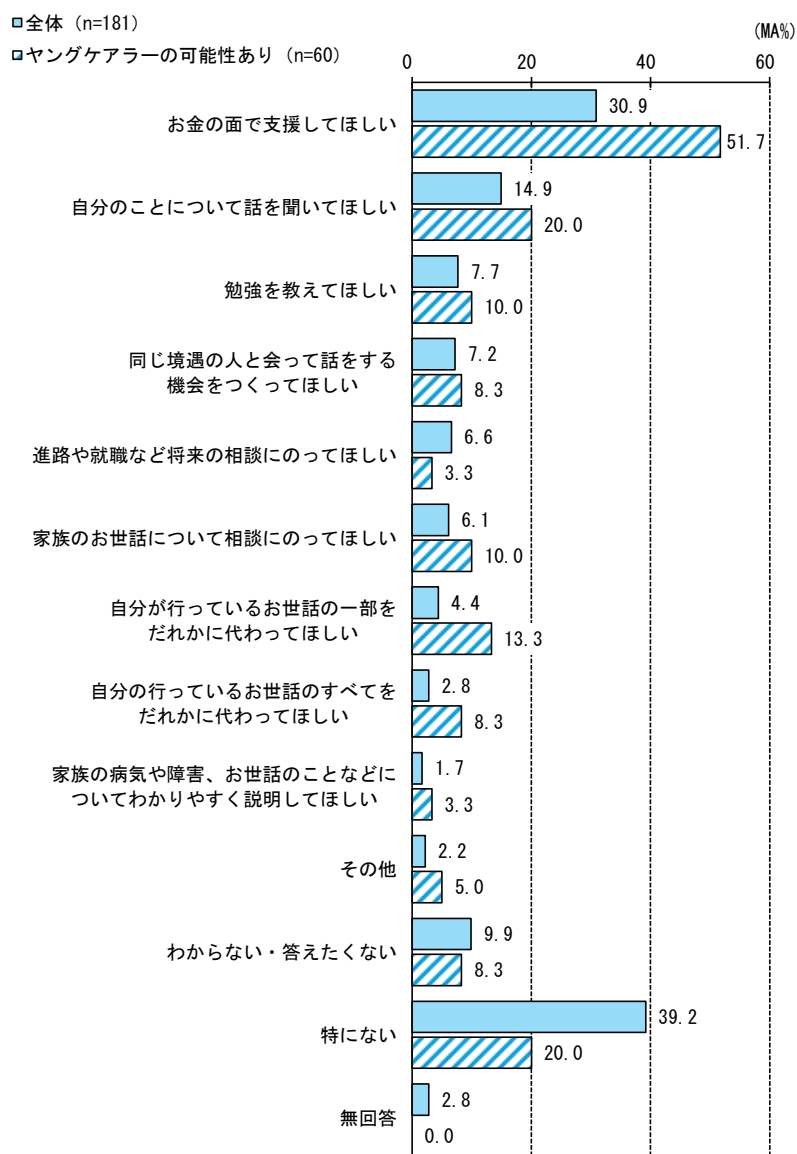


若者（問24-6）

家族の誰かのために世話や家事等をしている人に、周りからしてもらいたいことを複数回答で聞いたところ、全体では「お金の面で支援してほしい」が30.9%で最も高く、次いで、「自分のことについて話を聞いてほしい」が14.9%、「勉強を教えてほしい」が7.7%となっている。一方、「特にない」は39.2%となっている。

ヤングケアラーの可能性のある人では、「お金の面で支援してほしい」が51.7%で最も高く、次いで「自分のことについて話を聞いてほしい」が20.0%、「自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい」が13.3%となっている。一方、「特にない」は20.0%となっている。

<今回調査>【図表 5-124 周りからしてもらいたいこと（複数回答）】



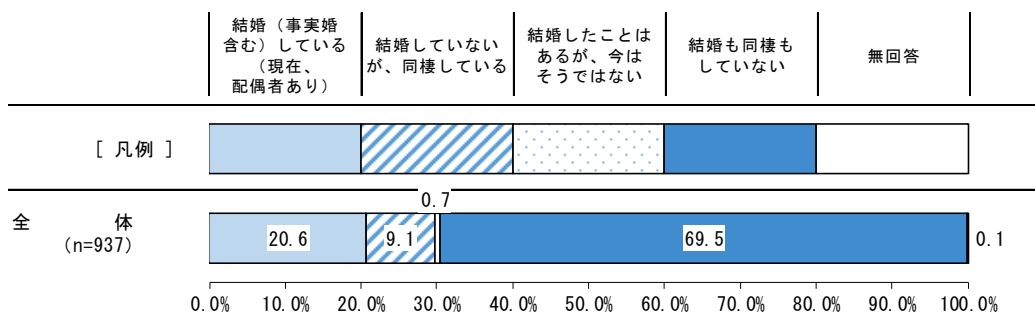
(11) 結婚・出産についての考え

①婚姻状況

若者（問25）

18歳以上の方に婚姻状況を聞いたところ、「結婚も同棲もしていない」が69.5%で最も高く、次いで「結婚（事実婚含む）している（現在、配偶者あり）」が20.6%、「結婚していないが、同棲している」が9.1%となっている。

<今回調査>【図表 5-141 婚姻状況】

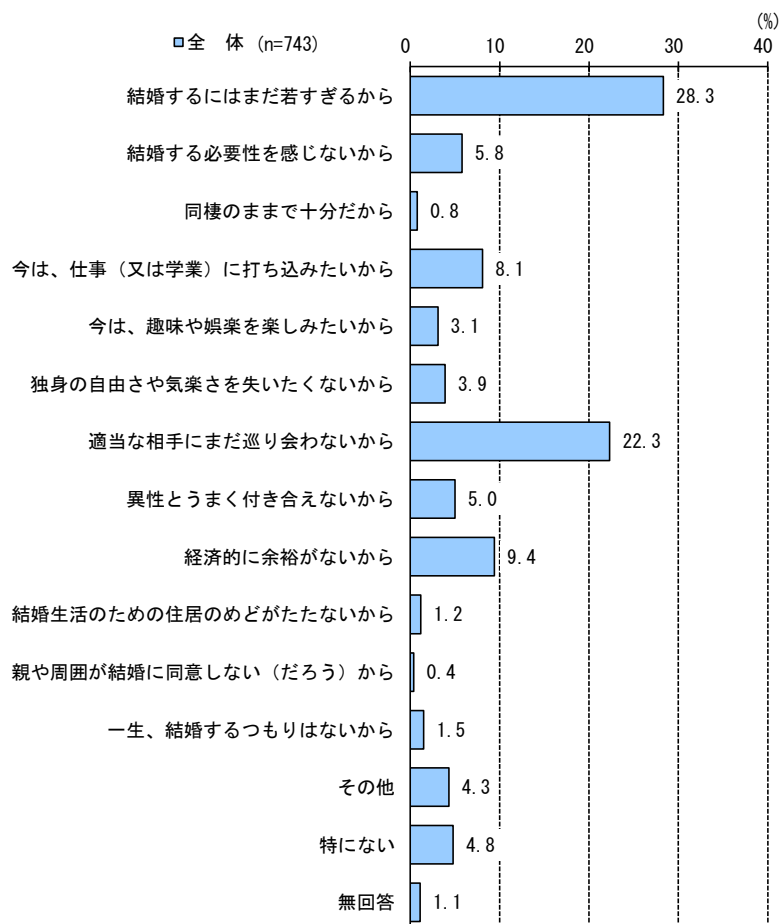


②現在結婚していない理由（1番当てはまる理由）

若者（問25-1）

「結婚していないが、同棲している」「結婚したことはあるが、今はそうではない」「結婚も同棲もしていない」方に、現在結婚していない理由で1番当てはまる理由を聞いたところ、「結婚するにはまだ若すぎるから」が28.3%で最も高く、次いで「適当な相手にまだ巡り会わないから」が22.3%、「経済的に余裕がないから」が9.4%となっている。

<今回調査>【図表 5-142 現在結婚していない理由：1番当てはまる理由】

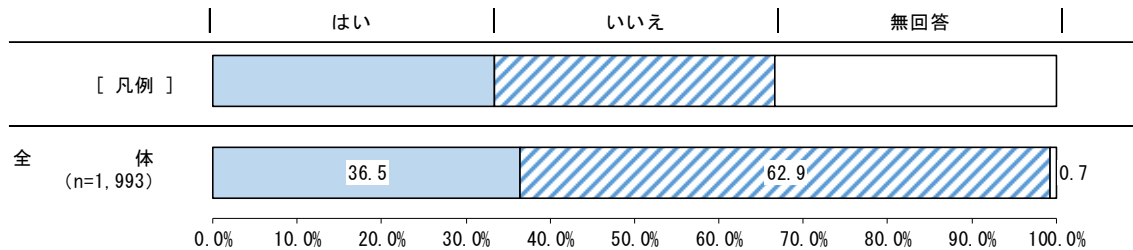


③新たに子どもを持つ意向

0～6歳の保護者（問27）

新たに子どもを持ちたいかどうかを聞いたところ、「いいえ」が62.9%で、「はい」の36.5%を上回っている。

<今回調査>【図表 2-104 新たに子どもを持つ意向】

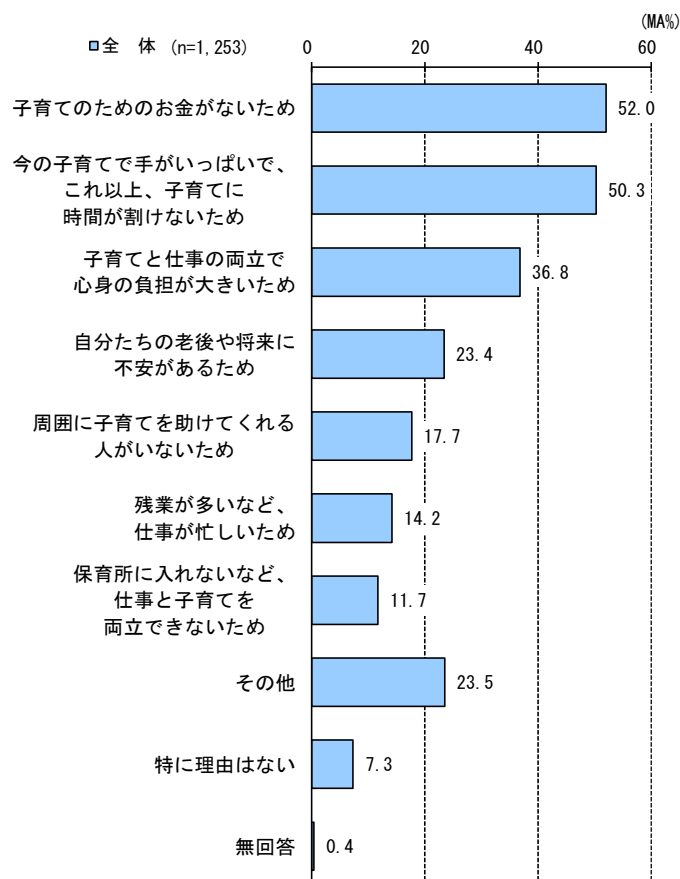


④新たに子どもを持ちたいと思わない理由

0～6歳の保護者（問28）

新たに子どもを持ちたいと思わないと回答した方に、その理由を複数回答で聞いたところ、「子育てのためのお金がないため」が52.0%で最も高く、次いで「今の子育てで手がいっぱい、これ以上、子育てに時間が割けないため」が50.3%、「子育てと仕事の両立で心身の負担が大きいため」が36.8%となっている。

【図表 2-111 新たに子どもを持ちたいと思わない理由（複数回答）】



川崎市子ども・若者調査報告書（概要版）

令和7年3月発行

川崎市こども未来局総務部企画課

住 所 川崎市川崎区宮本町1

電話番号 044-200-1135
